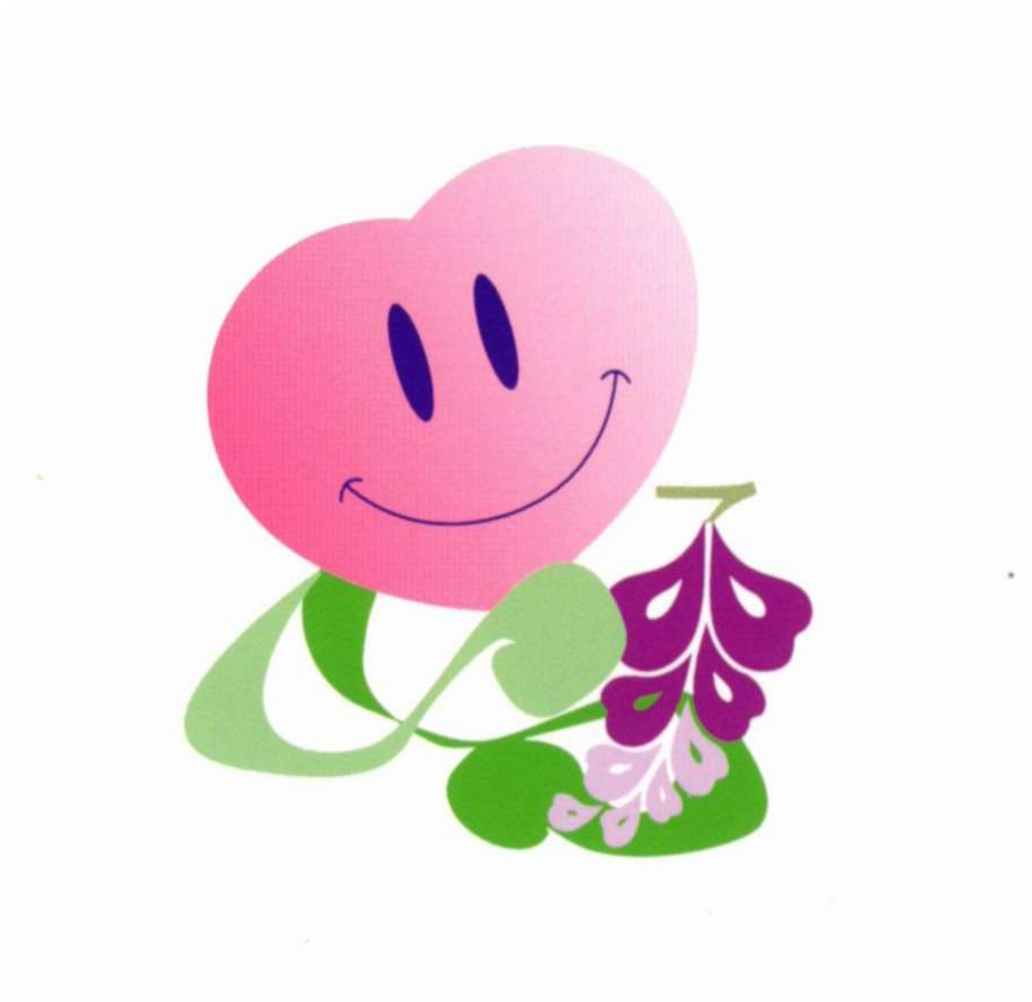


令和 8 年 版

藤 枝 市

保 健 事 業 実 績



健康福祉部 健やか推進局 健康企画課
健康推進課
感染症対策課

I 藤 枝 市 の 概 要

1 位 置 と 地 勢

1 位置と地勢



本市は静岡県のほぼ中央に位置し、静岡市、焼津市、島田市に隣接しています。面積は194.06km²を有し、北部の赤石山系から連なる山間地、中部地域の丘陵地、南部は大井川の扇状地として平坦地が開ける3地域に区分することができます。

北から南への標高差は、800mあり変化のある豊かな自然が形成されています。また、北部山地に端を発する瀬戸川は、市のほぼ中央を貫き、南西端を流れる大井川とともに駿河湾に注いでいます。気候は温暖でしのぎやすく、年間降水量は山間部で3,000mm前後、平坦地においては、2,800mm前後で降雪はほとんどみられません。

(1)市 勢 (令和8年3月31日現在)

人口	138, 210 人
世帶數	62, 002 世帶
面積	194. 06 km ²
人口密度	712. 20 人/km ²

(2) 市域の変遷

昭和29年1月 藤枝町と西益津村が合併し「藤枝町」が誕生

昭和29年3月31日 市制施行

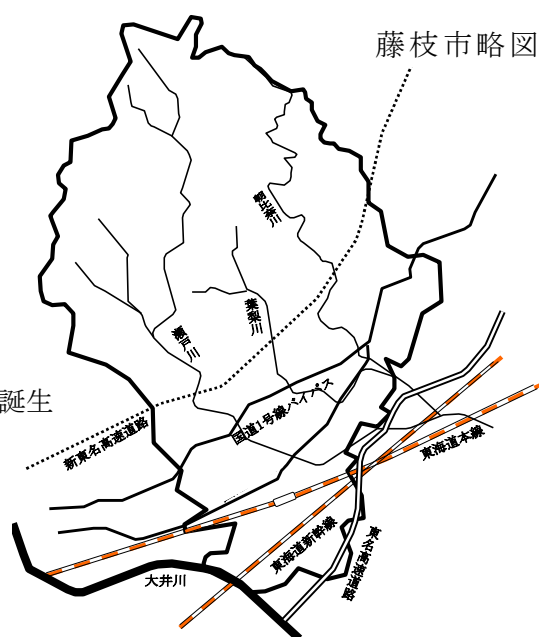
藤枝町、青島町、葉梨村、高洲村、大洲村

及び稲葉村の合併により「藤枝市」設置

昭和30年2月25日 瀬戸谷村を編入

昭和32年4月1日 広幡村を編入(一部区域を除く)

平成21年1月1日 岡部町と合併



Ⅱ 保健センターのあらまし

- 1 施 設 の 概 要
- 2 事 業 分 掌

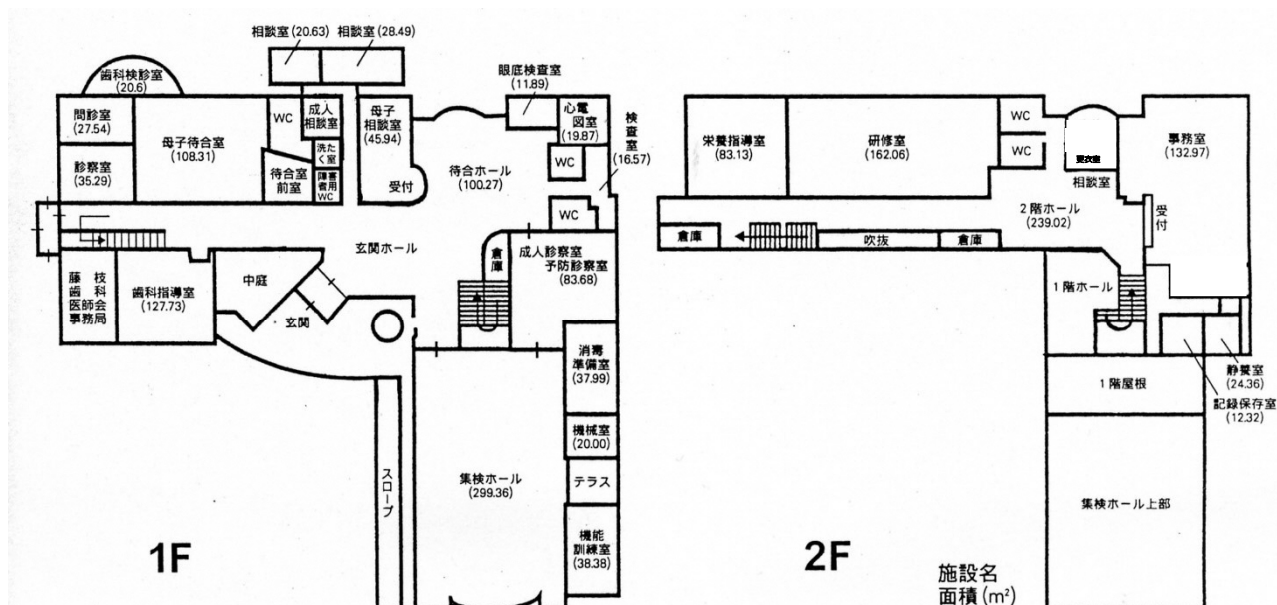
1 施設の概要

保健センターは、昭和 62 年に整備され、市民の健康づくりを推進するため、健康診査、健康教育、健康相談、家庭訪問の保健サービスを総合的に実施しています。

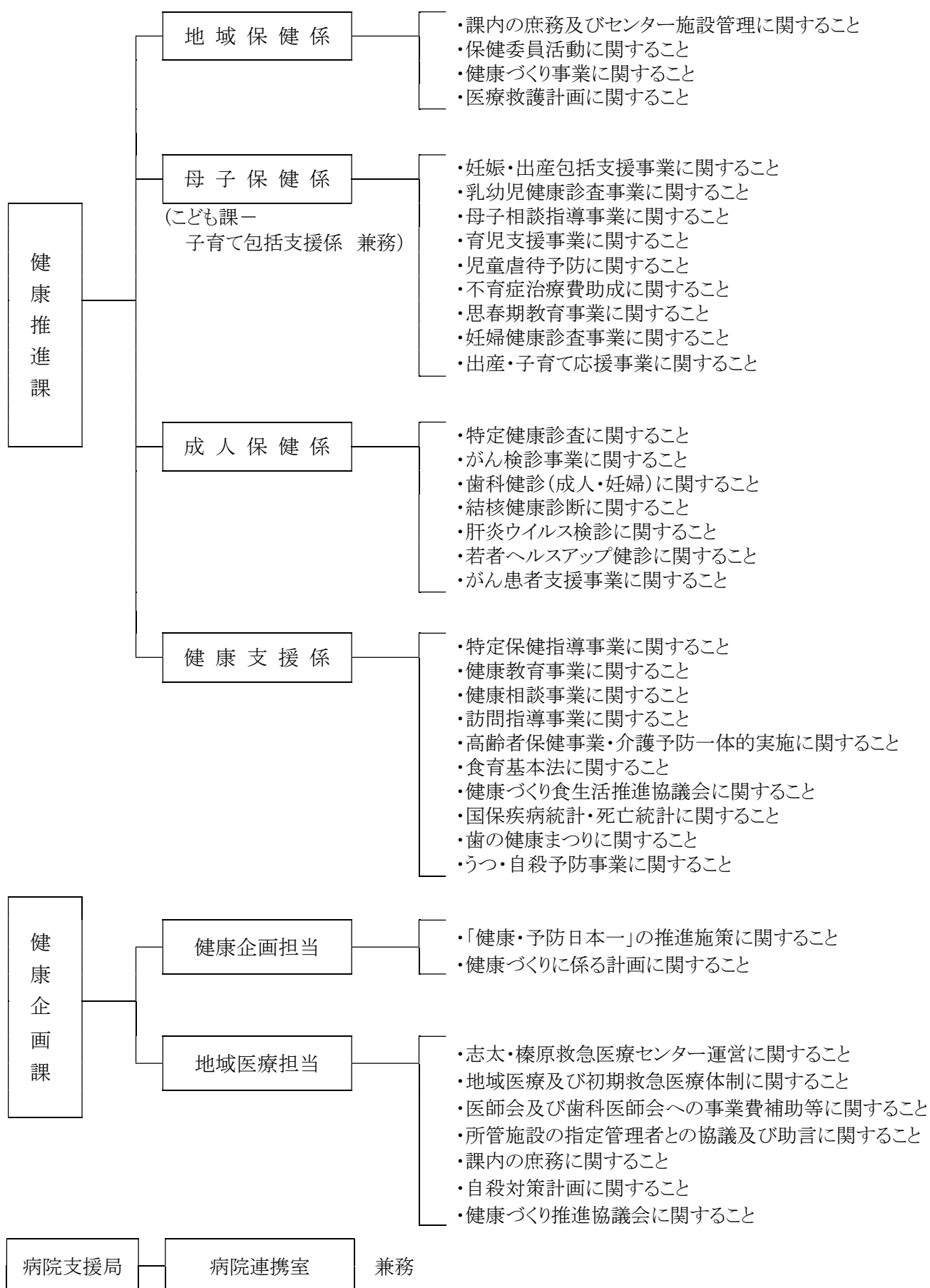
また、保健事業の効率的な推進を図るために、市立総合病院及び併設された志太医師会館・藤枝歯科医師会と密接な連携のもとに市民の健康管理を担い、「市民一人ひとりが、心身ともに健やかで充実した人生を送れるよう、地域全体で支え合い、元気あふれる“健康・予防日本一”のまち」を目指した市民の健康づくりの推進拠点となる施設です。

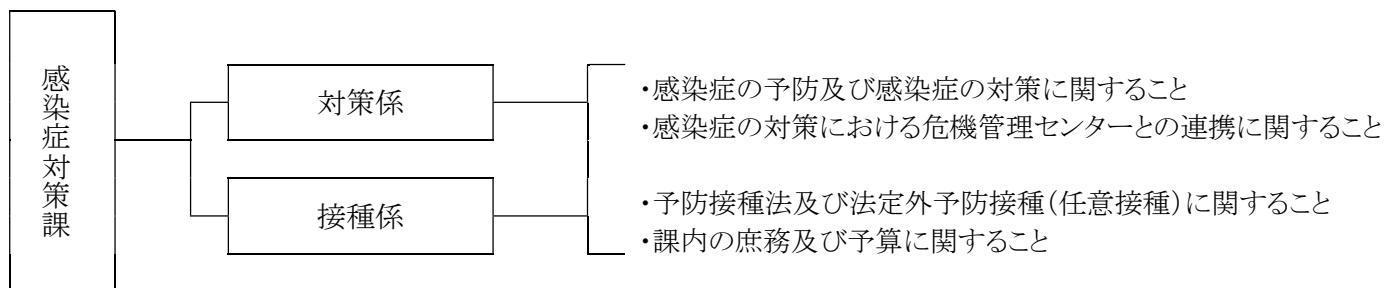
- ・ 名 称 藤枝市保健センター
- ・ 位 置 藤枝市南駿河台 1 丁目 14-1
- ・ 敷地面積 12,134.44 m²
- ・ 建物構造 鉄筋コンクリート造 2 階建
- ・ 建物面積 2,098.00 m²
 - 1 階 1,366.86 m²
 - 2 階 731.14 m²
- ・ 総事業費 建物 500,050 千円
用地 675,000 千円
- ・ 開設月日 昭和 62 年 4 月 1 日
- ・ 増 築 平成 8 年度 1 階相談室 2 部屋設置 58.12 m²
合計面積 2,156.12 m²
- ・ 改 築 平成 14 年度 受付カウンター

配置図及び平面図



2 事業分掌（令和7年度）





Ⅲ 地 域 保 健 係

1 健 康 づ く り 事 業

1 健康づくり事業

保健委員活動活性化事業

4, 232, 526円

高齢化社会をむかえた今日、健康で生きがいのある社会を築いていくためには、行政による健康づくりの諸施策の展開は勿論のこと、市民自身が健康に対する意識を高め、組織的に健康を守るための活動に取り組むことが重要である。

保健委員の健康づくり活動は、昭和59年に自治会組織を基盤に発足し、地域住民を対象にした保健講座や、ふれあいまつり等での健康啓発などを実施している。

〇スローガン

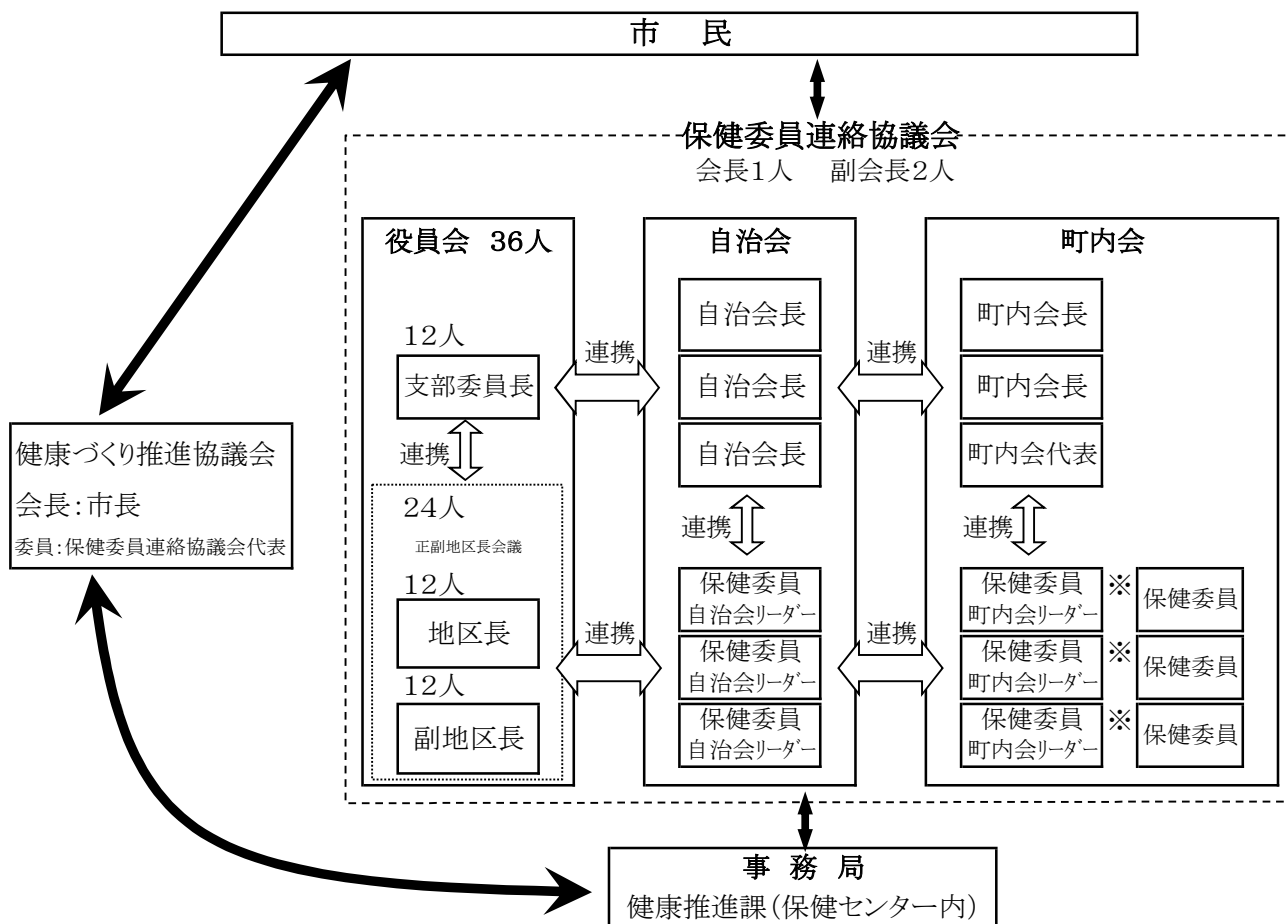
「自分の健康は自分で守ろう」 「健康づくりを地域ぐるみで進めよう」

地域健康づくり活動活性化事業費補助金

939, 856円

地域において健康づくりを展開している保健委員連絡協議会の12支部に助成している。

① 保健委員の組織
ア 保健委員連絡協議会



※令和3年12月1日から、「女性保健委員」を廃止し、「保健委員」に名称を統一。

イ 令和7年度 保健委員構成

(単位:人)

支部	自治会長		町内会代表		その他保健委員		計	
瀬戸谷	3	(2)	5	(4)	10	(10)	18	(16)
稲葉	2	(1)	5	(5)	17	(13)	24	(19)
葉梨	4	(2)	19	(19)	98	(95)	121	(116)
広幡	2	(1)	8	(7)	38	(38)	48	(46)
西益津	3	(1)	13	(9)	46	(39)	62	(49)
藤枝第1	5	(3)	18	(15)	46	(27)	69	(45)
藤枝第2	5	(1)	14	(6)	51	(35)	70	(42)
青島第1	8	(4)	32	(12)	109	(60)	149	(76)
青島第2	4	(4)	27	(22)	72	(41)	103	(67)
高洲	7	(1)	20	(6)	88	(62)	115	(69)
大洲	4	(2)	12	(8)	51	(50)	67	(60)
岡部	5	(3)	27	(14)	44	(33)	76	(50)
計	52	(25)	200	(127)	670	(503)	922	(655)

※()内は新規保健委員再掲

ウ 保健委員構成の推移

(単位：人)

年度 支部	3		4		5		6		7	
	総数	女性保健委員	総数	その他保健委員※	総数	その他保健委員※	総数	その他保健委員※	総数	その他保健委員※
瀬戸谷	25	16	21	12	17	10	18	11	18	16
稲 葉	24	17	25	18	24	17	24	17	24	19
葉 梨	119	96	124	101	125	102	120	98	121	116
広 幡	54	42	49	39	48	38	50	40	48	46
西益津	60	44	60	44	63	47	64	48	62	49
藤枝第1	69	46	69	46	69	46	69	46	69	45
藤枝第2	74	55	77	59	77	58	72	54	70	42
青島第1	152	110	150	110	149	108	151	112	149	76
青島第2	104	73	102	71	107	76	100	69	103	67
高 洲	112	85	110	83	113	86	116	89	115	69
大 洲	69	53	69	53	67	51	70	54	67	60
岡 部	83	51	85	54	81	50	78	45	76	50
計	945	688	945	688	940	689	932	683	922	655

※その他保健委員：自治会長や町内会代表を除く保健委員

② 保健委員活動実施結果

・保健講座

支部、自治会、町内会単位で地区の健康課題や保健委員が興味・関心のあるテーマを設定し講座を開催。講座の企画・PR・運営・進行等、保健委員が行う。

・自主活動

町内会や自治会で実施した活動、町内会や自治会の行事に保健委員として参加した活動。保健講座以外の活動が対象。

例) 防災訓練、スポーツ大会、ふれあいまつり、祭事・祭典 等

ア 保健委員地区活動（保健講座）

区分	講師	テーマ	実施回数	参加者
1	医師	高血圧について、元気で長生きするために 等	5	234
2	歯科医師	オーラルフレイルについて、歯と健康について 等	4	142
3	薬剤師	まちの薬剤師さんと仲良くなろう、薬に関する身近な問題 等	4	128
4	保健師	高血圧予防、生活習慣病予防、フレイル予防 等	10	283
5	管理栄養士	血圧を下げる食生活、生活習慣病を予防するための食生活対策 等		
6	理学療法士	今日から転倒予防をはじめよう、フレイル予防等	5	236
7	健康運動指導士 等	健康体操、脳トレ体操、ヨガ、姿勢矯正 等	58	1,262
		ミニランポウウォーク	4	60
		健康ウォーキング、ふれあいウォーク	2	240
8	安心すこやかセンター (地域包括支援センター)	元気はつらつ貯筋体操、ふまねっと運動で健康づくり 等	2	48
9	その他の専門講師	健康卓球 ウォーキングサッカーえを通しての健康づくり 日本舞踊健康実践講座～藤枝大祭り長唄地踊り～ AED講習会 ユニバーサルマナーについて 体操と折紙は脳力貯金 今すぐ活用できる健康づくりの秘訣～野菜のトリセツ～等	18	2513
総計			112	5,146

イ 自主活動

内 容		回数	延べ人数
1	健康チェック・健康啓発活動	6	16
2	健康づくり食生活推進協議会との交流	6	13
3	防災訓練 (備品点検、防災講座、防災会議、救急処置訓練)	73	290
4	敬老会	38	123
5	歩け歩け運動 (三世代ウォーキング、ウォーキング大会)	21	65
6	スポーツ大会・体育大会 (グラウンドゴルフ大会、モルック大会)	34	141
7	ふれあいまつり	74	262
8	祭事・祭典 (夏祭り、盆踊り、神社祭典、七五三、精霊送り、こども神輿)	52	208
9	ボランティア活動・その他 (防犯パトロール、環境美化活動、こども食堂、各種総会・委員会、引継会議)	127	779
合 計		431	1,897

ウ 保健委員地区活動の推移

年度 内容		3		4		5		6		7	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
保健講座	健康・予防	9	232	20	602	19	831	36	1,180	23	857
	栄養改善	11	393	12	320	13	1,377	4	189	4	125
	体力増進	11	359	30	912	53	305	60	1,519	66	1,632
	救急・介護等	8	179	9	264	13	407	3	130	3	192
	その他					3	103	6	201	16	2,340
小 計		39	1,163	71	2,098	101	3,023	109	3,219	112	5,146
自主活動		13	506	32	366	56	503	556	3,151	431	1,897
打合会		56	1,668	221	1,302	171	1,163				
その他		59	694	309	2,300	369	2,519				
総 計		167	4,031	633	6,066	697	7,208	665	6,370	543	7,043

カ 保健委員地区活動の重点テーマ

年度	テーマ	取り上げた理由	講 師
平成19	生活習慣病の予防	前年度までに習得した知識・食生活・運動について再確認し、総合的な視点で取り組む	保健師 管理栄養士
20	メタボ元年 今あなたができること	生活習慣病にならないために、日頃の生活習慣を見直して「今あなたができること」を学ぶため	保健師 管理栄養士
21	メタボの怖さ ここにあり！	メタボリックシンドロームの真の怖さを学び、生活習慣病の重症化を防ぐための改善方法を周知する	保健師 管理栄養士
	ストレスと上手につき合うための極意	社会生活を送っていくうえで、避けて通ることができないストレスへの対処法を学ぶため	保健師 管理栄養士
22	日本における新たな国民病（CKD）	年々増加しており、自覚症状が出てからでは遅い慢性腎臓病の予防啓発に取り組むため	保健師 管理栄養士
	睡眠はこころとからだの健康バロメーター	生活習慣病やうつ病とも関連が深い睡眠の重要性を学ぶため	保健師
23	日本における新たな国民病（CKD）	年々増加しており、自覚症状が出てからでは遅い慢性腎臓病の予防啓発に取り組むため	保健師 管理栄養士
	ますます進む！がん対策	生活習慣病の改善で多くのがんが予防できる実態を学び、予防啓発に取り組むため	保健師・管理栄養士 市立病院放射線技師 市立病院臨床検査技師
24	メタボ健診だけではわからない！今こそ！CKD（慢性腎臓病）予防	年々増加しており、自覚症状が出てからでは遅い慢性腎臓病の予防啓発に取り組むため	保健師 管理栄養士
	歩いて健康	生活習慣病にならないために、ウォーキングの知識を習得し、生活習慣病予防に取り組むため	保健師・管理栄養士 スポーツ推進委員
25	いつまでもよく噛んで！ おいしく食べて健康長寿	「藤枝市の歯や口の健康づくり条例」の制定に伴い、歯科口腔保健の推進及び口腔ケアの重要性を学ぶため	歯科医師 保健師・管理栄養士 歯科衛生士
26	誰でもトリアージ！！	「市民トリアージ」の重要性や市民が自ら進んでトリアージを行う必要性について学ぶため	保健師 管理栄養士
	お得で楽しく健康長寿！ みんなでチャレンジ 「健康マイレージ」	「健康マイレージ」を啓発し、実践してもらうことにより、健康的な生活習慣を身につけてもらうため	
27	+10（プラス・テン） 今より10分多くからだを動かそう！	元気にからだを動かすことで健康寿命を延ばせるといわれていることから、少しずつからだを動かすきっかけを作ってもらうため	保健師 スポーツ推進委員
28	上手に“減塩”はじめましょう！	高血圧予備軍の方が藤枝市に多く、減塩方法について学び、高血圧予防に取り組んでもらうため	保健師 管理栄養士
29～	平成29年度からは、各支部それぞれが健康課題を抽出し、課題解決のための「健康度アップ講座」を支部単位で実施している		

キ 保健委員役員活動

項 目	内 容	実施回数	参加人数 (延べ)
研修会・報告会・ 運営会議等	保健委員連絡協議会役員会	3	103
	正副地区長会議	2	45
	役員選任会議	1	12
	保健委員研修会（会場：市民会館）	1	36
	保健委員だより編集会議	1	8
	支部保健委員会	12	36
	活動報告集編集委員会	1	10
	活動報告会実行委員会	1	7
	活動報告会（会場：市民会館）	1	36
合 計		23	293

IV 母 子 保 健 係

1 母 子 保 健 事 業

1 母子保健事業

母子保健法に基づき基本的な母子保健サービスを実施し、健全な母子の育成や育児支援体制の整備、推進を図りました。

(1) 母子健康診査

85,631,717円

① 妊婦健康診査

58,520,438円

公費による妊婦健康診査を実施することにより、異常を早期発見し、適切な治療や保健指導を行い、妊婦健康管理の向上をはかる。

ア 方法:妊娠届出時に妊婦健康診査票を交付、医療機関委託

イ 受診状況及び健診結果

(単位:人、%)

令和3年度	初回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	償還払い申請
交付・再交付数	839	810	821	838	842	846	856	863	869	869	871	872	872	872	41
受診数	800	792	762	766	755	744	751	734	677	700	739	654	488	281	
受診率	95.4	97.8	92.8	91.4	89.7	87.9	87.7	85.1	77.9	80.6	84.8	75	56	32.2	
異常なし	770	757	725	728	710	693	698	686	627	652	684	623	466	272	-
治療・指導	12	12	17	20	19	30	32	25	32	27	28	12	11	5	-
要精密	4	7	2	1	3	4	5	4		2	3	1	2	2	-
要保健師連絡	2	1		2	1	1			1	1	1	2	1		-
未記入					1				1		2				-
その他	12	15	18	14	21	16	16	19	16	18	21	16	8	2	-

令和4年度	初回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	多胎1回	多胎2回	多胎3回	多胎4回	多胎5回	償還払い申請
受診券交付者実人数	788(転入含む)														10					34
受診数	725	736	717	739	744	737	721	702	629	603	661	549	398	216	1	0	0	0	0	
受診率	92.0	93.4	90.9	93.7	94.4	93.5	91.4	89.0	79.8	76.5	83.8	69.6	50.5	27.4	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
所見なし	683	690	683	689	696	665	659	629	564	550	604	508	380	207	0	0	0	0	0	-
所見あり	42	46	34	50	48	72	62	73	65	53	57	41	18	9	1	0	0	0	0	-
妊娠高血圧症	0	0	3	0	1	2	0	2	1	3	2	5	2	1	0	0	0	0	0	-
妊娠糖尿病	0	3	0	0	3	2	5	4	4	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0	-
その他	42	43	31	50	44	68	57	67	60	47	53	35	15	7	1	0	0	0	0	-
治療・指導	19	26	15	24	25	49	33	50	51	38	31	25	10	5	0	0	0	0	0	-
要精密	7	9	2	4	3	6	14	5	0	0	0	5	4	0	0	0	0	0	0	-
要保健師連絡	3	1	1	3	5	3	2	5	0	1	4	0	1	1	0	0	0	0	0	-
その他	13	10	16	19	15	14	13	13	14	14	22	11	3	3	1	0	0	0	0	-

令和5年度	初回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	多胎1回	多胎2回	多胎3回	多胎4回	多胎5回	償還払い申請
受診券交付者実人数	740(転入含む)														3					44
受診数	680	671	668	681	672	664	655	623	543	549	598	518	384	221	1	1	1	0	0	
受診率	91.9	90.7	90.3	92.0	90.8	89.7	88.5	84.2	73.4	74.2	80.8	70.0	51.9	29.9	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	
所見なし	646	639	637	646	629	598	593	556	480	497	546	471	356	205	0	0	0	0	0	-
所見あり	34	32	31	35	43	66	62	67	63	52	52	47	28	16	1	1	1	0	0	-
妊娠高血圧症	2	1	3	0	0	0	0	1	1	3	1	1	6	3	0	0	0	0	0	-
妊娠糖尿病	1	5	3	1	5	12	11	10	6	5	7	5	6	1	0	0	0	0	0	-
その他	31	26	25	34	38	54	51	56	56	44	44	41	16	12	1	1	1	0	0	-
治療・指導	17	14	18	24	31	47	45	49	49	38	34	33	21	8	1	1	1	0	0	-
要精密	5	8	1	0	4	7	5	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	-
要保健師連絡	0	0	2	1	3	1	2	1	3	4	7	3	2	2	0	0	0	0	0	-
その他	12	10	10	10	5	11	10	16	10	10	10	10	4	6	0	0	0	0	0	-

令和6年度	723(転入含む)																										償還払い申請
	初回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	多胎1回	多胎2回	多胎3回	多胎4回	多胎5回						
受診券交付者実人数																							40				
受診数	668	654	643	668	661	662	651	650	558	571	619	548	420	243	75	17	0	0	0	0	0	—					
受診率	92.4	90.5	88.9	92.4	91.4	91.6	90.0	89.9	77.2	79.0	85.6	75.8	58.1	33.6	10.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
所見なし	633	614	601	628	607	588	584	578	493	518	570	510	397	233	71	14	0	0	0	0	0	—					
所見あり	35	40	42	40	54	74	67	72	65	53	49	38	23	10	4	3	0	0	0	0	0	—					
妊娠高血圧症	2	0	2	2	3	3	3	2	1	5	3	8	4	2	0	0	0	0	0	0	0	—					
妊娠糖尿病	1	2	1	4	7	20	16	8	7	3	5	4	5	0	1	0	0	0	0	0	0	—					
その他	32	38	39	34	44	51	48	61	56	49	39	31	10	6	1	3	0	0	0	0	0	—					
治療・指導	20	27	30	23	31	48	46	49	44	34	29	24	17	5	2	1	0	0	0	0	0	—					
要精密	5	7	3	4	5	15	9	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	—					
要保健師連絡	4	0	5	2	6	2	3	6	5	4	4	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0	—					
その他	6	6	4	11	12	9	9	15	14	15	15	8	3	3	2	2	0	0	0	0	0	—					

※妊婦健診受診券14回を超過した(妊娠40週以降)場合の基本健診について、2回まで補助を追加。(15回、16回を追加)

令和7年度																					(再掲) 償還払 い申請
	初回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	多胎 1回	多胎 2回	多胎 3回	多胎 4回	
受診券交付者実人数	674(転入含む)																				38
受診数	619	605	577	597	601	597	593	567	504	492	558	463	369	213	81	16	2	2	1	0	0
受診率	91.8	89.8	85.6	88.6	89.2	88.6	88.0	84.1	74.8	73.0	82.8	68.7	54.7	31.6	12.0	2.4	13.3	13.3	6.7	0.0	0.0
所見なし	591	574	550	566	559	552	543	522	453	435	502	417	342	201	77	16	2	2	1	0	0
所見あり	28	31	27	31	42	45	50	45	51	57	56	46	27	12	4	0	0	0	0	0	0
妊娠高血圧症	1	2	1	1	0	1	1	0	0	0	2	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0
妊娠糖尿病	1	4	1	2	1	2	6	6	4	6	5	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	26	25	25	28	41	42	43	39	47	51	49	39	22	9	4	0	0	0	0	0	0
治療・指導	13	14	14	13	24	27	30	32	33	24	19	21	15	6	2	0	0	0	0	0	0
要精密	5	6	3	2	3	3	2	1	1	5	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
要保健師連絡	3	0	2	2	2	1	1	2	1	3	3	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0
その他	7	11	8	14	13	14	17	10	16	25	32	21	9	3	2	0	0	0	0	0	0

※受診数には償還払いを含む。

② 産婦健康診査

6,050,438円

産後うつが発見と新生児虐待を防ぐため、産後2週間及び産後1か月の出産後間もない時期の産婦に医療機関等で健康診査を実施。

ア 方 法 :妊娠届出時に健康診査票を交付、医療機関委託

イ 受診状況 (単位:人、%)

年度	令和4		5		6		7	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
該 当 数	756	748	690	710	692	697	674	624
受 診 数	653	735	618	696	627	687	592	622
(再掲)償還払い申請	18	26	25	40	26	35	24	36
受 診 率	86.4	98.3	89.6	98.0	90.6	98.6	87.8	99.7

③ 新生児聴覚検査

2,592,200円

聴覚障害を早期に発見し、音声言語発達等への影響を最小限に抑えることを目的に、公費による聴覚検査を実施。

ア 方 法 :妊娠届出時に健康診査票を交付、医療機関委託

イ 受診状況 (単位:人、%)

年度		令和5	6	7
該 当 数		685	699	627
受 診 数		679	694	618
検査方法	自動ABR	630	623	600
	OAE	48	69	13
	不 明	1	2	5
(再掲)償還払い申請		36	28	24
受 診 率		99.1%	99.3%	98.6%

※未熟児等、保険診療で実施。

④ 1か月児健康診査

3,788,964円

・1か月児健康診査

異常を早期発見することにより適切な治療や保健指導に結びつけることを目的として、該当月に公費による健康診査を実施。(R7年度から開始)

ア 方 法 :妊娠届出時に健康診査票を交付、医療機関委託

イ 受診状況 (単位:人、%)

年度	令和7
該 当 数	624
受 診 数	602
(再掲)償還払い申請	28
受 診 率	96.5%

ウ 健診結果(※1・2重複あり) (単位:人)

年度	令和7
異常なし	509
要経過観察※1	40
要精密検査※2	11
要医療	10
医療機関にて観察・治療中	33
計	603

⑤ 4・10か月児健康診査

8,772,446 円

・4か月児健康診査

異常を早期発見することにより適切な治療や保健指導に結びつけることを目的として、該当月に公費による健康診査を実施。

ア 方法:妊娠届出時に健康診査票を交付、医療機関委託
イ 受診状況

(単位:人、%)

年度	令和3	4	5	6	7
該 当 数	878	763	729	678	654
受 診 数	866	741	710	666	639
受 診 率	98.6	97.1	97.4	98.2	97.7

ウ 要観察児内訳(重複あり)

(単位:人)

内容	年度	令和3	4	5	6	7
身 体 発 育 観 察		135	67	67	86	70
運 動 発 達 観 察		16	1	17	12	13
定 頸 再 検		37	35	22	36	42
股 関 節 要 観 察		21	9	12	14	13
心 疾 患		5	2	9	7	2
皮 膚 疾 患		58	92	57	74	44
反 射 異 常		21	23	9	22	12
性 尿 器 系 疾 患		10	5	5	4	4
へ ル ニ ア		0	2	2	6	8
そ の 他		6	5	3	6	12
計		309	241	203	267	220

・10か月児健康診査

異常を早期発見することにより適切な治療や保健指導に結びつけることを目的として、該当月に公費による健康診査を実施。

ア 方法:妊娠届出時に健康診査票を交付、医療機関委託
イ 受診状況

(単位:人、%)

年度	令和3	4	5	6	7
該 当 数	893	803	755	688	722
受 診 数	843	775	731	672	710
受 診 率	94.4	96.5	96.8	97.7	98.3

ウ 要観察児内訳(重複あり)

(単位:人)

内容	年度	令和3	4	5	6	7
身 体 発 育 観 察		99	71	117	142	68
運 動 発 達 観 察		147	123	120	117	111
筋 緊 張 低 下		1	3	0	2	2
心 疾 患		11	5	10	7	2
停 留 嚥 丸		8	10	5	4	3
へ ル ニ ア		6	6	6	6	4
皮 膚 疾 患		21	39	24	33	33
眼 疾 患		1	2	3	1	1
先 天 性 疾 患		8	9	1	8	1
そ の 他 の 疾 患		11	10	6	4	13
計		313	278	292	324	238

エ 10か月児健康診査後運動発達フォロー相談・指導状況

(単位:人)

内容	年度	令和3	4	5	6	7
運 動 発 達 相 談 の す す め		16	18	23	26	18
1歳6か月児健診にて確認		15	12	34	8	13
問 題 な し		80	49	37	43	53
再 度 電 話 相 談 に て 確 認		18	7	2	11	1
そ の 他		20	23	26	20	1
計		149	109	122	108	86

⑥ 1歳6か月児健康診査

2,087,051円

ア 方 法 : 保健センターにおいて集団方式(月2～3回)

令和2年度から完全予約制にて実施。

イ 内 容 : 身体計測、内科診察、歯科健診、栄養指導、生活指導、
精神発達チェックと保健指導・相談、保護者のメンタルヘルスチェック

ウ 従 事 者 : 小児科医師、歯科医師、管理栄養士、歯科衛生士、心理判定員、保健師

エ 実施状況 (単位:回、人、%)

年度	令和3	4	5	6	7
回数	31	32	27	27	30
該当数	888	889	778	759	718
受診数	893	895	791	775	718
受診率	100.6	100.7	101.7	102.1	100%

オ 健診結果 (単位:人、%)

内容	年度	令和3	4	5	6	7
異 常 な し		653	602	472	393	343
異 常 あり	要 観 察	167	167	202	281	241
	要治療(治療中含む)	60	79	54	51	64
	要 精 密	13	47	63	50	70
	合 計	240	293	319	382	375
	率	26.8	32.7	40.3	49.3	52.2

カ 異常の内訳(重複あり) (単位:人)

内容	年度	令和3	4	5	6	7
身 体 発 育		44	47	44	48	53
頭 囲		5	6	13	25	23
大 泉 門		3	7	9	46	17
熱 性 け い れ ん						25
四 肢 形 態		2	11	3	3	10
眼		4	7	6	3	9
耳		3	1	2	2	0
血 液 疾 患						2
皮 膚		63	110	93	102	56
心 音		11	19	20	13	16
呼 吸 器 疾 患						3
腹 部 腫 瘤		0	1	0	0	1
臍 ヘルニア		2	1	10	6	5
鼠 径 ヘルニア						0
外 陰 部		6	30	20	13	14
先 天 異 常						1
被 虐 待 跡		0	0	0	0	0
そ の 他		13	12	9	23	15
精 神 発 達 観 察		121	104	132	211	225
運 動 発 達 観 察		9	5	13	19	24
計		286	361	374	514	499

※令和7年度より、静岡県健康診査マニュアル改訂に則り、内容の項目を変更。

キ 心理判定員の相談

(単位:人)

年 度	令和3	4	5	6	7
相 談 者 数	115	130	126	127	115

ク 事後指導の内容(重複あり)

(単位:人)

内 容	年 度	令和3	4	5	6	7
医 療 機 関、専 門 医 へ の 紹 介 又 は 受 診 勧 め		26	55	65	57	71
個 別 相 談 の 勧 め		0	1	0	1	0
訪 問・電 話 による 指 導 および 経 過 観 察		37	19	73	68	30
事 後 相 談 (1 歳 9 か 月・2 歳) の 勧 め		83	93	102	91	156
健 康 相 談 室 の 勧 め		71	80	18	17	10
親 子 遊 び の 教 室		19	23	23	14	28
健 診 による 再 チェック		40	66	75	53	30
子 育 て 支 援 教 室 (ひまわり) の 勧 め		6	2	4	1	2
そ の 他		18	5	12	7	8

ケ 歯科健診状況

(単位:人、%)

内 容	年 度	令和3	4	5	6	7
む し 歯 の あ る 児		5	7	4	3	3
む し 歯 の 本 数		24	24	9	15	5
む し 歯 の 保 有 率		0.6	0.8	0.5	0.4	0.4%

コ 栄養指導状況

(単位:人)

内 容	年 度	令和3	4	5	6	7
偏 食		13	19	13	11	11
む ら 食 い		25	38	26	25	30
少 食		8	8	7	5	3
肥 満 (肥 満 度 + 1 5 % 以 上)		30	23	37	23	28
ア レ ル ギ ー		10	9	4	6	5
間 食		2	4	5	0	2
や せ (肥 満 度 - 1 1 % 以 下)		25	27	24	18	15
そ の 他		136	150	123	136	114
合 計		249	278	239	224	208

サ フッ素塗布

1歳6か月児から、歯質強化のためにフッ化物塗布、ブラッシング習慣確立のための具体的な指導を行い、乳幼児のむし歯を予防する。

(ア) 対 象 : 1歳6か月児健康診査対象児で希望者

(イ) 方 法 : 毎月2～3回 年間

(ウ) 内 容 : a ブラッシング指導

b 歯ブラシゲル法によるフッ素塗布

(エ) 従 事 者 : 歯科衛生士

(オ) 自己負担 : 400円(4回分)

(カ) 実施状況

(単位:人、%)

年 度	令和3	4	5	6	7
	1.6歳	1.6歳	1.6歳	1.6歳	1.6歳
対 象 者 数	893	895	791	775	718
実 施 者 数	744	698	623	588	515
実 施 率	83.3	78.0	78.8	75.9	71.7
実 施 延 人 数	1,932	1,775	1,669	1,596	1,406

⑦ 3歳児健康診査

2,649,097円

- ア 方 法 : 保健センターにおいて集団方式(月2～3回)
令和2年度から完全予約制にて実施。
- イ 内 容 : 身体測定、内科診察、歯科健診、尿検査、視覚検査、生活指導、栄養指導、
精神発達チェックと保健指導・相談、保護者のメンタルヘルスチェック
- ウ 従 事 者 : 小児科医師、歯科医師、管理栄養士、歯科衛生士、心理判定員
保健師、視能訓練士、臨床検査技師

エ 実施状況 (単位:回、人、%)

年度	令和3	4	5	6	7
回数	35	34	31	30	32
該当数	1,063	929	914	867	838
受診数	1,070	928	921	873	843
受診率	100.7	99.9	100.8	100.7%	100.6%

オ 健診結果 (単位:人、%)

年度	令和3	4	5	6	7
内訳					
異常なし	794	692	666	512	474
異常あり					
要観察	123	139	119	233	214
要治療(治療中含む)	48	34	50	40	55
要精密	105	63	86	88	100
合計	276	236	255	361	369
率	25.8	25.4	27.7	41.4	43.8

※平成30年度より、静岡県健康診査マニュアルに則り、医師総合判定を記載。

カ 異常の内訳(重複あり) (単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
項目					
身体発育	44	26	32	35	53
視覚	54	33	51	62	29
聴覚	1	0	2	0	2
心音	7	12	8	13	7
四肢形態	7	7	3	6	4
皮膚	19	21	25	21	16
被虐待跡	0	0	0	0	0
精神発達観察	51	42	62	92	73
運動発達観察	2	5	6	3	1

キ 心理判定員の相談 (単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
相談者数	129	126	134	149	129

ク 事後指導の内容(重複あり) (単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
区分					
医療機関・専門医への紹介又は勧め	104	63	86	89	100
個別相談の勧め	21	11	17	16	6
訪問・電話による指導及び経過観察	5	5	4	1	1
療育教室への紹介	33	28	47	6	12
わんぱく相談の勧め	23	73	97	34	71
その他(相談室の勧め含める)	336	276	241	402	304

ケ 歯科健診状況 (単位:人、%)

結果	年度	令和3	4	5	6	7
むし歯のある者		56	37	36	58	31
むし歯保有率		5.2	4	3.9	6.6	3.7
むし歯本数	未処置歯	148	114	80	145	86
	処置歯	10	7	9	25	11
不正こう合		129	132	119	125	134
口腔軟組織の疾患		0	0	1	1	6

コ 栄養指導状況 (単位:人)

	年度	令和3	4	5	6	7
偏食		103	90	81	79	68
むら食い		58	48	41	47	50
少食		18	22	21	14	12
肥満(肥満度+15%以上)		38	38	38	37	32
アレ르기一		3	3	2	4	4
間食		8	7	7	8	3
やせ(肥満度-11%以下)		9	13	11	6	13
その他		98	67	69	76	91
合計		335	288	270	271	273

サ 3歳児精密健康診査

3歳児健康診査の結果、疾病等の疑いがあり、より精密な健康診査の必要性が認められた場合に受診票を交付し、委託医療機関で精密健康診査を実施する(自己負担なし)。

(ア) 実施状況 (単位:延人数、%)

年度	受診票交付数	受診票交付状況(診療科)										受診数※	受診結果			
		小児科	内科	外科	皮膚科	眼科	耳鼻科	泌尿器科	整形外科	形成外科	その他		異常なし	経過観察	要検査	要治療
令和3	108	63	0	0	1	39	0	4	1	0	0	101	23	52	18	8
													22.8	51.5	17.8	7.9
4	77	39	0	0	1	27	0	7	3	0	0	74	18	39	12	5
													24.7	52.7	16.4	6.8
5	103	51	0	0	0	41	0	9	2	0	0	82	18	40	14	10
													21.9	48.8	17.1	12.2
6	100	52	0	0	0	38	1	9	0	0	0	89	16	43	26	4
													18	48.3	29.2	4.5
7	106	67	0	0	1	34	0	3	1	0	0	94	21	40	31	2
													22.3	42.6	33.0	2.1

※受診数は前年度に受診票を交付されている者も含む。

(イ) 令和7年度 受診結果 診断名(「異常なし」は除く) ※重複あり

診断名	人数	診断名	人数	診断名	人数	診断名	人数
遠視	7	弱視	2	肥満	1	血尿(無症候性含む)	2
近視	1	遠視性弱視	0	低身長低体重	1	腎炎疑い	0
遠視性乱視	3	不同視弱視	0	言語発達遅滞	0	機能性心雑音	1
近視性乱視	0	内反症弱視	0	精神発達遅滞	1	鼻咽喉閉鎖不全	0
乱視(疑含む)	11	瞳孔不同	3	自閉症スペクトラム	2	X脚	0
斜視	1	低身長	17	陰嚢水腫	2	その他	4
外斜視	1	低体重	7	移動性精巣	5		
内斜視	1	体重増加不良	1	蛋白尿	2		

(2) 不妊治療費

78,512円

① 特定不妊治療費

0円

少子化対策の一環として、不妊治療を受けている夫婦に対し、特定不妊治療(体外受精・顕微受精)に要する経済的負担を軽減するため、費用の一部(治療費の7割、上限300,000円)を助成した。

特定不妊治療の一環として実施する男性不妊治療費(上限105,000円/回)を助成した。

※令和2年度より助成回数を通算10回に改正し、令和3年度より助成回数を1子ごと10回(40歳以上は通算10回)に改正した。

※令和4年度からの保険適用開始により助成金の制度は終了した。移行措置として令和4年度以降の助成は、令和3年度に行われた治療のうちまだ申請をしていない治療と、令和3年度から4年度へ年度をまたいで行われた保険適用されていない治療のみが対象となり、令和5年度で助成は終了となった。

(単位:人)

年度	延件数	(再掲) 男性不妊 治療費	実人数	内訳							
				1回 助成	2回 助成	3回 助成	4回 助成	5回 助成	6回 助成	7回 助成	8回 助成
令和元	184	0	125	66	59						
令和2	189	1	112	64	30	11	4	2	1	0	0
令和3	269	1	149	88	28	21	6	1	2	2	1
令和4	186	0	130	93	20	9	5	1	2	0	0
令和5	10	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0

② 不育症治療

78,512円

少子化対策の一環として、不妊治療を受けている夫婦に対し、不育症治療に要する経済的負担を軽減するため費用の一部(治療費の7割、上限241,500円)を助成した。

※令和2年度より、所得制限730万円を撤廃した。

(単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
件数	10	6	0	3	2

(3) 母子相談指導

16,859,002円

① 健康相談

744,602円

ア 健康相談室

	時 間	内 容	従事者
健 康 相 談	月曜日・木曜日 午前9時～11時30分	身体計測 育児相談	保健師
出張健康相談 (えだっこルーム)	月7回 午前9時30分～11時	身体計測 育児相談	保健師 管理栄養士
定例食生活相談	木曜日 午後1時～4時 金曜日 午前9時～12時	食事に関する相談	管理栄養士
電 話 相 談	月～金曜日 午前9時～午後5時	育児・食事等に関する相談	保健師 管理栄養士
歯 科 相 談	3歳児健康診査実施日 午後3時～4時	歯に関する相談	歯科衛生士

※定例食生活相談実績は、P103参照。

※健康相談:令和4年度以前は月～金曜日実施

※出張健康相談:令和4年度以前は福祉センターきすみれで月1回実施。

令和5年度以降は市内7か所で実施。

(7) 常設健康相談 (単位:人、回)

年度	総数	母性・父性	乳 児	幼 児	学童・学生	回 数
令和3	4,489	867	2,078	1,544	0	242
4	4,184	788	1,927	1,465	4	243
5	2,478	765	936	775	2	243
6	2,102	735	761	606	0	244
7	1,934	674	700	558	2	242

(イ) 出張健康相談 (単位:人、回)

年度	総数	母性・父性	乳 児	幼 児	学童・学生	回 数
令和3	85	0	45	40	0	12
4	90	0	42	48	0	12
5	1,143	0	656	487	0	79
6	1,249	0	743	506	0	75
7	1,359	0	852	507	0	72

(ウ) 電話相談 (単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
総数	963	1,757	1,086	1,392	1,283

(エ) 歯科衛生士による歯科相談 (単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
総数	3	3	3	3	2

イ 母子健康手帳の交付

母子健康手帳交付時に個別に面接し、妊婦のメンタルヘルスチェック、妊娠中の保健、育児について指導し、ハイリスク妊婦、特定妊婦には電話指導、家庭訪問を実施。

(ア) 妊娠届出時妊娠週数、多胎

(単位:人、%)

年度 届出	令和3	4	5	6	7
妊娠週数	799	743	699	680	638
～ 11 週	737(92.3)	666(89.6)	629(90.0)	592(87.1)	575(90.1)
12 ～ 19 週	57(7.1)	71(9.6)	65(9.3)	79(11.6)	60(9.4)
20 ～ 27 週	5(0.6)	4(0.5)	2(0.3)	6(0.9)	3(0.5)
28 週 ～	0(0.0)	2(0.3)	2(0.3)	2(0.3)	0(0.0)
不 明	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
分 娩 後	0(0.0)	0(0.0)	1(0.1)	1(0.1)	0(0.0)
多 胎 (再 掲)	7(0.9)	9(1.2)	11(1.6)	5(0.7)	15(2.3)

(イ) 妊娠届出時年齢

(単位:人、%)

年齢	令和3	初産婦	経産婦	4	初産婦	経産婦	5	初産婦	経産婦	6	初産婦	経産婦	7	初産婦	経産婦
～19歳	8 (1.0)	8 (2.3)	0 (0.0)	4 (0.5)	4 (1.2)	0 (0.0)	6 (0.9)	5 (1.5)	1 (0.3)	7 1.0	7 2.1	0 0.0	4 (0.6)	3 (1.0)	1 (0.3)
20～24歳	60 (7.5)	38 (10.8)	22 (4.9)	42 (5.7)	27 (8.3)	15 (3.6)	41 (6.0)	33 (9.8)	8 (2.2)	33 5.2	24 7.2	9 2.6	48 (7.5)	40 (12.7)	8 (2.5)
25～29歳	236 (29.5)	137 (38.9)	99 (22.2)	206 (27.7)	124 (38.0)	82 (19.7)	204 (30.0)	128 (38.1)	76 (20.9)	182 28.5	121 36.4	61 17.5	195 (30.6)	119 (37.9)	76 (23.5)
30～34歳	286 (35.8)	104 (29.6)	182 (40.7)	275 (37.0)	101 (31.0)	174 (41.7)	246 (36.2)	98 (14.4)	148 (40.8)	265 41.5	108 32.5	157 45.1	225 (35.3)	100 (31.8)	125 (38.6)
35～39歳	166 (20.8)	48 (13.6)	118 (26.4)	175 (23.6)	57 (17.5)	118 (28.3)	161 (23.7)	57 (8.4)	104 (28.7)	159 24.9	58 17.5	101 29.0	136 (21.3)	44 (14.0)	92 (28.4)
40歳～	43 (5.4)	17 (4.8)	26 (5.8)	41 (5.5)	13 (4.0)	28 (6.7)	41 (0.1)	15 (4.5)	26 (7.2)	34 0.1	14 4.2	20 5.7	30 (0.0)	8 (2.5)	22 (6.8)

ウ 6か月児すこやか相談

(ア) 方 法 : 保健センターにおいて集団方式(月2回または3回)

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、2回未実施。

※令和3年度は、大雨の影響で、1回未実施。

(イ) 内 容 : 身体計測、赤ちゃん体操、運動発達指導、生活指導、栄養指導、保健指導・相談、母のメンタルヘルスチェック

(ウ) 従 事 者 : 管理栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士

(エ) 実施状況 (単位:回、人、%)

年度	令和3	4	5	6	7
回 数	35	34	30	31	31
該 当 数	846	789	744	686	668
来 所 者 数	848	789	727	692	670
来 所 率	100.2	100.0	97.7	100.9	100.3

(オ) 要観察児内訳(重複あり)

(単位:人)

内容	令和3	4	5	6	7
身 体 発 育 観 察	171	171	181	197	99
運 動 発 達 観 察	73	73	80	110	62
股 関 節 要 観 察	2	2	2	2	0
心 疾 患	8	8	0	9	2
皮 膚 疾 患	108	108	142	159	119
眼 疾 患	2	2	1	0	0
停 留 嚥 丸	1	1	0	0	0
先 天 性 疾 患	8	8	0	4	0
そ の 他 の 疾 患	39	39	3	39	15
育 児 問 題	57	57	44	13	8
計	469	469	453	533	305

(カ) 理学療法士の相談

(単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
相 談 者 数	259	269	220	209	254

内容	令和3	4	5	6	7
母体の健康相談	163	165	113	63	109
乳児の運動発達相談	96	104	107	146	145

(キ) 栄養指導状況

(単位:人)

内容 \ 年度	令和3	4	5	6	7
離乳食が未開始	6	4	1	1	1
離乳食のすすめ方 やせ(カウプ指数15未満)	179	191	148	123	127
体重増加不良	17	11	10	12	10
授乳量・回数	26	27	33	26	24
肥満(カウプ指数19以上)	13	13	7	3	3
菓子類を与えている	49	55	45	47	57
アレルギー	0	0	0	0	0
その他	6	3	2	3	5
合計	28	29	17	21	15
合計	324	333	263	236	242

エ 運動発達相談

(ア) 対象 : 運動発達面に遅れが疑われる児とその親

(イ) 従事者 : 理学療法士、保健師(※令和3年度は作業療法士)

(ウ) 実施状況

a 把握経路

(単位:人)

把握経路 \ 年度	令和3	4	5	6	7
6か月児すこやか相談	15	18	24	16	14
10か月児健診	16	19	23	22	17
1歳6か月児健診	1	1	1	0	1
電話相談	9	6	1	9	11
相談室・出張相談	16	10	2	5	9
その他	13	10	5	9	3
計	38	70	64	56	55

※定例運動発達相談は、月2回実施。

b 相談結果

(単位:人)

相談結果 \ 年度	令和3	4	5	6	7
問題なし	8	12	9	13	20
すくすく運動教室	31	21	16	9	14
10か月児健診にて確認	13	8	5	10	5
1歳6か月児健診にて確認	14	9	18	9	3
相談室にて確認	0	0	0	3	0
電話相談にて確認	3	6	3	11	10
未来所	0	4	4	0	0
再運動発達相談	0	1	0	0	0
受診すすめ	1	2	0	0	0
その他	0	0	1	6	3
再運動発達相談	0	1	0	0	0
すくすく運動教室	0	0	0	0	0
10か月児健診にて確認	0	0	0	0	0
1歳6か月児健診にて確認	0	0	0	0	0
電話相談にて確認	0	0	0	0	0
計	70	64	56	61	55

オ ステップ相談

- (ア) 対 象 : 1歳6か月児健診要観察児および教室参加児とその親
 (イ) 内 容 : 身体計測、個別相談
 (ウ) 従 事 者 : 心理判定員、保健師
 (エ) 実施状況

a 2歳～2歳5か月

【相談者数】

内訳	年度 対象者	令和3	4	5	6	7
内訳		132	145	133	138	182
来 所 相 談		133	140	128	131	175
電 話 相 談		0	0	0	0	0
家 庭 訪 問		2	5	2	1	1
合 計		135	145	130	132	176

【結果】※重複あり

(単位:人)

内訳	年度	令和3	4	5	6	7
問 題 な し		39	23	13	15	32
受 診 勧 め ・ 継 続		0	0	0	0	0
親子通園・児童発達支援勧め・継続		1	0	1	5	3
つばめっこ教室勧め		3	3	1	1	1
親子遊びの	ピノキオ	1	0	1	2	1
教室勧め	ドナルド	27	29	35	21	34
個 別 相 談		4	2	2	0	0
再 ステップ 相 談		34	42	58	66	78
3 歳 児 健 診		32	54	41	41	53
そ の 他		3	0	5	7	13

b 2歳6か月～2歳11か月

【相談者数】

内訳	年度 対象者	令和3	4	5	6	7
内訳		59	61	75	78	81
来 所 相 談		51	61	65	70	80
電 話 相 談		0	0	0	1	0
家 庭 訪 問		1	0	1	1	0
合 計		52	61	66	72	80

【結果】※重複あり

(単位:人)

内訳	年度	令和3	4	5	6	7
問 題 な し		5	6	1	6	3
受 診 勧 め ・ 継 続		0	0	0	0	0
親子通園・児童発達支援勧め・継続		0	0	0	3	2
つばめっこ教室勧め		17	10	20	12	20
個 別 相 談		10	3	3	4	1
再 相 談		0	0	0	0	0
3 歳 児 健 診		27	38	34	43	50
そ の 他		0	4	8	4	4

カ わんぱく相談

(ア) 対 象 : 3歳児健診要観察児とその親

(イ) 内 容 : 身体測定、個別相談

(ウ) 従 事 者 : 心理判定員、保健師

(エ) 実施状況

a わんぱく相談 (単位:人)

内 容		年	令和3	4	5	6	7
対 象 者 数	未満児		0	1	2	0	0
	年少児		17	19	30	24	31
	年中児		2	1	1	0	1
	年長児		0	0	0	0	1
	合 計		19	21	33	24	33
来 所 者 数	未満児		0	0	2	0	0
	年少児		12	18	27	24	31
	年中児		0	0	1	0	1
	年長児		0	0	0	0	1
	合 計		12	18	30	24	33

※再わんぱく相談含む

【結果】 ※重複あり (単位:人)

内 容	年	令和3	4	5	6	7
問題なし・園内支援		1	1	4	0	3
受 診 勧 め・継 続		0	1	4	1	2
並行通園・児童発達支援勧め		11	17	18	10	15
発 達 検 査		9	4	17	9	12
再 わ ん ぱ く 相 談		0	2	1	0	3
継 続 支 援		0	0	0	4	0
そ の 他		0	0	4	0	1
合 計		21	25	48	24	36

※平成29年度から事前に園訪問をし、早急な支援が必要な児のみをわんぱく相談の対象とした。

キ 個別相談

幼児期における健診、相談において、言葉の遅れ等精神発達面に問題を有する児に対し、心理判定員が発達検査を行い、児の発達課題を明確にするとともに、親の不安の解消に努め適切な対応ができるよう支援する。

(ア) 対 象 : 言葉の遅れなど精神発達に問題を有している、就学前の児とその親

(イ) 従 事 者 : 心理判定員

(ウ) 実施状況 (単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
相 談 実 施 人 数	65	65	87	96	67

ク 園訪問

(ア) 対 象 : 幼稚園・保育園に在籍している、わんぱく相談または個別相談対象児

(イ) 内 容 : 行動観察、発達検査、面談等

(ウ) 従事者 : 保健師、心理判定員

(エ) 実施状況 (単位:回、人)

年度	令和3	4	5	6	7
訪 問 回 数	39	41	71	58	86
対 象 児 数	52	72	95	80	78

② 家庭訪問

543,748円

ア 実施状況

(単位:人)

内訳	年度	令和3	4	5	6	7
赤ちゃん訪問(再掲:未熟児)		4か月未満: 843 4か月以降: 7	4か月未満: 729 4か月以降: 3	4か月未満:695 4か月以降: 6 (79)	4か月未満:685 4か月以降: 2 (67)	4か月未満:620 4か月以降:2 (64)
家 族 計 画		841	727	688	682	649
乳 児	事 後	33	16	19	7	23
	未 健	2	1	3	1	7
幼 児	事 後	32	31	16	7	14
	未 健	15	15	19	8	20
ハイリスク	妊 婦	39	74	23	43	13
	産 婦	32	70	42	61	44
生 活 環 境・その他		138	110	106	113	113
計		1,982	1,776	1,617	1,609	1,505

イ 乳児家庭全戸訪問事業 研修会

※R5.R7年度は開催なし

乳児家庭全戸訪問事業に従事する職員が、乳児及びその保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行い、支援の必要な家庭には、適切なサービス提供につなげることができるように、支援が必要な家庭のアセスメントができるようになるために研修会を実施した。

実施日	研修内容	参加人数
令和4年4月25日	○乳児家庭全戸訪問事業について ○質問票3種 ^{※1} の活用と留意点について (^{※1} エシジバ産後うつ病質問票、育児支援チェックリスト、赤ちゃんの気持ち質問票) ○事例を用いたグループワーク ○講師:順天堂大学 保健看護学部 教授 岩清水 伴美 氏	健康推進課(保健師・助産師)、子ども家庭課職員(保健師・養育支援員)26名
令和7年3月24日	○乳児家庭全戸訪問事業について ○乳児の発育・発達の評価方法の習得 ○保護者へ児の発達の促し方の指導方法 ○講師:理学療法士 相馬綾子 氏	健康推進課(保健師・助産師)、子育て支援センター保育士 28名

③ 療育相談

867,779円

ア すくすく運動教室

健診・相談・訪問等で運動発達面での指導が必要な乳幼児に対してグループ指導・個別指導を行い、
児の運動発達を促す。

(ア) 対 象 : 運動発達に問題を有する児とその親

(イ) 方 法 : グループ及び個別指導 月2回

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、令和元年度は1回、
令和2年度は3回未実施。

(ウ) 内 容 : ふれあい体操、スキンシップ遊び、個別指導

(エ) 従 事 者 : 理学療法士、保育士、保健師 (※令和3年度は作業療法士)

(オ) 実施状況

(a) 参加状況

(単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
対 象 者 人 数	42	40	43	33	34
参 加 実 人 数	39	37	35	29	33
参 加 延 人 数	208	205	195	201	173
親・その他参加者延人数	251	222	240	232	194

(b) 参加理由

(単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
染 色 体 異 常	5	1	1	1	0
脳性麻痺(脳原性疾患)	1	1	0	0	0
精 神 発 達 遅 滞	8	9	12	9	1
運 動 発 達 の 遅 れ の み	23	26	24	18	31
そ の 他 (低 出 生 含 む)	5	3	6	5	2
計	42	40	43	33	34

(c) 事後指導

(単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
個 別 訪 問 対 応	1	0	0	0	0
10か月児健診で確認	3	3	6	1	5
1歳6か月児健診で確認	21	12	23	20	8
親 子 遊 び の 教 室	1	2	0	2	1
2歳児ステップ相談にて確認	2	2	1	0	1
ガゼルの森親子通園	0	0	0	0	0
児 童 発 達 支 援	2	1	1	0	0
問 題 無 く 卒 業	1	9	3	2	8
そ の 他 (転 出 含 む)	11	0	0	8	11
計	42	29	34	33	34

イ 親子遊びの教室（ピノキオ・ドナルド）

1歳6か月児健診やステップ相談でスクリーニングされた母子に対し、グループによる遊びを通して児の発達を促し、良好な親子関係を築くよう支援する。

- (ア) 対 象 : 精神発達面における経過観察が必要な児とその親
 ピノキオ:1歳6か月～
 ドナルド:2歳～
- (イ) 方 法 : 地域子育て支援事業との共催によるグループ指導
 参加期間:約6か月
 ピノキオ月1回、ドナルド月1回、合同外遊び月1回
 ※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、令和2年度は5回、令和3年度は4回、令和4年度は1回未実施
- (ウ) 内 容 : ピノキオ:サーキットでの体づくり、ふれあい遊び
 ドナルド:ムーブメント活動
 外遊び:山道散歩、人工芝での自由遊びなど
- (エ) 従 事 者 : 保育士、保健師、心理判定員
- (オ) 実施状況

(a) 参加状況 (単位:人)

年度	ピノキオ					ドナルド				
	令和3	4	5	6	7	令和3	4	5	6	7
対 象 児 数	26	30	26	30	38	34	37	48	34	45
参 加 実 人 員	18	22	22	24	28	23	31	40	27	34
参 加 延 人 員	60	92	110	101	117	93	118	192	121	165

(b) 把握経路 (単位:人)

年度	ピノキオ					ドナルド				
	令和3	4	5	6	7	令和3	4	5	6	7
す く す く 運 動 教 室	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
1 歳 6 か 月 児 健 診	25	30	15	30	36	0	0	0	0	1
ス テ ッ プ 相 談	1	0	0	0	1	33	36	47	34	42
そ の 他	0	0	1	0	0	1	1	1	0	2

(c) 事後指導 (単位:人)

年度	ピノキオ					ドナルド				
	令和3	4	5	6	7	令和3	4	5	6	7
ス テ ッ プ 相 談	19	22	16	20	21	0	0	0	0	0
再 ス テ ッ プ 相 談	0	0	1	0	0	26	21	38	28	29
3 歳 児 健 診	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1
つ ば め っ こ 教 室	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
親 子 遊 び の 教 室	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0
親 子 通 園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	2	1	1	0	0	2	0	1	0

(d) 問題点(重複) (単位:人)

年度	ピノキオ					ドナルド				
	令和3	4	5	6	7	令和3	4	5	6	7
言 語 表 出 (こ と ば の 遅 れ)	25	27	21	25	31	28	32	47	31	34
多 動 ・ 衝 動 性	8	4	11	15	19	11	8	19	21	19
言 語 理 解 認 知 (指 示 理 解 低 い)	22	25	18	24	33	26	24	41	29	35
対 人 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	23	26	22	26	33	28	29	46	31	37
養 育 問 題	2	7	6	12	16	9	5	14	9	14

ウ つばめこ教室

ステップ相談・3歳児健診などでスクリーニングされた精神発達面において問題を有する児とその保護者に対して、早期療育準備の機会を提供する。グループ指導をとおして、親に児の発達状況を確認してもらい、適切な育児ができるよう支援する。

(ア) 対 象 : 精神発達面に問題を有する児とその親

(イ) 方 法 : 1期6回 3か月間 年間4期 グループ及び個別指導

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため令和2年度は1期6回、令和4年度は1回中止。

(ウ) 内 容 : 朝の会、手遊び、テーマ遊び、講話、心理判定員による発達検査

(エ) 従 事 者 : 心理判定員、保健師、保育士、療育に関する講話講師、託児ボランティア

(オ) 実施状況

(a) 参加状況

(単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
対 象 児 数	39	30	29	31	30
参 加 実 人 員	37	27	29	30	30
参 加 延 人 員	184	121	148	152	147

(b) 把握経路

(単位:人)

年度		令和3	4	5	6	7
親子遊びの教室	ピノキオ	1	0	0	0	0
	ドナルド	2	2	0	1	0
2 歳 児 ス テ ッ プ 相 談		9	1	0	0	1
再 2 歳 児 ス テ ッ プ 相 談		13	19	16	22	17
3 歳 児 健 診		14	7	11	8	11
個 別 相 談		0	0	1	0	0
健 康 相 談 室		0	0	0	0	0
そ の 他		0	1	1	0	1

(c) 事後指導の内容(重複)

(単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
再 2 歳 児 ス テ ッ プ 相 談	0	0	0	0	0
3 歳 児 健 診	0	0	1	0	0
わ ん ぱ く 相 談	0	0	2	4	2
児 童 発 達 支 援	21	18	22	19	21
親 子 通 園	5	9	2	6	3
並 行 通 園	4	0	2	1	4
幼 児 個 別 相 談	0	0	0	0	0
受 診	1	2	0	0	0
そ の 他 (転 出 等)	6	0	0	0	0

(d) 問題点(重複)

(単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
言 語 表 出 (こ と ば の 遅 れ)	33	21	23	24	25
多 動 ・ 衝 動 性	17	17	14	24	9
言 語 理 解 認 知 (指 示 理 解 低 い)	31	16	13	18	23
対 人 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	35	25	29	28	26
養 育 問 題	7	5	9	9	8

④ 妊娠・出産包括支援事業

5,831,412 円

妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師等の専門職が全ての妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力してサポートプランを策定することにより、妊産婦等にきめ細かい支援を実施する。

令和5年度からこども家庭センターが設置され、合同ケース会議で情報共有、支援方針の決定を行う。また継続支援が必要な妊婦や子育て家庭全てにサポートプランを作成し、その中でも特に他機関との連携が必要な妊婦を特定妊婦として定め、支援を実施。

1. 妊婦への支援

ア 特定妊婦への支援

- (ア) 対 象 : 母子手帳発行時、プラン作成が必要と判断された妊婦
 (イ) 内 容 : 電話、訪問、面談、ケース会議 等
 サポートプラン作成
 (ウ) 従 事 者 : 保健師
 (エ) 実施状況

(単位:人)

		年度	令和3	4	5	6	7
特定妊婦※			62(15)	53(25)	56(17)	52(21)	18(5)
支援内容	電話	実人数	62	78	73	52	13
		延人数	87	208	158	166	48
	訪問	実人数	9	16	28	38	7
		延人数	17	42	46	62	18
	面談	実人数	10	14	20	14	3
		延人数	24	42	21	23	5
	プラン作成数		62	53	56	52	18
	ケース会議		2	8	－	2	6

※ () は、前年度から継続支援数。

イ ハイリスク妊婦への支援

- (ア) 対 象 : 母子手帳発行時、継続支援が必要と判断された妊婦
 (イ) 内 容 : 電話、訪問、面談 等
 サポートプラン作成
 (ウ) 従 事 者 : 保健師
 (エ) 実施状況

(単位:人)

年度			令和3	4	5	6	7
ハイリスク妊婦			322	317	333	378	303
支援内容	電話	実人数	164	72	25	32	39
		延人数	164	72	30	46	53
	訪問	実人数	5	4	4	3	7
		延人数	5	4	4	4	9
	面談	実人数	53	10	14	11	26
		延人数	53	10	18	11	30

2. 産婦への支援

- (ア) 対 象 : 特定妊婦、及び出産後、継続支援が必要と判断された産婦
 (イ) 内 容 : 産科医療機関との連携により早期訪問を行い、産後ケア等必要な支援につなげる
 (ウ) 従事者 : 産婦健診実施医療機関、保健師
 (エ) 実施状況

(単位:人)

		年度	令和3	4	5	6	7
産婦健診受診者数 (受診率%)		1回目	728(86.5)	653(86.4)	618(89.6)	627(90.6)	592(87.8)
		2回目	830(98.7)	735(98.3)	696(98.0)	687(98.6)	622(99.7)
要支援産婦(要支援率%)		1回目	89(12.2)	106(16.2)	106(17.2)	95(15.2)	80(13.5)
		2回目	74(8.9)	67(9.1)	63(9.1)	83(12.1)	57(9.2)
内 訳 (重 複 あ り)	専門医療機関紹介	1回目	1	1	1	0	1
		2回目	2	0	2	3	1
	市へ支援依頼	1回目	49	14	62	45	43
		2回目	50	19	43	57	40
	産院継続フォロー	1回目	45	13	49	47	37
		2回目	20	121	17	29	15
連絡票受理件数		1回目	29	65	73	61	30
		2回目	27	55	42	58	50

※1回目:2週間健診 2回目:1か月健診

⑤ 産後ケア事業

8,667,691 円

- (ア) 対 象 : 出産後1年以内であって、産後ケアを必要とする者
 (イ) 内 容 : 対象者への心身のケアや育児サポート
 (ウ) 従 事 者 : 委託先の医院・助産院に所属する医療従事者
 (エ) 実施状況 :

(単位:人、日、回)

事業形態		令和3	4	5	6	7
短期入所(ショートステイ)型	実人数	1	3	5	21	25
	延日数	1	8	20	64	85
通所(デイサービス)型7時間	実人数	24	35	68	78	87
	延回数	60	85	143	185	206
通所(デイサービス)型2時間未満	実人数	49	90	215	208	204
	延回数	136	212	411	393	364
居宅訪問(アウトリーチ)型	実人数	13	31	53	65	41
	延回数	30	106	115	148	64

⑥ 低所得妊婦受診支援事業

18,800 円

低所得の妊婦の経済的負担軽減を図るとともに、当該妊婦の状況を継続的に把握し、必要な支援につなげるため、初回の産科受診料の費用の一部を助成。(上限10,000円)

また制度周知のために近隣産婦人科医療機関、市内小児科医療機関、市内保育園・こども園・幼稚園にポスター掲示を依頼。

年 度	令和6	7
件 数	1	2

⑦ 思春期教育事業

184,970 円

藤枝市内公立中学校を対象に思春期講座(妊娠・出産、性感染症予防)を実施した。

少子化突破展開事業として令和2年度から4年度まで実施。

年度	対象	内容	実施日	参加者	
				生徒	教員
令和3	岡部中学校	○講演 「知ろう・考えよう・未来のために」	令和3年6月15日	60	4
	広幡中学校	・大切な命とは(妊娠性を含めた話)	令和3年6月18日	74	4
	西益津中学校	・二次性徴と異性への思いやり(性の多様性を含めた話)	令和3年10月22日	100	5
	大洲中学校※	・将来子どもを産み育てるために今自分ができること	令和3年11月12日	75	4
	瀬戸谷中学校	講師:NPO法人リプロダクティブヘルス研究会	令和3年12月21日	10	2
	藤枝中学校	助産師 御宿 みほ	令和4年3月7日	135	6
	青島中学校※	○助産師の指導による妊婦疑似体験等(静岡県助産師会)	令和4年3月7日	203	8
	葉梨中学校	・胎児モデルを活用した妊婦疑似体験	令和4年3月8日	85	4
	高洲中学校	・新生児モデルを活用した赤ちゃんの抱き方 ※講義のみ実施した中学校	令和4年3月8日	192	7
	青島北中学校※		令和4年3月14日	87	4

年度	対象	内容	実施日	参加者
				生徒
4	岡部中学校※	○講演 「知ろう・考えよう・未来のために」	令和4年6月10日	63
	青島北中学校※	・助産師の仕事を通して感じる命の大切さについて	令和4年6月21日	88
	広幡中学校	・性感染症について	令和4年6月24日	66
	西益津中学校※	・望まない妊娠について	令和4年7月1日	98
	藤枝中学校	講師:NPO法人リプロダクティブヘルス研究会	令和4年10月20日	128
	瀬戸谷中学校	助産師 宮原 史子	令和4年12月20日	10
	青島中学校※	○助産師の指導による妊婦疑似体験等(静岡県助産師会)	令和5年3月6日	244
	葉梨中学校	・胎児モデルを活用した妊婦疑似体験	令和5年3月8日	103
	大洲中学校※	・新生児モデルを活用した赤ちゃんの抱き方 ※講義のみ実施した中学校	令和5年3月8日	75
	高洲中学校※		令和5年3月10日	164

年度	対象	内容	実施日	参加者
				生徒
5	広幡中学校	○講演 「思春期のからだと心～命をつなぐ責任と行動～」	10月6日(金)	76
	青島北中学校	・二次性徴	11月29日(水)	108
	西益津中学校	・欲求と行動(性交、妊娠)	1月24日(水)	105
	青島中学校	・性感染症予防	3月7日(木)	257
	藤枝中学校	講師:“人間と性”教育研究協議会 本間江理子	3月13日(水)	134

※令和5年度は希望校のみ実施

年度	対象	内容	実施日	参加者
				生徒
6	広幡中学校	○講演 「思春期のからだと心～命をつなぐ責任と行動～」	令和6年10月9日	97
	瀬戸谷中学校	・二次性徴	令和6年11月19日	18
	大洲中学校	・欲求と行動(性交、妊娠)	令和6年11月25日	81
	青島北中学校	・性感染症予防	令和6年11月29日	94
	藤枝中学校	講師:“人間と性”教育研究協議会 本間江理子	令和7年3月7日	163
	高洲中学校		令和7年3月10日	188
	西益津中学校		令和7年3月11日	83
	葉梨中学校		令和7年3月12日	123
	青島中学校		令和7年3月17日	293

※令和6年度より思春期教育事業として実施。

年度	対象	内容	実施日	参加者
				生徒
7	広幡中学校	○講演 「希望ある未来のために生と性を考える」 ・二次性徴 ・欲求と行動(性交、妊娠) ・性感染症予防 講師:“人間と性”教育研究協議会 本間江理子	令和7年11月10日	76
	青島北中学校		令和7年11月26日	123
	大洲中学校		令和8年2月9日	84
	青島中学校		令和8年3月6日	258
	高洲中学校		令和8年3月9日	206
	西益津中学校		令和8年3月9日	83
	岡部中学校		令和8年3月10日	95
	藤枝中学校		令和8年3月11日	184
	瀬戸谷中学校		令和8年3月11日	11
	葉梨中学校		令和8年3月12日	138

(5) 妊娠等包括相談支援事業

930,676 円

妊娠期から出産・子育ての相談に応じ、専門的・個別的に必要な支援につなげていくことでより安心して出産・子育てができるよう妊娠届出時、妊娠後期、出産後に妊産婦に面談やアンケートを実施。
また、妊婦のための支援給付による経済的支援と組み合わせ実施。

(単位:件)	
面談実施	令和7
妊娠届出時	638
妊娠後期	446
出産後	622

(6) 妊婦のための支援給付事業

67,794,469 円

妊婦等包括相談支援事業と組み合わせ、妊婦の産前産期間における身体的・精神的・経済的負担の軽減し、もって妊婦や胎児である子どもの保健及び福祉の向上に寄与することを目的として、妊婦のための支援給付として妊婦支援給付金を支給。

対象:妊婦(流産・死産等含む)		(単位:件)	
		内容	令和7
妊婦支援給付金	1回目	妊娠していることの申請 50,000円/件	678
	2回目	妊娠しているこどもの数×50,000円	611

(7) 妊娠出産・子育て応援事業

4,273,320 円

妊娠・出産・育児期に係る各種サービス等利用負担軽減を図る経済的支援を面談と合わせて実施。
令和7年度から妊婦のための支援給付として制度化。(経過措置分)

	対象者	内容	令和5	6	7
出産応援給付金	妊娠届出をした者	50,000円/人	対象者数 704人 35,200千円	対象者数 697人 34,850千円	対象者数 1人 50千円
子育て応援給付金	子の養育者	50,000円/人 (※こども1人に対し)	対象者数 721人 36,050千円	対象者数 715人 35,750千円	対象者数 84人 4,200千円

(8) 育児支援

380,747円

① 育児教室

142,747円

ア パパママ教室

(ア) 対 象 妊娠6～7か月の初産婦とその夫

(イ) 方 法 講義、体験

※令和3・4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため個別パパママを含む。

(ウ) 内容

内 容	赤ちゃん・おっぱい・栄養・歯・地域の子育て支援等の話 抱っこ・おむつ交換・着替えの仕方・沐浴等の育児体験 妊婦体験
従 事 者	助産師・保健師・管理栄養士

(エ) 実施状況

(単位:回、人、%)

年度	回 数	受講者数		夫の参加率
		妊婦	夫	
3	57 (再掲:個別パパママ45回)	175 (再掲:個別パパママ45人)	148 (再掲:個別パパママ40人)	84.6 (再掲:個別パパママ88.9)
4	30 (再掲:個別パパママ18回)	144 (再掲:個別パパママ26人)	131 (再掲:個別パパママ26人)	91.0 (再掲:個別パパママ100.0)
5	12	118	105	89.0
6	12	132	107	81.1
7	12	132	124	93.2

イ もぐもぐごっくん赤ちゃん教室

(ア) 対 象 離乳食期の乳児を持つ母親

(イ) 方 法 集団(オンライン配信含む)及び個別指導 前編(5か月児頃) 月1回、後編(8か月児頃) 月1回

(ウ) 内 容 管理栄養士による講話、実技

(エ) 実施状況

(単位:回、人)

		令和3	4	5	6	7
実 施 回 数	前 編 (5 か 月 児 頃)	12	12	12	12	12
	後 編 (8 か 月 児 頃)	12	12	12	12	12
受 講 者 数	前 編 (5 か 月 児 頃)	200 (89)	162 (102)	330 (140)	355 (154)	392 (161)
	後 編 (8 か 月 児 頃)	150 (66)	131 (92)	168 (73)	218 (91)	197 (85)

()内は児の参加人数

ウ その他

こども課から講師依頼を受け講義を実施した。

実施日	講 座 名	テ ー マ	受講者数
令和6年 6月19日	託児ボランティア養成講座	乳幼児の病気と事故	10
令和6年 6月27日	第1回藤の里ファミリー・サポート・ センター提供会員向け講習会	乳幼児の病気と事故	10
令和7年 1月21日	第2回藤の里ファミリー・サポート・ センター提供会員向け講習会	乳幼児の病気と事故	13
令和7年 6月25日	第1回藤の里ファミリー・サポート・ センター提供会員向け講習会	乳幼児の病気と事故	5
令和8年 1月29日	第2回藤の里ファミリー・サポート・ センター提供会員向け講習会	乳幼児の病気と事故	8

② 乳幼児虐待予防事業

238,000円

ア 新生児訪問時における産後うつ病スクリーニング検査

産後うつ病(疑い含む)や育児不安の強い親など、継続的支援を必要とする母親を早期にスクリーニングし、介入する。

(ア) 方 法 : 育児指導や産婦の保健指導終了後に、自己記入式のEPDSを実施。

実施に当たっては、手順や留意点等を保健師間で統一している。

EPDS9点以上の産婦には、訪問後1か月以内に電話相談を実施し、

電話相談・相談室・離乳食講習会の利用を勧め、必要に応じて継続訪問する。

(イ) 結 果

(単位:人、%)

年度		令和3		4		5		6		7	
対 象 産 婦 数		862		736		718		692		630	
実 施 者 数 (率)		840(97.7)		727(98.8)		688(95.8)		687(99.3)		622(98.7)	
EPDS 9点以上	ハ イ リ ス ク 妊 婦	31	57	35	48	24	35	31	36	15	21
	そ の 他 の 産 婦	26	(6.8)	13	(6.6)	11	(5.1)	5	(5.2)	6	(3.3)

訪問時の産後日数		令和3		4		5		6		7	
～ 30		30		27		21		18		13	
31 ～ 60		22		17		13		16		7	
61 ～ 90		5		4		1		2		4	
91 ～ 120		0		0		0		0		1	

(ウ)事後(6か月児すこやか相談結果)

(単位:人)

年度 内訳		3	4	5	6	7
問 題 な し		13	17	5	6	5
経過 観察	ひまわり教室紹介	0	1	0	1	0
	1歳6か月児健診にて相談	8	5	1	2	0
	6か月児相談未実施	22	18	20	14	7
	そ の 他	7	8	11	9	8
転 出		2	1	3	4	1
合 計		52	50	40	36	21

イ 乳幼児健康診査時におけるアンケート(家族の健康について)

育児不安や育児困難感の強い親など、継続的支援を必要とする家族を早期にスクリーニングし、介入する。

(ア) 対 象 : 「6か月児すこやか相談」「1歳6か月児健診」「3歳児健診」に来所された家族

(イ) 方 法 : 保健師との個別面接時にアンケートをもとに聞きとりで確認する。
(平成29年度までは父親や祖父母が来所した場合対象から外している)

(ウ) 結 果

(単位:人、%)

内訳 年度 実施場所		対象者数	グ レ ー ジ ー ン				
			相談者数	率	継 続 支 援 に つ い て		
					不要者数	必要者数	率
令和3	6か月児すこやか相談	848	345	40.7	267	78	9.2
	1歳6か月児健診	893	230	25.8	181	49	5.5
	3歳児健診	1,070	384	35.9	319	65	6.1
4	6か月児すこやか相談	789	290	36.8	230	60	7.6
	1歳6か月児健診	895	205	22.9	156	49	5.5
	3歳児健診	928	268	28.9	227	41	4.4
5	6か月児すこやか相談	727	276	38.0	220	56	7.7
	1歳6か月児健診	791	211	26.7	179	32	4.0
	3歳児健診	921	306	33.2	273	33	3.6
6	6か月児すこやか相談	686	173	25.2	137	36	5.2
	1歳6か月児健診	775	173	22.3	153	20	2.6
	3歳児健診	873	285	32.6	258	27	3.1
7	6か月児すこやか相談	670	182	27.2	161	21	3.1
	1歳6か月児健診	718	152	21.2	135	17	2.4
	3歳児健診	843	151	17.9	140	11	1.3

ウ 子育て支援教室“ひまわり”

「虐待やその疑いのある親」あるいは「育児不安や養育困難な親」など、母親の精神的負担が大きいケースを対象に、メンタルヘルス対策として子育て支援教室を開催し、子どもへの虐待の予防を図る。

- (ア) 対象 : 健診・相談および家庭訪問においてスクリーニングした結果、継続的支援が必要だと判断されたグレーゾーンやハイリスク親子
- (イ) 方法 : ≪グループ支援≫母子分離によるグループケア活動
≪個別支援≫個別面接
※年々グループ支援での要望が減少している為、令和5年度から月1回個別支援のみの実施とした。
- (ウ) 内容 : 〈母グループ〉グループミーティング
〈子どもグループ〉自由遊び
- (エ) 従事者 : 〈母グループ〉 (進行)家庭児童相談員 (記録)保健師 (助言)臨床心理士
※令和5年度から(記録)保健師(助言)臨床心理士で実施。
〈子どもグループ〉 (観察)保健師 (託児)託児ボランティア

(オ) 結果

内訳		令和3		4		5		6		7	
		グループ支援	個別支援	グループ支援	個別支援	グループ支援	個別支援	グループ支援	個別支援	グループ支援	個別支援
母親	実人数	11		9					11		13
	延べ人数	32	0	10	0		17		12		20
	対象者数	31		22							
子ども	延べ人数	26	0	10	0		19		8		17
	対象者数	53		34							

V 成 人 保 健 係

- 1 成 人 保 健 事 業
- 2 が ん 検 診 事 業
- 3 結 核 予 防 事 業
- 4 小児・若年者等がん対策支援事業
- 5 骨 髄 移 植 対 策 事 業

1 成人保健事業

(1) 健康手帳(健康のしおり)の交付

(単位:人)

年度	令和3	4	5	6	7
計	5	6	5	9	2

※平成29年度より、厚生労働省ホームページを自身でダウンロードし使用するよう法改正がされたため、
現行の健康手帳(健康のしおり)は希望者のみの配布を行う。

※令和元年度より、病院への配布はせず、希望者のみに配布。

※令和2年度は、個人病院より健康手帳を活用したいとの希望があり配布したため、配布数が増加している。

(2) 健(検)診関係

特定健康診査受託事業費(一般会計)	1,130,294円
特定健康診査(一般会計)	93,000円
特定健康診査事業費(国特)	1,442,110円
若者ヘルスアップ健診事業費(国特)	3,762,264円
県補助金(一般会計)	47,000円

① 特定健康診査・健康診査(平成20年度～)

40～74歳までの者については、高齢者の医療の確保に関する法律(以下「高齢者医療確保法」という)に基づき、内臓脂肪型肥満に着目した特定健康診査・保健指導として医療保険者に実施が義務づけられた。

また、後期高齢者医療被保険者についても、糖尿病等の生活習慣病の早期発見のための健康診査として、高齢者医療確保法に基づき広域連合に努力義務が課せられることとなった。

(静岡県後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査として、藤枝市が広域連合から全部受託し、市が実施する特定健康診査に準じて行うこととなった。)

あわせて、無保険者(健康増進法に基づき衛生部門が実施)や若い世代(国保ヘルスアップ事業)についても市が実施する特定健康診査に準じて行った。

ア 対象

- (ア) 40～74歳の藤枝市国民健康保険に加入している者(特定健康診査)
- (イ) 後期高齢者医療制度に加入している者(健康診査)
- (ウ) 無保険者等(健康増進法に基づく健康診査)
- (エ) 39歳以下の者

イ 健診項目

基本的な健診項目 (全員が実施する 健診項目)	問診・血圧測定・身体計測(身長・体重・腹囲)*腹囲は74歳以下の人のみ 医師の診察・尿検査・血液検査(中性脂肪・総コレステロール・LDLコレステロール・HDLコレステロール・AST・ALT・ γ -GT・血糖・HbA1c)
詳細な健診項目	心電図検査・眼底検査・血液検査(貧血・尿酸・クレアチニン・eGFR)

ウ 時期:5月～1月

エ 場所:志太医師会検診センター・保健センター

オ 年度別受診状況

年度	回数	区分	対象人員(人)	受診人数(人)	受診率(%)
令和3	157	藤枝市国民健康保険	24,695	7,568	30.6
		法定報告数*注1	21,831	7,892	36.2
		後期高齢者医療制度	22,139	4,859	21.9
		健康増進法分		15	
		若者ヘルスアップ健診		574	
4	149	藤枝市国民健康保険	24,120	8,831	36.6
		法定報告数*注1	20,241	8,745	43.2
		後期高齢者医療制度	22,615	5,970	26.4
		健康増進法分		14	
		若者ヘルスアップ健診		542	
5	150	藤枝市国民健康保険	22,339	8,259	37.0
		法定報告数*注1	19,163	8,459	44.1
		後期高齢者医療制度	23,843	6,636	27.8
		健康増進法分		14	
		若者ヘルスアップ健診		460	
6	148	藤枝市国民健康保険	21,437	8,252	38.5
		法定報告数*注1	18,091	8,265	45.7
		後期高齢者医療制度	24,730	7,140	28.9
		健康増進法分		14	
		若者ヘルスアップ健診		437	
7	148	藤枝市国民健康保険	20,323	7,776	38.3
		後期高齢者医療制度	25,545	7,426	29.1
		健康増進法分		10	
		若者ヘルスアップ健診		464	

*注1: 特定健康診査の法定報告数は、加入者のうち特定健康診査の実施年度中に40～74歳となる者で、かつ当該実施年度の一年間を通じて加入している者(年度途中の加入・脱退等異動のない者)とされているため、実際の受診者数等とは異なる数となっている。

② 肝炎ウイルス検診(平成14年度～)

肝炎ウイルス検査 5,548,556円
[県補助金 3,490,000円]

(平成20年度～) 健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業

「肝炎対策に関する有識者会議」の報告書を踏まえ、基本健康診査と同時実施での肝炎ウイルス検診を5年間の緊急総合対策として実施していたが、平成20年度以降についても引き続き特定健康診査等と同時に実施することとした。

ア 対 象 : 当該年度において満40歳以上となる者であって、過去に当該肝炎ウイルス検診に相当する検診を受けたことがなく、かつ本検診の受診を希望する者。なお、当該年度の高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査において肝機能検査の数値に異常がみられた者であり、かつ本検診の受診を希望する者については、過去に当該肝炎ウイルス検診に相当する検診を受けたものであっても受診することができるが、原則として速やかに医療機関での受診を勧奨するものとする。

イ 時 期 : 5月～2月

ウ 内 容 : 血液検査

(ア) B型肝炎ウイルス検査: HBs抗原検査

(イ) C型肝炎ウイルス検査: HCV抗体検査、必要な者のみHCV核酸増幅検査

エ 受診状況と検診結果

(単位: 人)

		B型肝炎ウイルス					C型肝炎ウイルス				
		令和3	4	5	6	7	令和3	4	5	6	7
受診人数		1,444	1,481	1,249	1,350	1,243	1,475	1,507	1,261	1,334	1,229
陽性者数		5	6	2	5	0	0	1	0	1	0
精密検査受診人数		4	4	1	5	0	0	1	0	0	0
診断結果	現時点異常なし	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	慢性肝炎	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0
	肝硬変	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	肝臓がん(疑い)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャリアー	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0
	その他	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<令和8年5月31日現在>

※平成23年度から「肝炎ウイルス検診等実施要領」の改正により、節目年齢受診者の検診自己負担金を無料にして、受診勧奨に努めている。

※平成27年度より静岡県肝炎ウイルス検査陽性者等重症化予防推進事業が開始され、初回精密検査の検査費用が助成されることになった。精密検査対象者には、通知を送り受診勧奨した。

③ 成人歯科健診(平成13年度～)

歯周病検診 11,117,488円

[県補助金 3,071,000円]

(平成20年度～)健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業

○歯周病・口腔がんの早期発見・早期治療

○予防啓発を通じ、高齢期における口腔保健状態を確保する

ア 歯科健診

(ア) 対 象 者 : 20・30・40・45・50・55・60・65・70歳

※令和6年度から20・30歳を追加実施。

(イ) 健 診 内 容 : a 問診 b 口腔内検査 c 口腔がん検査

(ウ) 実施場所・時期 : 藤枝歯科医師会指定医療機関47カ所:5月～11月

(エ) 受診状況

年度	対象者数(人) (通知発送者数)	受診者数(人)	年代別受診率(%)	受診率(%)
令和3	40歳 1,761	229	13.0	12.2
	45歳 2,095	248	11.8	
	50歳 2,176	234	10.8	
	55歳 1,653	156	9.4	
	60歳 1,624	257	15.8	
	65歳 1,770	204	11.5	
	70歳 2,144	290	13.5	
	計 13,223	1,618	-	
4	40歳 1,814	213	11.7	11.9
	45歳 2,019	151	7.5	
	50歳 2,289	229	10.0	
	55歳 1,916	186	9.7	
	60歳 1,739	255	14.7	
	65歳 1,815	227	12.5	
	70歳 2,068	366	17.7	
	計 13,660	1,627	-	
5	40歳 1,689	181	10.7	11.4
	45歳 1,967	168	8.5	
	50歳 2,268	247	10.9	
	55歳 2,038	164	8.0	
	60歳 1,736	229	13.2	
	65歳 1,825	190	10.4	
	70歳 1,912	352	18.4	
	計 13,435	1,531	-	
6	20歳 1,249	112	9.0	10.6
	30歳 1,190	117	9.8	
	40歳 1,661	168	10.1	
	45歳 1,802	137	7.6	
	50歳 2,231	226	10.1	
	55歳 1,948	173	8.9	
	60歳 1,850	230	12.4	
	65歳 1,719	177	10.3	
	70歳 1,787	296	16.6	
	計 15,437	1,636	-	
7	20歳 1,209	115	9.5	11.3
	30歳 1,189	114	9.6	
	40歳 1,574	165	10.5	
	45歳 1,812	191	10.5	
	50歳 2,127	193	9.1	
	55歳 2,036	228	11.2	
	60歳 1,724	206	11.9	
	65歳 1,696	219	12.9	
	70歳 1,780	283	15.9	
	計 15,147	1,714	-	

(オ) 受診状況と発見症例

年度		令和3		4		5		6		7	
受診者数(人)		1,618		1,627		1,531		1,636		1,714	
(判定内訳) (要重複検査)	異常なし	40	2.4%	52	3.2%	48	3.1%	59	3.6%	67	3.9%
	要指導	252	15.6%	259	15.9%	286	18.7%	344	21.0%	411	24.0%
	要精検	1,326	82.0%	1,316	80.9%	1,197	78.2%	1,233	75.4%	1,236	72.1%
	歯周病	1,130	85.2%	1,113	84.6%	1,008	84.2%	1,018	82.6%	991	80.2%
	う蝕	573	43.2%	535	40.7%	464	38.8%	521	42.3%	548	44.3%
	要補綴歯	116	8.7%	169	12.8%	163	13.6%	148	12.0%	162	13.1%
	その他	21	1.6%	17	1.3%	14	1.2%	25	2.0%	23	1.9%
精検受診者数(人)		1,196		1,261		1,127		1,137		1,120	
精検受診率(%)		90.2		95.8		94.2		92.2		90.6	

<令和8年5月31日現在>

④ 妊婦歯科健診(平成29年度～)

妊婦歯科健診事業費

1,171,083円

ア 歯科健診

(ア) 対 象 者 : 市内在住の妊婦

(イ) 健 診 内 容 : a 問診 b 口腔内検査 c 口腔がん検査

(ウ) 実 施 場 所 : 藤枝歯科医師会指定医療機関47カ所

(エ) 受診状況

				令和3		4		5		6		7	
対象者数(人)				885		834		749		731		682	
受診者数(人)				362		355		292		340		257	
受診率				40.9%		42.6%		39.0%		46.5%		37.7%	
内 訳	妊 娠 週 数	～16週未満		9	2.5%	8	2.3%	6	2.1%	3	0.9%	8	3.1%
		16～27週		304	84.0%	314	88.4%	239	81.8%	278	81.7%	201	78.2%
		28～36週		48	13.3%	32	9.0%	45	15.4%	55	16.2%	45	17.5%
		37週以降		1	0.3%	1	0.3%	2	0.7%	4	1.2%	3	1.2%

(オ) 受診状況と発見症例

年度		令和3		4		5		6		7	
受 診 者 数 (人)		362		355		292		340		257	
判 定 内 訳	異常なし	18	5.0%	17	4.8%	26	8.9%	24	7.1%	17	6.6%
	要指導	66	18.2%	84	23.7%	64	21.9%	80	23.5%	72	28.0%
	要精検	278	76.8%	254	71.5%	202	69.2%	236	69.4%	168	65.4%
(要 重 複 検 有 内 訳)	歯周病	220	79.1%	225	88.6%	177	87.6%	193	81.8%	127	75.6%
	う蝕	135	48.6%	129	50.8%	101	50.0%	92	39.0%	80	47.6%
	要補綴歯	6	2.2%	2	0.8%	2	1.0%	5	2.1%	4	2.4%
	その他	4	1.4%	1	0.4%	5	2.5%	3	1.3%	1	0.6%
精 検 受 診 者 数 (人)		235		224		188		210		147	
精 検 受 診 率 (%)		84.5		88.2		93.1		89.0		87.5	

< 令和8年5月31日現在 >

2 がん検診事業

令和7年度がん検診実施状況一覧

検診名	対象者		検診内容	自己負担金 ※1	実施場所	実施時期	受診率 ※2
胃がん検診	○過去リスク判定「AA?」判定で5年経過した者 ○リスク判定問診除外者		問診・胃内視鏡（カメラ）検査	3,200	市立総合病院 志太医師会指定20医療機関	4～11月	男性 2.5% 女性 4.3%
			問診・胃部エックス線（バリウム）検査	2,000	志太医師会検診センター		
	40歳以上で過去に市のリスク判定を受けたことがない者		問診・ピロリ菌胃がんリスク判定	990	志太医師会検診センター	5～12月	
	リスク判定後	当年度リスク判定「A」の者	問診・胃内視鏡（カメラ）検査	3,200	市立総合病院 志太医師会指定20医療機関	6～3月	
			問診・胃部エックス線（バリウム）検査	2,000	志太医師会検診センター		
子宮がん検診 （隔年実施）	20歳以上の女性		問診・子宮頸部の細胞診検査	1,450	市立総合病院 志太医師会指定6医療機関	4～11月	21.7%
			子宮頸・体部の細胞診検査 （医師が必要と認めた場合）	2,480	焼津市医師会指定5医療機関 島田市医師会指定1医療機関		
乳がん検診 （隔年実施）	40歳以上の女性		マンモグラフィ ※禁忌者はエコー	2,400 ※1,320	市立総合病院 志太医師会指定2医療機関 焼津市医師会指定3医療機関 島田市医師会指定1医療機関	4～11月	25.5%
大腸がん検診	40歳以上		問診・便潜血検査2日法	420	志太医師会検診センター	5～1月	男性 23.6% 女性 30.4%
結核検診 肺がん検診	40歳以上		問診・胸部エックス線撮影	240			男性 25.1% 女性 30.9%
			喀痰細胞診 ・原則として50歳以上で喫煙指数600以上の人※過去の喫煙者を含む	1,100			
前立腺がん検診	50歳以上の男性		問診・血液検査	900			—

- ・全てのがん検診は登録制
 - ＜自己負担金無料の対象者※1＞
 - ・高齢受給者制度又は後期高齢者医療制度加入者
 - ・生活保護世帯の人及び市県民税非課税世帯の人（『無料受診券』の発行が必要。ただし、40歳未満のエコー検査、前立腺がん検診は除く）
 - ・当該年度新40歳になる肺がん・大腸がん検診
 - ・当該年度新65歳になる胃がん検診
- ※2 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」のうち、（再掲）国民健康保険の被保険者の受診率

(1) 胃がん検診

① 胃内視鏡検査及び胃部エックス線検査

年度	R3			4			5			6			7		
	AA?5年経過	問診除外	R3A	AA?5年経過	問診除外	R4A	AA?5年経過	問診除外	R5A	AA?5年経過	問診除外	R6A	AA?5年経過	問診除外	ピロリ希望せず
対象種別	2,584	164	537	2,833	209	396	2,149	213	400	2,656	234	412	2,302	186	29
対象者数	133	16	1	295	22	3	163	26	6	256	16	8	254	16	1
※免除者数	32.5%	47.3%	22.0%	33.9%	77.5%	23.9%	37.3%	64.2%	29.2%	30.7%	77.5%	28.5%	33.3%	72.4%	64.3%
受診率															26.6%
受診者数	794	70	118	843	144	94	724	118	114	729	169	115	656	122	17
生検実施数 (要精検者数)	95	10	15	112	24	10	82	11	12	81	27	17	55	21	1
生検率 (要精検率)	12.0%	14.3%	12.7%	13.3%	16.7%	10.6%	11.3%	9.3%	10.5%	11.1%	16.0%	14.8%	8.4%	17.2%	5.9%
胃がん	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
胃がん疑い	5	1	1	8	3	1	4	0	0	3	3	0	1	0	1
胃がん以外の 悪性腫瘍	0	0	0	3	0	0	0	0	1	3	0	0	0	1	0
その他	428	19	55	512	67	58	478	51	70	506	91	80	479	65	12
受診者数	3	0	0	18	1	0	16	2	1	7	0	0	26	1	1
要精検者数	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	5	0	0
精検受診者数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	0
胃がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胃がん疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受診者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	4

※ 令和7年度からリスク判定を希望しない方もバリウム、内視鏡を実施可能とした

< 令和8年5月31日現在の数 >

② 胃がんリスク判定（受診状況と発見症例）

年度		令和3	4	5	6	7
判定結果	受診者数（人）	624	491	512	501	398
	A（人）	537	396	400	412	336
	B1・B2・C・D（人）	87	95	112	89	62
要精検者数（B1・B2・C・D）（人）		87	95	112	89	62
要精検率（％）		13.9	19.3	21.9	17.8	15.6
精検受診者数（人）		64	75	85	61	45
精検受診率（％）		73.6	78.9	75.9	68.5	72.6
発見症例	胃がん	0	0	1	0	0
	その他の疾患	56	73	83	51	42
	計	56	73	84	51	42

<令和8年5月31日現在の数>

③ 胃がんリスク判定後 医療機関フォロー者の受診状況と発見症例

年度		令和3	4	5	6	7
対象者数（人）		2,063	1,609	1,598	1,560	1,360
受診者数（人）		1,652	1,501	1,381	1,384	1,177
受診率（％）		80.1	93.3	86.4	88.7	86.5
胃がん発見者数		4	4	1	1	2

※対象者数は年度当初の発送者数。

<令和8年5月31日現在の数>

(2) 子宮がん検診（隔年検診）

子宮がん検診 35,861,369円
[国庫補助金 666,000円]

① 子宮がん検診受診状況（頸体部がん検診受診者含む）

年度	受診者数(人)	委託先別人数(人)		2年連続受診者数
令和3	6,230	市立病院	1,881	0
		志太医師会	3,972	
		市外	377	
4	5,251	市立病院	1,472	0
		志太医師会	3,404	
		市外	375	
5	5,750	市立病院	1,689	1
		志太医師会	3,695	
		市外	366	
6	5,276	市立病院	1,453	1
		志太医師会	3,480	
		市外	343	
7	5,403	市立病院	1,502	1
		志太医師会	3,535	
		市外	366	

※ 20歳以上の女性が対象

② 受診状況と発見症例

		年度	令和3	4	5	6	7
一次検診	(受診者数)	頸部	6,182	5,189	5,704	5,210	5,326
		頸・体部	48	62	46	66	77
		計	6,230	5,251	5,750	5,276	5,403
	要精検者数★(人)		120	80	83	103	67
	要精検率(%)		1.93	1.52	1.44	1.95	1.24
	(発見症例 重複有)	ビラシ	94	89	94	103	80
		子宮筋腫	517	444	480	553	560
		その他の疾患	485	361	425	426	479
		計	1,096	894	999	1,082	1,119
精密検査	精検受診者数(人)		116	77	79	100	57
	精検受診率(%)		96.7	96.3	95.2	97.1	85.1
	(発見症例 重複有)	子宮がん※1	2	2	1	0	1
		(再掲)クーポン券利用者	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
		異形成・その他☆	80	63	54	76	38
		(再掲) CIN3※2	(5)	(7)	(2)	(5)	(1)
	計		82	65	55	76	39

<令和8年5月31日現在の数>

★要精検者は細胞診結果で判断。ASC-US以上

☆内容:ASC-USの内HPV陽性、CIN1、CIN2、CIN3、AIS・CIN以外、その他

※1内訳:体部がん、卵巣がん含む

※2内訳:CIN2またはCIN3は含まない

(3) 乳がん検診（隔年検診）

乳がん検診 30,180,958円
[国庫補助金 386,000円]

① 検診受診形態(令和2年度から)

ア マンモグラフィ：40歳以上

イ エコー：40歳以上のマンモグラフィ禁忌者

※ 平成29～令和元年度までの検診受診形態

ア マンモグラフィ：40歳以上

イ エコー：30～39歳、マンモグラフィ禁忌者

② 乳がん検診受診状況

年度	受診者数(人)	委託先別人数(人)		2年連続受診者数
令和3	5,495	市立病院	3,718	20
		志太医師会	1,777	
4	4,595	市立病院	3,021	78
		志太医師会	1,574	
5	5,341	市立病院	3,621	61
		志太医師会	1,720	
6	4,700	市立病院	3,141	49
		志太医師会	1,559	
7	5,035	市立病院	3,252	54
		志太医師会	1,659	
		市外	124	

③ 検診結果状況

年度			令和3	4	5	6	7
一般	マンモ	受診者数(人)	5,121	4,260	5,017	4,427	4,769
		要精検者数(人)	283	349	376	311	288
		要精検率(%)	5.5	8.2	7.5	7.0	6.0
	禁忌者エコー	受診者数(人)	45	34	40	34	41
		要精検者数(人)	2	2	0	2	6
		要精検率(%)	4.4	5.9	0.0	5.9	14.6
クーポン	受診者数(人)	マンモのみ	315	288	270	224	210
		禁忌者エコー	14	13	14	15	15
	要精検者数(人)		30	33	31	27	33
	要精検率(%)		9.1	11.0	10.9	11.3	14.7

<令和8年5月31日現在の数>

④ 精密検査結果状況(マンモグラフィ・エコー・ケーボン)

年度			令和3	4	5	6	7
受診者数(人)			5,495	4,595	5,341	4,700	5,035
精密検査	要精検者数(人)		315	384	407	340	327
	要精検率(%)		5.7	8.4	7.6	7.2	6.5
	精検受診者数(人)		303	380	398	333	307
	精検受診率(%)		96.2	99.0	97.8	97.9	93.9
	(発見症例 重複有)	乳がん	24	23	12	12	27
		(再掲)早期がん	(15)	(17)	(10)	(7)	(13)
		乳房のその他の疾患	193	288	280	223	213
計		217	311	292	235	240	

< 令和8年5月31日現在の数 >

(4) 肺がん検診

肺がん検診 21,080,570円

① 胸部エックス線デジタル撮影

ア 受診状況

年度	受診者数（人）	（再掲）40歳
令和 3	13,262	—
4	15,385	198
5	15,140	170
6	15,404	173
7	15,118	158

※ 40歳以上が対象

イ 受診状況と発見症例

年度		令和3	4	5	6	7
受診者数（人）		13,262	15,385	15,140	15,404	15,118
要精検者数（人）		656	967	944	915	956
要精検率（%）		5	6	6	6	6
精検受診者数（人）		559	823	800	794	849
精検受診率（%）		85	85	85	87	89
発見症例	肺がん	15	21	13	20	8
	その他	358	575	543	562	603
	計	373	596	556	582	611

<令和8年5月31日現在の数>

② 喀痰細胞診

ア 受診状況と発見症例

年度		令和3	4	5	6	7
受診者数（人）		30	29	25	39	28
要精検者数（人）		0	0	0	0	0
要精検率（%）		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精検受診者数（人）		0	0	0	0	0
精検受診率（%）		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発見症例	肺がん	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0

※ 肺がん発見者（喀痰）は、①イ表の再掲

<令和8年5月31日現在の数>

(5) 大腸がん検診

大腸がん検診 15,771,718円

① 大腸がん検診受診状況

年度	受診者数 (人)	(再掲) 40歳
令和 3	13,134	115
4	15,152	238
5	14,652	178
6	14,917	192
7	14,932	165

※ 40歳以上が対象

② 受診状況と発見症例

年度		令和3	4	5	6	7
受診者数 (人)		13,134	15,152	14,652	14,917	14,932
要精検者数 (人)		840	1,101	904	1,041	951
要精検率 (%)		6.4	7.3	6.2	7.0	6.4
精検受診者数 (人)		633	822	723	767	653
精検受診率 (%)		75.4	74.7	80.0	80.0	68.7
発見症例	大腸がん	16	40	26	37	30
	その他の疾患	476	622	549	608	495
	計	492	662	575	645	525

<令和8年5月31日現在の数>

(6) 前立腺がん検診

前立腺がん検診 8,803,540円

平成20年度から「前立腺がん検診地域連携パス」を導入し、二次検診にて血液検査や前立腺の触診等を実施。二次検診の結果、前立腺がんが強く疑われる場合には、三次検査（藤枝市立総合病院泌尿器科）にて生体組織検査を実施するシステムとなっていた。令和元年度から「前立腺がん検診地域連携パス」を廃止し、他のがん検診と同様、精密検査結果報告書に切り替え精密検査実施医療機関から市へ報告書を提出とした。精密検査の結果、更なる検査が必要となった場合は藤枝市立総合病院病診連携室を通して同病院泌尿器科へ紹介。

検診間隔については、日本泌尿器科学会「前立腺がん検診ガイドライン」に基づいて実施。

① 受診状況

年度	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率（％）
令和 3	15,243	3,756	24.6
4	15,243	4,416	29.0
5	15,243	4,271	28.0
6	15,243	4,406	28.9
7	15,243	4,249	27.9

※ 50歳以上の男性が対象

※ 対象者数は、推計対象者数を用いる。

推計対象者数 ＝市人口－（就業者数－農林水産業従事者数）

50歳以上の男性で上記計算式で算出した人数

令和2年の国勢調査において報告された数を用いる

② 受診状況と発見症例

年度		令和3	4	5	6	7
受診者数（人）	A	3,756	4,416	4,271	4,406	4,249
要精検者（人）	B	265	427	320	325	288
要精検率（％）	(B/A)	7.1	9.7	7.5	7.4	6.8
精検受診人数（人）	C	198	343	237	234	184
精検受診率（％）	(C/B)	74.7	80.3	74.1	72.0	63.9
発見症例	前立腺がん	23	40	24	28	14
	前立腺がん疑い	47	57	41	61	51
	前立腺肥大症・肥大症疑い	109	219	156	122	104
	計	179	316	221	211	169

※要精検者：PSA値4.01以上の者

<令和8年5月31日現在の数>

※令和元年度から精検受診結果報告書の書式が変更し、判定のうち「がん疑い」の項目が追加された

(7) がん検診推進事業

がんによる死亡者数を減少させるために、がん検診の受診率を向上させ、がんを早期に発見することが重要であることから国の受診率向上施策であるクーポン事業を子宮がん・乳がんを対象に実施した。

自己負担金無料。(2)子宮がん検診(3)乳がん検診で掲載した受診数の一部を再掲する。

① 子宮頸がん検診

年度	令和3	4	5	6	7
対象者(人)	640	603	612	553	585
受診者数(人)	94	71	64	52	65
受診率(%)	14.7	11.8	10.5	9.4	11.1

※ 対象者は、新規受診対象者(20歳)

② 乳がん検診 (禁忌エコー含む)

年度	令和3	4	5	6	7
対象者(人)	895	887	919	812	801
受診者数(人)	329	301	284	239	225
受診率(%)	36.8	33.9	30.9	29.4	28.1

※ 対象者は、新規受診対象者(40歳)

※ 国のクーポン事業の対象はマンモグラフィによる検診であるが、マンモグラフィ禁忌者に対して行ったエコーによる検診も無料で実施

3 結核予防事業

健康診断費 16,599,564円

定期結核健康診断(胸部エックス線デジタル撮影)

対 象 者 : 40歳以上の市民

※ 感染症法では、定期結核健康診断対象者は65歳以上であるが、藤枝市では肺がん検診との兼ね合いがあるため、40歳以上に定期結核健康診断を実施。

実施方法 : 志太医師会検診センターにおいて特定健康診査と同時実施

周知方法 : 個別通知

(1) 受診状況

年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
令和 3	41,683	13,262	31.8
4	41,683	15,385	36.9
5	41,683	15,140	36.3
6	41,683	15,404	37.0
7	41,683	15,118	36.3

※ 対象者数は、推計対象者数を用いる。

推計対象者数 = 市人口 - (就業者数 - 農林水産業従事者数)

40歳以上で上記計算式で算出した人数

令和2年の国勢調査において報告された数を用いる

(2) 受診状況と精検結果

年度		令和3	4	5	6	7
受	診 者 数 (人)	13,262	15,385	15,140	15,404	15,118
要	精 検 者 数 (人)	656	967	944	915	956
要	精 検 率 (%)	4.9	6.3	6.2	5.9	6.3
精	検 受 診 者 数 (人)	559	823	800	794	849
精	検 受 診 率 (%)	85.2	85.1	84.7	86.8	88.8
発 見 症 例	結 核	0	0	0	0	1
	そ の 他	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	1

< 令和8年5月31日現在の数 >

4 小児・若年者等がん対策支援事業

(1) がん患者共生支援事業

がん患者共生支援事業費 2,185,846円
[県補助金 1,006,000円]

① がん患者補整具購入費用助成事業

がん治療の影響による外見の悩みを軽減し、がん患者の治療と就労の継続や社会参画の両立及び療養生活の質の向上を図り、がん患者の心理的及び経済的な負担を軽減することを目的とし、ウィッグ及び乳房補整具の購入に要する費用の一部（それぞれ上限2万円）を助成した。

(単位：人、件)

年度	令和3		4		5		6		7	
	実人数	申請件数	実人数	申請件数	実人数	申請件数	実人数	申請件数	実人数	申請件数
ウィッグ	75	62	81	66	87	65	55	39	91	66
乳房補整具 (補整下着 等)		16		18		32		18		29

② がん患者妊孕性温存治療費助成事業

将来子どもを産み育てることを望むがん患者が、生殖機能が低下する、又は失う恐れのあるがん治療開始前に妊孕性を温存することで、将来に希望を持ってがん治療に取り組むことができるよう支援するため、経済的負担の軽減を図ることを目的に妊孕性温存治療に要した費用の一部（精子の採取：上限35万円、卵子の採取・胚の凍結 等：上限40万円）を助成した。

(単位：件)

年度	令和3	4	5	6	7
精子の採取	0	1	0	0	0
卵子の採取・ 胚の凍結 等	0	1	1	1	0

③ 小児・若年がん患者在宅療養生活支援事業助成事業

医学的知見に基づき回復の見込みがない状態に至ったと判断された小児・若年がん患者が、住み慣れた自宅で最後まで自分らしく安心して日常生活が送れるよう、在宅における生活を支援し、患者及びその家族の負担の軽減することを目的とし、在宅療養生活にかかる費用の一部を助成した。

助成金の額は対象サービス利用にかかる実支出額に100分の90を乗じた額と次の金額（上限額）のいずれか少ない額とする。

居宅サービス：月額45,000円、福祉用具貸与：月額27,000円、福祉用具購入：1人あたり45,000円

(単位：人、件)

年度	令和3		4		5		6		7	
	実人数	申請件数	実人数	申請件数	実人数	申請件数	実人数	申請件数	実人数	申請件数
居宅サービス	1	2	2	1	1	3	1	3	2	0
福祉用具貸与		3		2		4		12		11
福祉用具購入		1		1		1		0		0

(2) 女性の健康支援対策事業

女性の健康支援対策事業費

367,937円

① ブレストセルフチェッカー配布（セルフチェックグローブ）

30歳代後半から乳がん罹患率が上昇してくることから、日頃から自分の身体に興味を持ち、変化がないかセルフチェックを習慣化するよう、30歳代女性にブレストセルフチェッカーを郵送にて配布し啓発に取り組んだ。初年度（R2）は30代女性全員に配布、R3年度以降は年度中に30歳に到達する者に配布。

（単位：人）

年度	令和3	4	5	6	7
配布者数	612	559	542	571	565

② 30歳代乳房エコー検査

R2年度から、30歳代の女性の希望者に2年に1度乳房エコー検査を実施。

（単位：人）

年度	令和3	4	5	6	7
実施者数	308	261	197	177	111
要精検者数	20	5	4	6	8
要精検率	6.5%	1.9%	2.0%	3.4%	7.2%

5 骨髄移植対策事業

(1) 骨髄ドナー支援事業

骨髄ドナー支援事業費

140,000円

[県補助金

70,000円]

「骨髄ドナー」、中止者及び「ドナーが就業する事業所」に対し、通院・入院費用の一部を助成。

① 骨髄ドナー

年度	令和4	5	6	7
実人数	1	0	1	1
延日数(助成対象日数)	7	0	7	7

②ドナーが従事する事業所 令和4、5、6、7年度は実績なし

VI 健康支援係

- 1 成人保健事業
- 2 こころの健康づくり事業
- 3 高齢者保健事業・介護予防一体的事業
- 4 特定保健指導
- 5 食育事業
- 6 国保ヘルスアップ事業

1 成人保健事業

健康教育費	4,039,883 円
県補助金	613,000 円
一般財源	3,426,883 円

(1) 健康教育(40歳～64歳)

生活習慣病の予防・健康増進等、健康に関する正しい知識の普及を図ることにより「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高め壮年期からの健康増進に資することを目的とする。

(単位：回、人)

区分	項目	内 容	回 数	延 人 数
集団健康教育	健 診 結 果 説 明 会	特定健康診査受診者等に対して結果の見方・栄養・生活について指導	5	12
	介 護 予 防 講 座	健康長寿・食生活の講座	3	192
	食 生 活 講 座	食生活を見直し、生活習慣の予防を図るための講座	4	125
	生活習慣病予防講座	がん・脳卒中・心臓病・糖尿病・脂質異常等の予防	23	857
	健 康 体 操	肥満予防・運動不足解消・健康増進のための体操等	66	1,632
	出 前 講 座	生活習慣病、健康チェック、日常生活の健康管理等	6	304
	その他一般健康教育	市民を対象に健康に関する講座	38	2,421
	合 計		145	5,543

出前講座

ア 実施方法：生涯学習課の藤枝市生涯学習出前講座実施要綱に基づき、保健講座依頼のあった団体に対し、職員が出向き講座を実施する。

イ 内 容：（ア）健康講座：生活習慣病予防（abの中から選択）

（a）生活習慣病予防について（b）健康長寿について

（イ）健口講座

（ウ）しっかり食べて健康生活

（エ）高血圧対策講座

（オ）あなたも誰かのゲートキーパー

※1 令和3年度のその他の内容は「熱中症予防」

※2 高血圧予防講座は令和4年度から開始

ウ 従事者：保健師・管理栄養士・歯科衛生士

年	令和3		4		5		6		7	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
健康講座	2	33	4	95	6	126	10	155	8	254
健口講座	2	33	7	230	2	42	3	166	3	43
高血圧対策講座			2	49	1	16	0	0	4	39
しっかり食べて 健康生活	4	93	7	214	11	317	2	29	5	272
精神保健講座 (ゲートキーパー・SNS)							9	132	2	46
その他	1	31								
合計	9	190	20	588	20	501	24	482	22	654

※40～64歳については集団健康教育に再掲。

65歳以上については高齢者保健事業・介護予防一体的事業に再掲。

※精神保健講座・ゲートキーパー・SNSは、こころの健康づくり事業に再掲。

(2)健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じて必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。

健康相談費 579,984円
県補助金 322,000円
一般財源 257,984円

① 健康相談

ア 成人健康相談（40歳以上）

（単位：回、人）

年度			令和3				4			5				6				7			
内容	従事者	回数	人数			回数	人数			回数	人数			回数	人数			回数	人数		
			総数	(再掲)	40歳以上		総数	(再掲)	40歳以上		総数	(再掲)	40歳以上		総数	(再掲)	40歳以上		総数	(再掲)	40歳以上
一般健康相談	保健師	119	119	105		193	193	187		125	125	125		106	106	104		98	98	96	
出張健康相談	保健師 管理栄養士	0	0	0		10	10	10													
禁煙相談	保健師	3	3	3		41	41	20		23	23	6		30	14	8		19	19	7	
歯科相談	歯科衛生士	1	1	1		4	4	4		6	6	3		8	8	6		5	5	5	
定例食生活 相談	木曜 管理栄養士	6	6	6		63	63	62		21	42	42		29	42	40		21	30	29	
	金曜	3	3	3		22	22	22		23	29	29		17	20	20		19	22	22	
電話相談等※3	保健師	9,518	9,518	9,518		9,021	9,021	8,119		2,948	2,948	2,654		963	963	867		904	904	814	
合計		9,650	9,650	9,636		9,354	9,354	8,424		3,146	3,173	2,859		1,137	1,169	1,045		1,066	1,078	973	

※1 各種健康相談は来所者のあった日のみ回数を掲載。

※2 健康診査結果相談は常設健康相談に含む。

※3 コロナ対応含む。

② 健康診査結果等個別相談

- ア 目的：健康診査の結果について個別での対応を行う事で、個々にあった相談を実施する。
 イ 対象者：健康診査結果説明会個別相談希望者、健康相談来所者、電話相談者
 ウ 従事者：保健師・管理栄養士・看護師

(単位：回、人)

年度	令和3		4		5		6		7	
内容	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
結果説明会	4	16	4	19	4	10	4	13	5	11
健康相談	70	70	112	112	95	95	65	65	69	69
電話相談	42	42	87	87	51	51	41	41	29	29
合計	116	128	203	218	150	156	110	119	103	109

③ 禁煙支援事業

- ア 目的：疾病の特性や個人の生活習慣等を具体的に把握しながら、継続的に個別支援を行うことにより、生活習慣行動の改善を支援し、生活習慣病の予防に資することを目的にする。
 イ 対象者：禁煙希望者
 ウ 従事者：保健師
 エ 内容：呼気一酸化炭素濃度測定、たばこの害や禁煙方法などの情報提供を実施する。
 オ 相談者数

(単位：人)

年度	人数	40歳以上	39歳以下	備考
令和3	32	16	16	※パパママ教室、電話、相談室等での実績の合計
4	41	20	21	※パパママ教室、電話、相談室等での実績の合計
5	23	7	16	※パパママ教室、電話、相談室等での実績の合計
6	30	8	22	※パパママ教室、電話、相談室等での実績の合計
7	19	7	12	※パパママ教室、電話、相談室等での実績の合計

④ 喫煙状況調査

ア 母子健康手帳交付時の喫煙状況調査集計

(単位：人、%)

年度			令和3		4		5		6		7	
母子手帳交付者数（転入含む）			864		788		740		723		671	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
妊婦	1 喫煙者		14	1.6	8	1.0	11	1.5	11	1.5	8	1.2
	内訳	屋内	9	64.3	4	50.0	7	63.6	5	62.5	4	50.0
		換気扇の下	2	14.3	0	0.0	2	18.2	3	37.5	4	50.0
		屋外	3	21.4	3	37.5	2	18.2	2	25.0	0	0.0
		その他	0	0.0	1	12.5	0	0.0	1	12.5	0	0.0
	2 非喫煙者		850	98.4	780	99.0	729	98.5	712	98.5	663	98.8
	3 無回答		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
夫	1 喫煙者		260	30.1	212	26.9	190	25.7	157	21.7	162	24.1
	内訳	屋内	30	11.5	28	13.2	33	17.4	23	14.2	20	12.3
		換気扇の下	66	25.4	57	26.9	47	24.7	57	35.2	62	38.3
		屋外	152	58.5	118	55.7	100	52.6	69	42.6	70	43.2
		その他	11	4.2	9	4.2	10	5.3	8	4.9	10	6.2
	2 非喫煙者		598	69.2	573	72.7	541	73.1	558	77.2	501	74.7
	3 無回答		6	0.7	3	0.4	9	1.2	8	1.1	8	1.2

イ 6か月児すこやか相談面接時の喫煙状況調査集計

(単位：人、%)

年度			令和3		4		5		6		7	
受診数			848		789		727		692		670	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
母	喫煙者		11	1.3	17	2.2	10	1.4	16	2.3	9	1.3
	内訳	屋内	4	36.4	2	11.8	1	10.0	0	0.0	2	22.2
		換気扇の下	2	18.2	8	47.1	1	10.0	8	50.0	5	55.6
		屋外	4	36.4	5	29.4	7	70.0	7	43.8	0	0.0
		その他	1	9.0	2	11.8	1	10.0	1	6.3	2	22.2
父	喫煙者		225	26.5	218	27.6	177	24.3	159	23.0	126	18.8
	内訳	屋内	20	8.9	21	9.6	12	6.8	11	6.9	14	11.1
		換気扇の下	36	16.0	46	21.1	35	19.8	40	25.2	31	24.6
		屋外	142	63.1	132	60.6	105	59.3	84	52.8	69	54.8
		その他	27	12.0	19	8.7	22	12.4	24	15.1	12	9.5

⑤ 管理栄養士による食生活相談

生活習慣病に関する食事など、食生活に関する相談に栄養士が対応する。

- ア 毎週木曜日（午後）金曜日（午前）に1日3人までの予約制で実施
- イ 常設健康相談等で実施
- ウ 電話相談で実施

（単位：人）

年度		令和3	4	5	6	7
定例	母子	393	423	93	95	81
	成人	88	85	71	62	52
健康相談等	母子	273	339	558	488	497
	成人	11	37	27	69	32
電話	母子	12	3	10	5	4
	成人	5	7	11	32	17

※健康相談等には、えだっこでの相談件数を含む。

⑥ 歯科衛生士による歯科相談

- ア 実施日3歳児健康診査日の午後3時から4時（予約制）
- イ 従事者：歯科衛生士
- ウ 内訳

（単位：人）

年度		令和3	4	5	6	7
回数		35	7	6	8	7
人数	成人	5	4	3	6	5
	乳幼児	3	3	3	2	2

※乳幼児相談は母子保健係ページに再掲。

(3) 訪問指導

訪問指導費	361,966円
県補助金	139,000円
一般財源	222,966円

① 重複頻回受診・重複多剤処方者訪問指導

ア 目的 被保険者の健康に対する意識を高めてもらい、適正受診・適正服薬を促し、被保険者の健康の保持増進及び医療費の適正化を図る。

イ 対象者 藤枝市国保加入者で、KDB（国保データベースシステム）により抽出された者
(単位：人)

人数	在宅面接		年齢内訳			多受診理由(重複あり)				不在
	本人	家族	40歳未満	40～64歳	65歳以上	精神不安 (服薬状況に 問題あり)	やむを 得ない 受診	症状改善 しない	詳細不明	
5	4	1	0	0	5	0	3	0	2	6

② 在宅療養者の訪問指導事業（40歳～64歳）

療養上の保健指導が必要である者及びその家族に対して、保健師等が訪問する。

(単位：人)

内訳	ハイリスク者 (家族等)	特定保健指導 (家族等)	精神 その他	合計
令和3	14	43	10	67
4	54	28	26	108
5	12	30	2	44
6	2	33	7	42
7	11	32	1	44

※令和4・6年度はその他に40～64歳の多受診・重複受診者を含む。

2 こころの健康づくり事業

こころの健康づくり事業費

631,584円

国庫補助金	398,000円
一般財源	233,584円

① 精神保健啓発講演会

ア 目 的： 近年、社会構造や生活環境の複雑化・多様化のためにストレスが増大し、市民一人ひとりの「こころの健康」への関心が大きくなっていることから、地域住民の精神保健に対する正しい知識の普及およびこころの病についての理解促進を目的として、藤枝市精神保健啓発講演会を実施しているものである。

イ 内 容

(単位:人)

年度	実 施 日	内 容	会 場	参加人数
3	令和3年7月13日	インターネットが与える心と体への影響	葉梨小学校	125 (6年)
	令和3年11月24日	メディアの正しい使い方について考えよう	大洲小学校	88 (6年)
	令和4年2月18日	大切ないのちを守るために あなたができること ～自分でできる心の健康～ 講師：静岡大学 教授 鈴江 毅 氏	葉梨中学校	346 (1～3年)
4	令和4年6月14日	大切ないのちを守るために あなたができること ～自分でできる心の健康～ 講師：静岡大学 教授 鈴江 毅 氏	藤枝学院高等専修学校	82 (1～3年)
	令和5年3月9日	大切ないのちを守るために あなたができること ～自分でできる心の健康～ 講師：静岡大学 教授 鈴江 毅 氏	大洲中学校	79 (3年)
	令和5年1月27日	生徒の自殺予防について ～生徒からのSOSをどう受け止めるか～ 講師：加古川市教育委員会 学校支援カウンセラー 阪中順子 氏	藤枝市 生涯学習センター	79 (小中学生保護者)
	令和4年7月12日	インターネットが与える心と体への影響	葉梨小学校	139 (6年)
	令和4年9月15日		稲葉小学校	50 (5・6年)
	令和5年1月26日		青島北小学校	107 (6年)
5	令和5年7月24日	生徒の自殺予防について ～生徒からのSOSをどう受け止めるか～ 講師：加古川市教育委員会 学校支援カウンセラー 阪中順子 氏	藤枝市 保健センター	27 小中学校 養護教諭
	令和6年3月7日	大切ないのちを守るために あなたができること ～自分でできる心の健康～ 講師：静岡大学 教授 鈴江 毅 氏	大洲中学校	61 (3年)
	令和5年6月16日	インターネットが与える 心と体への影響	藤枝小学校	85 (6年)
	令和5年7月11日		青島北小学校	82 (6年)
	令和5年10月18日		葉梨小学校	136 (6年)
	令和5年12月11日		西益津小学校 (出前講座)	13 (家庭教育学級)
	令和5年10月6日	睡眠で体と心のパワーを高めよう！	広幡中学校	97 (2年)
	令和5年10月19日	より良い生活リズムのために	瀬戸谷小学校 瀬戸谷中学校	23(5・6年) 39(1～3年)
	令和5年12月18日	心の力を育てよう！	広幡小学校	85 (6年)

年度	実 施 日	内 容	会 場	参加人数
6	令和6年6月17日	人とのコミュニケーションと 自分の可能性 講師：静岡福祉大学 教授 長坂和則氏	藤枝西高等学校	378人 (1～3年)
	令和6年11月19日	脳と依存症の関係について ～自分と友達を守るために～ 講師：静岡福祉大学 教授 長坂和則氏	西益津中学校	83人 (3年)
	令和6年7月11日	インターネットが与える 心と体への影響	西益津小学校	143人 (5.6年)
	令和6年7月23日		稲葉小学校	38人 (5.6年)
	令和6年11月15日	思春期の心の変化 上手に乗り越えていくために	広幡中学校	76人 (2年)
	令和6年12月6日	レジリエンス力を高めよう！	岡部中学校	260人 (1～3年)
	令和7年1月28日	心の力を育てよう！	岡部小学校	66人 (6年)
	令和7年2月14日		朝比奈第一 小学校	13人 (6年)
	令和6年8月9日	インターネットが与える 心と体への影響	こどもサポート 教室きらり (出前講座)	13人 (小学生親子)
	令和6年12月16日		高洲小学校 (出前講座)	11人 (家庭教育学級)
	令和7年1月14日		大洲小学校 (出前講座)	15人 (家庭教育学級)
7	令和7年6月13日	こころの力を育てよう！ (レジリエンス)	藤枝中央小学校	40人 (4年生保護者)
	令和7年6月16日	人とのコミュニケーション ～大切な仲間づくり～ 講師：静岡福祉大学 教授 長坂和則氏	藤枝西高等学校	462人 (1～3年)
	令和7年7月16日	脳と依存症の関係について ～自分と友だちを守るために～ 講師：静岡福祉大学 教授 長坂和則氏	大洲中学校	77人 (3年)
	令和7年10月16日	インターネットが与える心と体への影響	主任児童委員	23人
	令和7年12月2日	レジリエンス力を高めよう！ ～気持ちが楽になる考え方～	岡部中学校	252人 (1～3年)
	令和7年12月5日	薬学講座 ～こころとからだを守るヒント～ 講師：静岡大学 講師 北澤友美氏	青島北中学校	215人 (1.2年)
	令和7年12月10日	レジリエンス力を高めよう！ ～気持ちが楽になる考え方～	朝比奈第一 小学校	7人 (6年)
	令和8年1月14日	薬学講座 ～自分と友だちを守るためにできること～	瀬戸谷中学校	42人 (1～3年)
	令和8年1月28日	こころの力を育てよう！ (レジリエンス)	青島東小学校	124人 (6年)
	令和8年2月6日	思春期の心の変化 ～上手に乗り越えていくために～	青島北中学校	119人 (1年)
	令和8年2月17日	こころの力を育てよう！ (レジリエンスとアサーション)	岡部小学校	63人 (6年)

※平成30年度より、若年層対策として市内高校生徒を対象に「SOSの出し方教育・ゲートキーパー」について実施。

②「睡眠キャンペーン」による啓発活動

うつ病の早期発見と早期治療につなげることを目的として、うつ症状のなかで最も自覚しやすい「不眠」に着目した「睡眠キャンペーン」による啓発活動を実施している。

(単位：人)

年度	令和3	4	5	6	7
啓発実施者数	1,954	2,208	1,360	1,460	1,435

※上記の啓発実施者数は、出前講座等でリーフレット等により説明を加えながら啓発を行った人数

③ゲートキーパー養成事業

うつ・自殺予防を目的として、自殺予防についての正しい知識を持ち、様々な悩みや心の病を抱えている者への適切な対応と必要な支援に繋ぐ役割を担う「ゲートキーパー」を養成する研修会を実施している。

令和6年度より出前講座のメニューに追加し、市の保健師による講話を実施した。

(単位：人)

年度	実 施 日	内 容	対 象	参加人数
令和3	令和3年11月10日	“みんなで取り組もう。 命を支えるゲートキーパー” 講師 静岡大学教授 鈴江 毅 氏	藤枝市職員	45
4	令和4年11月4日	“みんなで取り組もう。 命を支えるゲートキーパー” 講師 静岡大学教授 鈴江 毅 氏	藤枝市職員	35
	令和5年2月22日		志太消防署職員	152
	令和5年2月24日			
5	令和5年11月14日	“みんなで取り組もう。 命を支えるゲートキーパー” 講師 静岡大学教授 鈴江 毅 氏	地域包括 支援センター職員	17
	令和5年11月22日		藤枝市役所	39
	令和6年3月1日		志太消防署職員	92
6	令和7年2月13日	“みんなで取り組もう。 いのち支えるゲートキーパー” 講師 静岡福祉大学教授 長坂和則氏	藤枝市職員	34
	令和7年3月10日	メンタルヘルス研修 折れない心をつくるコツ！ 講師 静岡大学講師 北澤 友美 氏	志太消防署職員	103
	令和6年9月3日	あなたも誰かのゲートキーパー	田中3かめさんの会	17
	令和6年10月25日		生きがい対応型デイサービス きすみれの里	13
	令和7年1月21日		市議会議員	21
	令和6年12月19日		藤枝財務事務所	11
	令和7年1月28日		終の棲家を考える会 「ついすみ大洲」	9
	令和7年3月18日		生きがいデイサービス センター大洲	13
	令和6年5月16日	メンタルヘルスについて	ダルトン工芸センター	54
	令和6年10月29日		ロジテムツムラ	35
	令和7年1月31日	心身ともに健康に過ごす秘訣 ～メンタルヘルス編～	科研製薬	147
7	令和7年9月14日	あなたも誰かのゲートキーパー	小石川町あずまクラブ	23
	令和7年9月24日	みんなで取り組もう いのち支えるゲートキーパー 講師 静岡大学講師 北澤 友美 氏	藤枝市職員	33
	令和7年10月17日	職場のメンタルヘルス ～人の悩みへの気づきと、つながりを考える～ 講師 静岡福祉大学教授 長坂和則氏	消防署職員	122

※平成28年度からは市役所職員を対象に、継続的に実施

3 高齢者保健事業・介護予防一体的事業

高齢者保健事業・介護予防一体的事業費

2,325,526円

(諸収入 5,319,296円)

令和元年健康寿命延伸プランの中で、医療保険と介護保険の事業の実施主体が制度及び年齢に応じて異なり、各事業の連携が取れていないことと、広域連合が実施していた後期高齢者の保健事業は、地域の実情に応じたきめ細やかな事業展開が課題であった。その課題を解決するため、制度改正が行われ令和6年度までに全市町で展開と示されたことから、地域包括ケア推進課、国保年金課と協議を重ね、令和3年度から実施となった。

① 目的

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施する。

② 内 容

- ア KDBシステムを活用し、医療・健診・介護の情報を合わせた地域の健康課題の分析及び介護予防対象者の抽出を行い、介護関係団体との連絡調整を行う。
- イ 高齢者の疾病重症化予防として、健診受診後の保健指導
- ウ 通いの場などへの介護予防講座
- エ フレイルチェック票を用いて健康状態の把握を行い、ハイリスク者を必要な支援につなげる。

③ 従事者：保健師・管理栄養士・歯科衛生士

④ 実施結果

ア 訪問保健指導

年度	令和3	4	5	6	7
人数	8	12	22	48	47

イ 介護予防講座

年度	令和3		4		5		6		7	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
健康講座	3	64	6	144	6	126	6	90	7	150
低栄養予防	4	93	7	214	11	317	2	29	1	16
健口講座	2	33	4	76	2	42	2	52	2	35
その他	0	0	0	0	1	12	0	0	5	58
合計	9	190	17	434	20	497	10	171	15	259

ウ 健康状態の把握

年度	令和3	4	5	6	7
人数	141	184	163	105	161

エ 個別相談の実施人数

年度	令和3	4	5	6	7
人数	35	87	30	11	17

4 特定保健指導

特定保健指導事業費 4,052,769円

ア 目的：糖尿病等の生活習慣病の予備群に対する保健指導の第一の目的は、生活習慣病に移行させないことである。そのための保健指導では、対象者自身が健診結果を理解して身体の変化に気づき、自らの生活習慣を振り返り、生活習慣を改善するための行動目標を設定し、対象者が自分の健康に関するセルフケア（自己管理）ができるようにする。

イ 対象者：藤枝市国保で特定健康診査を受診し、「特定保健指導対象者」となった人

ウ 従事者：保健師・管理栄養士

エ 特定保健指導実施状況（志太医師会分）（単位：人）

年度	積極的支援			動機付け支援		
	対象者	初回面接実施	実施率	対象者	初回面接実施	実施率
令和3	132	99	75.0%	538	445	82.7%
4	155	113	72.9%	578	503	87.0%
5	134	88	65.7%	528	429	81.3%
6	172	124	72.1%	538	445	82.7%
7	163	99	60.7%	493	378	76.7%

オ 初回面接実施方法（単位：人）

年度	対面 (訪問・来所)	電話	委託分	人間 ドック
令和3	410	134	－	15
4	399	217	－	1
5	337	178	2	3
6	310	253	6	1
7	324	149	4	9

・令和2年度より、人間ドック受診者の特定保健指導(訪問)を実施。

・令和5年度より、志太医師会受診者の特定保健指導(委託)を実施。

カ 特定保健指導対象者のグループ支援教室（単位：回、人）

年度	一般			食		運動		
	回数	実人数	延人数	回数	人数	回数	実人数	延人数
令和3	2	14		1	12	9	37	47
4	2	8		2	14	9	29	38
5	2	11		2	15	4	16	27
6	2	20	22	1	9	2	11	
7						2	20	

キ 特定保健指導実施状況（人間ドック実施機関での委託分）

年度	積極的支援	動機付け支援
	初回面接実施	初回面接実施
令和4	6	26
5	8	19
6	2	18
7	6	16

（単位：人）

・令和4年度より、人間ドック利用者(一部)に特定保健指導委託開始。

ク 特定保健指導実施率（法定報告）（単位：人、％）

年度	評価 対象者	対象者	対象者率	終了者	実施率	積極的支援			動機付け支援		
						対象者	終了者	実施率	対象者	終了者	実施率
令和3	7,892	735	9.3%	502	68.3	149	76	51.0%	586	426	72.7%
4	8,745	779	8.9%	547	70.2	158	68	43.0%	621	479	77.1%
5	8,459	724	8.6%	394	54.4	148	37	25.0%	576	357	62.0%
6	8,265	769	9.3%	427	55.5	178	44	24.7%	591	383	64.8%

5 食育事業

健康づくり食生活推進事業費 1,390,300円

(1) ふじえだヘルシー認定店登録制度

① 目的：藤枝市内の飲食店及び販売店において、健康に留意した取り組みを行う店舗を“ふじえだヘルシー認定店”として認定し、食環境の整備により、市民の食と健康に対する意識の向上を図る。

② 認定店舗数：29店舗（総認定数：41店舗）

(2) 藤枝市食育ネットワーク会議

① 目的：地域で食に係わる活動をしている各種団体間の相互の交流による情報の共有化と連携により食育事業を効果的に推進するために、食育に関する人材や関係団体のネットワーク会議を開催する。

② 開催日：令和7年7月3日、令和8年1月29日

③ 食育ネットワーク会議委員

教育関係者（小中学校栄養教諭・幼稚園認定こども園協会・保育協会・PTA連絡協議会）

農業団体、各種団体（藤枝歯科医師会・ふじえだアレルギーっ子の会・栄養士会）

藤枝市健康づくり食生活推進協議会・大井川農業協同組合）

市内企業（東海ガス株式会社・静鉄ストア）

行政機関（中部健康福祉センター・藤枝市教育政策課・学校給食課・商業振興課

農業振興課（お茶のまち推進室）・産業政策課・こども課

健康企画課・健康推進課）

(3) 藤枝市健康づくり食生活推進協議会

健康づくり食生活推進事業費補助金 140,000円

市が開催する食生活改善推進員育成セミナーの修了者及び、会の目的に賛同する推進員により構成。昭和57年に発足した地域ボランティアグループ。「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、地域における「食」を通じた健康づくりの推進を行っている。

住民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚と認識を広めるとともに、正しい食生活の普及浸透を図っていく活動をしている。

- 昭和57年 健康づくりモデル地区OBの事業継続を図るため藤枝市栄養改善推進委員が発足（50人）
静岡県食生活改善推進協議会に加入
- 59年 栄養改善推進員100名となり、保健委員制度発足にともない全員婦人保健委員として活動
- 61年 婦人保健委員としての2年の任期終了。研修で学んだことを地域で役立てたいと「食と地域福祉を考える会」を発足
- 62年 名称を「やすらぎの会」と改名
- 平成 3年 知事功労別表彰（保健衛生功労）を受賞
- 5年 食生活フェア開催
- 10年 長年にわたる地域社会の組織活動による栄養及び食生活改善に対し、厚生大臣表彰を受賞
- 13年 20周年記念事業を開催。「楽しく健康への食卓」記念献立集を作成
- 16年 やすらぎの会が、市制50周年記念特別表彰を受賞
- 21年 藤枝市と岡部町の合併に伴い、藤枝市食推協やすらぎの会と食推協健康を考える会が合併し、藤枝市健康づくり食生活推進協議会として活動開始
- 23年 30周年記念大会を開催。活動と地産地消を語る会レシピをまとめた冊子を作成
- 27年 タウン誌月刊むるぶに「食推さんの健康レシピ」の掲載を開始
- 28年 タウン誌月刊むるぶプラスに「食推さんの野菜嫌い克服！簡単レシピ」の掲載を開始
- 30年 藤枝市健康づくり食生活推進協議会が、市民団体活動表彰を受賞
- 令和 3年 藤枝市健康づくり食生活推進協議会が、静岡県知事表彰を受賞
- 4年 40周年記念大会を開催
- 5年 藤枝市健康づくり食生活推進協議会が、第53回「南・賀屋賞」を受賞

藤枝市健康づくり食生活推進協議会会員数

令和 地区	3	4	5	6	7
稲 葉					
葉 梨	5	5	6	8	9
西益津	10	10	9		
藤 枝	7				
青 島	24	21	20	21	23
高 洲	24	20	14	13	
合 計	70	56	49	42	32

① 食生活推進協議会事業実施結果

項目	内容	年度		令和3		4		5		6		7	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
会議	総会・県総会	1	47	2	39	3	41	3	41	2	37		
	理事会	12	61	12	61	14	54	13	44	7	28		
	定例会	12	158	12	131	12	132	12	117	4	28		
	支部定例会	45	503	38	465	47	480	36	383	23	247		
	保健所連絡等	17	22	24	25	17	17	9	9	2	8		
研修	県、保健所、その他主催の研修会	1	17	1	5	3	33	2	2	0	0		
	市での研修会（栄養教室 他）	6	65	5	57	5	45	4	35	4	40		
講義及び実習 （伝達講習）	栄養教室・その他の活動など	33	243	44	357	45	352	21	167	17	126		
	その他の活動（みそ作りなど）	6	44	6	39	5	25	5	22	5	30		
保健所、市町 村事業に協力	各地区ふれあいまつり	0	0	6	41	4	37	5	33	3	24		
	放課後児童クラブ食育教室	1	4	1	7	13	60	15	54	7	35		
	その他（歯の健康まつり、スポーツ&健康フェスティバル等）	0	0	2	17	3	17	4	24	3	26		
他団体事業に 協力、参加	保健委員・老人会等	1	3	1	4	3	8	4	18	1	6		
	地区活動	4	32	3	26	2	14	—	—	0	0		
交換会及び 見学研修	中部地域交流会	0	0	1	28	1	21	1	28	2	21		
	ヘルスメイト研修会	1	31	3	55	1	9	2	14	3	30		
その他	その他	7	67	11	117	20	114	12	70	7	70		

※人数は食生活推進員の動員数

6 国保ヘルスアップ事業

(1) 重症化予防事業

重症化予防事業費 5,972,197円

① ハイリスク訪問

特定健康診査・ヘルスアップ健診の結果、事後指導の特に必要なハイリスク者に対して、電話や訪問による生活改善指導を行い、生活習慣病予防に努めると共に受診勧奨、受診状況の確認を目的とする。

ア 従事者：保健師・管理栄養士・看護師

イ 実施状況

年度 フォロー方法	令和3		4		5		6		7	
	特定健診	ヘルスアップ	特定健診	ヘルスアップ	特定健診	ヘルスアップ	特定健診	ヘルスアップ	特定健診	ヘルスアップ
訪問	288	2	386	1	383	4	316	2	360	4
来所	33	0	16	0	20	0	14	0	26	0
電話指導	56	2	93	1	56	1	43	1	110	0

ウ 訪問対象者の病態別内訳（重複あり）

項目	対象者実人数	血圧	HbA1c	LDLコレステロール	中性脂肪	尿酸	尿蛋白	eGFR
判定基準		最高血圧180以上 最低血圧110以上	7.0以上 ※2	220以上	500以上	9.0以上	2+以上	45未満
対象者人数	553	145	119	29	26	25	12	235
内服中の割合※1	78.8%	31.7%		0.0%	11.5%		91.7%	77.4%
ヘルスアップ健診	7	1	0	2	0	3	0	1

※1 高血圧、糖尿病、脂質異常症の内服をしている人（質問票より）

※2 糖尿病未治療の人（質問票より）

② 緊急異常値連絡に基づく連絡

医師会健診センターに血液検査機関等から検査結果ファックスが届いた者や、結果処理の際、緊急と考えられた者に対して、至急本人へ受診勧奨を行う。

ア 従事者：保健師・管理栄養士・看護師

イ 実施状況

年度 項目	令和3	4	5	6	7
血糖	11	51	2	2	0
肝	0	0	0	2	3
血液一般	6	5	11	12	8
その他（血圧など）	5	4	11	17	3
合計	22	60	24	33	14

③ 重症化予防教室実施状況

ア 腎ハイリスク者支援教室

特定健診受診者で、高血圧や腎機能低下のリスクがある本人及び家族

イ 糖ハイリスク者支援教室

特定健診受診者で、血糖値が高く、糖尿病またはそのリスクがある本人及び家族

ウ 脂質ハイリスク者支援教室

特定健診受診者で、脂質異常症のリスクがある本人及び家族

年度	3		4		5			6			7		
教室名	腎	糖	腎	糖	腎	糖	脂質	腎	糖	脂質	腎	糖	脂質
回数	3	3	3	3	4	3	2	4	3	2	4	3	2
参加人数	20	7	48	35	90	37	28	62	19	20	51	25	24

④ ふじえだCKDネットワーク事業

ア 目的 : 市民の腎臓を守るため、市内の保健・医療関係機関により、CKD対策を充実させていくことを目的とする。

イ 経過 :

- ◇ 平成30年度 年度途中から「ふじえだCKD・DKDネット」と名称変更
 - 9月「CKDガイドライン2018」を参考に「チェック！CKDシール」の貼付基準変更
 - ・CKD緑色シール 65歳未満 $30 \leq \text{eGFR} < 50 \text{ml/分/1.73m}^2$
 - 65歳以上 $30 \leq \text{eGFR} < 45 \text{ml/分/1.73m}^2$
 - ・CKD紫色シール $\text{eGFR} < 30 \text{ml/分/1.73m}^2$ (たんぱく尿2+以上が継続する人も含む)
- ◇ 令和元年度 DKDシール作成、薬剤師会、藤枝市立総合病院に配布
 - ・DKD青色シール 75歳未満 $\text{HbA1c} \geq 7.0\%$
- ◇ 令和3年度
 - ・「かかりつけ医の先生にお願いしたいCKD診療」の部分の差し替え
 - ・「歯科医師会の役割及びCKD・DKDと歯科治療」の追加
- ◇ 令和4年度 年度途中から「ふじえだCKDネット」と名称変更
 - ・DKDシールは廃止し、糖尿病連携手帳を普及させていく
- ◇ 令和7年度 一般社団法人日本腎臓学会の「エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2023」の改定に伴い、ふじえだCKDネットマニュアルを改訂
ふじえだCKDネットネットマニュアル2025概要版を作成

ウ シール発行数

年度	令和3	4	5	6	7
CKD紫※1	59	81	94	80	65
CKD緑※2	165	170	234	164	175
DKD青※3	35	17	8		

※1・・・eGFR30未満（たんぱく尿2+以上が継続する人も含む）

※2・・・（65歳未満）eGFR50未満（65歳以上）45未満

※3・・・75歳未満： $\text{HbA1c} \geq 7.0\%$

エ ふじえだCKDネットワーク会議開催数

年度	令和3	4	5	6	7
開催数(回)	2	2	1	2	1

◇ふじえだCKDネットワーク会議委員

: 市立病院・志太医師会・藤枝薬剤師会

行政（地域包括ケア推進課・国保年金課・健康推進課）

(2) こども健康チャレンジ事業

こども健康チャレンジ事業費

180,509円

こどもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、バランスの取れた食事、十分な睡眠・休養など、規則正しい生活習慣が大切である。また、小学生の保護者にあたる年代は、特定健診の受診率が低い事が問題になっている。こどもたちがよい生活習慣を实践する姿から、家族の健康意識の向上をはかることを目的とする。

- ① 経過 平成24年度市民政策提案の4Kのうちの「健康分野」の「40代から50代の特定健診受診率を向上させる提案で最優秀を取った市民の提案「子ども達から大切な両親への健診受診勧奨」として平成24年度から開始した。

平成24年度：啓発用品の配布「メタボメジャーつきトイレットペーパー」
(小学5、6年生の児童2,721人に配布)
*配布時に健康教育を小学校2校の児童216人に実施

平成25年度：「こども健康チャレンジシート」の配布開始

平成28年度：歯科出前講座実施後に同時実施

- ② 内容
- ・チャレンジシートは以下2項目について達成を目指すものとする。
 - ① 生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき）についての自己目標
 - ② おうちの人への「健診うけてる？」の呼びかけ
 - ・チャレンジシートの提出は任意とし、提出者には参加賞を配布する。

③ 結果

年度	対象者	シート配布 人数	参加者				実施率 ※
			シート提出人数 (再掲：3.4年生の提出数)		保護者への 受診勧奨実施	保護者の 健診受診意 思	
			再掲) 3.4年生				
令和3	歯科保健出前 講座を受けた者 (主に3・4年生)	950	671 (70.6%)	556	507	458	41.3%
4	歯科保健出前 講座を受けた者 (主に3・4年生)	1,524	977 (64.1%)	935	753	659	71.8%
5	歯科保健出前 講座を受けた者 (主に3・4年生)	918	474 (51.6%)	443	387	367	35.8%
6	歯科保健出前 講座を受けた者 (主に3・4年生)	1,068	655 (61.3%)	628	548	529	52.8%
7	歯科保健出前 講座を受けた者 (主に3・4年生)	780	618 (79.2%)	556	551	517	47.9%

※実施率は3.4年生のシート提出数÷3.4年生人数の平均

(3) 歯や口の健康づくり事業

市民一人ひとりの生涯にわたる歯や口の健康づくりを実現するために、平成24年7月に「藤枝市民の歯や口の健康づくり条例」を施行、令和3年3月に策定された「第3期 元気ふじえだ健やかプラン」に基づき、歯科保健に関する施策を総合的に推進している。

①住民歯科会議 住民歯科会議委員報酬 75,000円

「藤枝市民の歯や口の健康づくり条例」第9条の規定に基づき組織され、歯科保健計画の推進に関し必要な事項を協議する。

ア 日時 令和7年9月4日(木) 令和8年1月22日(木)

イ 構成メンバー

医療・保健関係者	藤枝歯科医師会・志太地区歯科衛生士懇話会 志太地区栄養士研究会・静岡県中部健康福祉センター
福祉関係者	藤枝市介護支援専門研究会・藤枝市自立支援協議会
教育関係者及び保護者	藤枝市教育委員会(校長会)・藤枝市養護教諭研究会 藤枝市立幼稚園協会
市民組織の代表者	8020推進委員、藤枝市PTA連絡協議会 藤枝市保健委員連絡協議会
その他市長が認めた者	—

②歯科保健出前講座 歯や口の健康づくり事業費 250,530円

ア 目的 歯や口の健康は市民が健康で質の高い生活を営む上で重要な役割を果たす。市民一人ひとりの生涯にわたる歯や口の健康づくりを実現するための取り組みとして、希望のあった施設で歯科保健出前講座(ブラッシング指導)を実施した。

イ 対象 開催を希望する施設(小中学校、保・幼・こども園、障がい者施設)

ウ 従事者 歯科衛生士、補助スタッフ(保健師・看護師)

エ 実施時期 6月～1月

オ 内訳

年度		令和3	4	5	6	7
小学校・中学校	学校数(校)	13	18	18	17	14
	講座開催数(回)	44	49	49	55	41
	人数(人)	988	1,093	1,093	1,193	883
	(再掲)保護者	(5)	(71)	(71)	(11)	0
保育園・幼稚園 こども園	園数	15	30	30	32	27
	講座開催数(回)	19	31	31	48	41
	人数(人)	575	937	937	974	769
	(再掲)保護者	(49)	0	0	0	0
障がい者 福祉施設	施設数	0	1	1	1	1
	人数(人)	0	5	5	17	20

(4) 歯の健康まつり

歯の健康まつり事業費 1,214,366円

藤枝歯科医師会に委託し、歯科保健啓発事業として実施する。

① 日 時 : 令和7年6月7日(土) 午後12時30分～午後4時

② 会 場 : 藤枝市保健センター

③ 実施状況

・令和6年度より表彰式とイベントの通常開催を再開した。

令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため歯の健康まつり(イベント)は中止し、8020運動推進事業「8020コンクール」と図画ポスターコンクールのみ実施。

・令和5年度はコンクールに加えて、表彰式を実施した。

(単位:人)

年度		3	4	5	6	7
来所者					529	780
内 容	8020コンクール表彰者	138	140	168	167	128

④ 実施内容

歯の検診とお口に関する相談、ブラッシング指導、フッ化物塗布、石こう手形、歯科衛生士による寸劇、歯科のお仕事体験、オーラルフレイル等のお口の健康に関する啓発(吹き返し等)

8020コンクール(表彰式含む)、図画ポスターコンクール(表彰式及び優秀作品の展示含む)

(5) 特定健診継続受診対策事業

健診受診者結果説明会

特定健診継続受診対策事業費 278,561円

ア 目 的 : (ア) 健診継続受診の必要性を理解し、住民自らが日常生活を見直すことができる場とする。
(イ) 要受診者に対して医療機関への受診を勧める。

イ 対象者 : 藤枝市国保と後期で特定健康診査を初受診した方(特定保健指導・ハイリスク対象者を除く)

ウ 従事者 : 保健師・管理栄養士・看護師・体操インストラクター

エ 実施方法 : 特定健康診査初受診等の対象者へハガキで通知し、当日来所された方に各検査項目の説明や生活習慣病予防・栄養に関する講話を実施する。

オ 実施期間 : 令和7年7月から令和8年3月

(単位:回、人)

年度	令和3	4	5	6	7
回数	4	4	4	4	5
人数	39	33	33	52	46

※40歳未満の若者ヘルスアップ健診受診者の人数も含む。

VII 健康企画担当

- 1 健康経営プロジェクト推進事業
- 2 歩いて健康づくり推進事業
- 3 食べて健康づくり推進事業
- 4 こころを澄ませて健康づくり推進事業
- 5 地域活性化起業人活動事業
- 6 元気ふじえだ健やかプラン策定事業
- 7 健康づくり推進協議会
- 8 志太榛原地域救急医療センター運営事業
- 9 救急医療協力促進事業
- 10 休日歯科診療運営委託事業
- 11 休日薬局開設事業
- 12 地域自殺対策推進事業
- 13 安心な初期医療を守る事業
- 14 病院支援事業

※ 病院支援局 病院連携室分を含む

1 健康経営プロジェクト推進事業

13, 131, 730円

一般財源 13, 131, 730円

1) 健康・予防 日本一発信事業

厚生労働省主催「第1回健康寿命をのばそう！アワード」自治体部門健康局長優良賞受賞を機に、受賞団体で構成する協議会等への参加や全国各地からの視察受け入れなどにより、市内外に本市の特色ある健康施策を発信してきた。

令和7年度は、1市議会からの視察受け入れを実施した。

① 健康寿命延伸都市協議会研大会等への参加

厚生労働省主催の「健康寿命をのばそう！アワード」受賞自治体で構成する健康寿命延伸都市協議会大会・会議に参加し、先進事例の研究や情報交換を行った。

日にち	令和7年10月2日（木）
会場	WEB開催
内容	① 総会 ② 協議会大会 ・講演会「健康日本21（第三次）の推進について」 講師：平田 有美恵（厚生労働省 健康・生活衛生局健康課 女性の健康推進室長） ・特別講演会「女性の健康支援について」 講師：義方 裕美（よしかた産婦人科 院長） ・各自治体の取組紹介 ほか

② 健康都市連合日本支部研修会・総会への参加

健康都市連合日本支部主催の健康都市連合日本支部大会に参加して、先進事例の研究や情報交換を行った。

日にち	令和7年7月10日（木）・11日（金）
会場	愛知県大府市
内容	① 総会 ② 大会 ・基調講演会① 「健康長寿社会の構築に向けた戦略」 講師：荒井 秀典氏（国立研究開発法人 国立循環器病研究センター） ・各自治体の事業報告 ほか

2) 企業向け健康経営の実践

健康無関心層といわれる働き盛り世代へのアプローチを進めるため、静岡県、藤枝商工会議所、岡部町商工会と連携し、健康づくりを通して企業の生産性や価値向上などを目指す経営手法の「健康経営」の実践を支援した。

・企業向け健康経営の実践 市内企業5社 60人

事業所名	内容	参加人数
(株)藤枝農産加工所	事業所の社員を対象に4か月間の実践プログラムを提供し、健康づくりを支援	18人
(株)松田商店	過年度に健康経営に取り組んだ事業所の社員を対象に、フォローアップを実施	16人
(株)ロジテムツムラ		9人
明治安田生命保険相互会社		10人
(株)育暮家ハイホームス		7人

3) 健康経営ガイドブックの作成

「健康経営」の社会的な背景やメリット、行政の支援メニューなどを具体的にまとめ、事業所が主体的に「健康経営」を始めるためのツールとして「健康経営ガイドブック」を作成し、広く発信することで企業の導入を促した。

4) 企業向け健康経営支援事業

健康無関心層と言われる働き盛り世代へのアプローチを進めるため、市内企業が主体的に取り組む健康づくり事業に対して補助金を交付することで、企業の健康経営を支援した。

- ・健康経営事業費補助金の交付

事業所数	内容
4 事業所	・健康経営優良法人認定申請に要する経費

5) “私の健幸” 測定事業・“健幸プロ” 派遣事業

健康づくりに主体的に取り組む事業所に対して、運動指導士や保健師などを派遣して、従業員の健康づくりに関する講座を実施した。

- ・“私の健幸” 測定事業（R 8 実績なし）
- ・“健幸プロ” 派遣事業

事業所数	内容	参加人数
3 事業所	・熱中症対策講座 ・体組成計を活用した生活習慣病に関する講座 ・腰痛予防講座	83人

6) お塩チェックで“効果適塩”事業

市民の高血圧傾向の対策を進めるとともに、働き盛り世代を中心に減塩への意識づけを図るため、事業所健診等に合わせて推定食塩摂取量を測定する検査を実施した。

委託先	受診者数
一般社団法人志太医師会	11,313人

7) オンライン健康医療相談アプリ

心身の健康に関する個別の相談が24時間365日できるアプリを提供した。

年度	令和3	4	5	6	7
相談件数	415	1,695	1,162	1,576	1,459
登録者数累計	527	2,530	2,684	2,860	3,039

7) ふじえだ健康マイレージ事業

市民への健康的な生活習慣の動機付けと健康行動の定着を促すため、毎日の健康行動（運動・食事などの5項目）の2週間以上の実践とボーナス項目（健（検）診受診など）で一定のポイントを貯めた市内在住、在勤者に対し、協力店で様々なサービスを受けられる1年間有効のカードを発行した。

平成24年 10月1日 ふじえだ健康マイレージチャレンジシート（紙版）スタート
 平成25年 2月1日 Web版システムスタート（携帯電話 スマートフォン PC）
 平成28年 10月22日 楽しく歩いて健康アプリ～あるくら～との連動

① 概要

- ・ 期間 2週間チャレンジ
 ※平成27年5月1日から利用拡大のため4週間から2週間へ期間短縮
- ・ 対象 藤枝市在住・在勤・在学の18歳以上の人（4月1日現在）
 ※平成27年11月1日 本市の重点施策である4K（健康・教育・環境・交通安全）所管課の連携施策として、各々の分野で目標を設定し、2週間以上実践する「ふじえだマイレージ」に展開を拡大

② 特長

- ・ 通年事業（いつでもスタート可能）
- ・ 参加方法は、紙版とWeb版が選択できる
- ・ 目的を「健康的な生活習慣」の定着・継続に焦点化（保健計画・食育推進計画・歯科保健計画を反映）
- ・ ポイント加算のボーナス項目に「健（検）診受診」「社会参加」「禁煙」等を設定
- ・ 自主申告制を導入し「自分の健康は自分で守る」意識の醸成
- ・ 静岡県との協働事業（令和4年度：県内22市12町）
- ・ ポイント還元は公費でなく、事業所や店舗の協力を得てサービスを抛出
- ・ 市民、地域事業所、行政の3者がWin-Winの関係づくり
- ・ 「ふじえだマイレージマイスター（4Kマイレージ達成者）」には、抽選で賞品を進呈

③ 実績（平成24年度からの累計）

年度	ふじのくに健康いきいきカード所持数	内 訳		協力店	Web版登録者
		チャレンジシート	Web版		
令和3年度	3,717人	2,054人	1,663人	1,104店	2,320人
4	4,189人	2,219人	1,970人	1,074店	2,713人
5	4,900人	2,629人	2,271人	1,065店	2,857人
6	5,505人	2,974人	2,531人	1,034店	3,011人
7	5,844人	3,161人	2,683人	1,035店	3,072人

2 歩いて健康づくり推進事業

2,322,773円

諸収入 52,800円

一般財源 2,269,973円

1) 健康スポット20選事業

“楽・癒・美・食・鍛・幸”をキーワードとした地域の宝により、健康・予防の意識の向上と賑わいづくりを創出するため、行政施設での配架等により市民への周知を図った。

① 健康スポット活用事業

○ 元気ふじえだ健康ウォーキングの開催

年度	開催日	参加人数	タイトル
令和3年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
4	令和4年5月1日～ 令和4年5月31日	1,045人	あるくらアプリを活用して“歩く”運動機会を創出するイベント「元気ふじえだ健康ウォーキングオンライン」を開催した。
5	令和5年5月21日	347人	大河ドラマ「どうする家康」にちなんで、市内の家康ゆかりの地や健康スポット20選を巡る、「元気ふじえだ健康ウォーキング」を開催した。
6	令和6年5月18日	253人	藤枝市制施行70周年・サッカーのまち100周年を記念し、旧東海道商店街や健康スポット20選を巡る、「元気ふじえだ健康ウォーキング」を開催した。
7	雨天により中止	代替として、企業と連携をしてオンラインウォーキングイベントを開催した。 ・イベント期間 12月16日～2月8日 ・アプリ登録者200人	

2) 歩いて健康「日本全国バーチャルの旅」

日常的に楽しみながら「歩く」ことを支援するため、バーチャル東海道を初めとする日本全国の旅をバーチャルで楽しめる「バーチャルマップ」を作成し提供した。
また、参加者の継続意欲を高めるため、完歩総距離1万キロ達成者への表彰を実施した。

① 提供コース

40コース（R8.3月末現在）

- ・奥の細道①～⑤、四国お遍路①～③、九州周遊①～③、北海道周遊①～⑥、熊野古道
- 世界遺産、富士山、箱根駅伝、北陸魅力再発見 ほか

② 各コース達成者

年度	達成者数
令和3年度	593人（※延べ5,004人）
4	560人（※延べ5,564人）
5	570人（※延べ6,134人）
6	563人（※延べ6,697人）
7	461人（※延べ7,158人）

③ 完歩総距離1万キロ達成者

年度	達成者数
令和3年度	5人（※延べ71人）
4	5人（※延べ76人）
5	11人（※延べ87人）
6	8人（※延べ95人）
7	3人（※延べ98人）

3) 楽しく歩いて健康アプリ～あるくら～

主に健康無関心層といわれる働き盛り世代や子育て世代といった青・壮年層の健康行動の喚起・誘導を図るため、その世代が“扱い慣れ”“気軽に”そして“楽しむ”ことのできるアプリケーションの普及を促進した。

① アプリの仕様

- ・歩数の自動計測
- ・バーチャルマップ機能
- ・ランキング機能及びグループ表示機能
- ・ポイント獲得、抽選応募申請機能
- ・SNSへの共有機能
- ・健康マイレージWeb版への連結機能

② ダウンロード件数（R8.3月末）

10,819件（累計）

3 食べて健康づくり推進事業

361,970円

一般財源 361,970円

1) 野菜を食べて健康フェア

日々の食事で不足しがちな野菜摂取を促すことで、健康的な食生活を送る支援を行うため、包括連携企業のカゴメ(株)と協働し、市内スーパーマーケットで野菜の購入を促進する「野菜を食べて健康フェア」を開催した。

① 実施期間 令和8年1月31日～2月24日

② 実施店舗 市内しずてつストア全店（5店舗）

③ 内容 期間中に実施店舗で、野菜とカゴメ商品をそれぞれ一定数以上購入した方を対象に、抽選で賞品が当たるイベントを開催した。

④ 応募件数 241件

4 こころを澄ませて健康づくり推進事業

168,273円

諸収入	22,500円
一般財源	145,773円

1) 元気ふじえだ朝活ヨガフェスタ

18歳以上の藤枝市内在住、在勤、在学者を対象に、「休養」についての意識を高め、心もからだも健やかに暮らすため、「元気ふじえだ朝活ヨガフェスタ」を開催した。

第1回	会場：藤枝ゴルフクラブ	令和7年9月27日	38人参加
第2回	会場：藤の瀬会館芝生広場	令和7年10月11日	37人参加

5 地域活性化起業人活動事業

6,433,159円

諸収入	56,050円
一般財源	6,288,709円

総務省の「地域活性化起業人制度」を活用し、(株)ABC Cooking Studioと協定を締結することにより「食」を通じた市民の健康づくりを推進した。

① インスタグラムの運用

食育情報や健康に特化したレシピ、地元野菜等を使った簡単レシピなどを紹介

② 料理教室等の開催

働き盛り世代などを対象とした料理教室やこども食堂での食育に関する出前講座の開催

③ 他部署と連携をしたレシピ開発

・男女共同参画・多文化共生課：「親子料理教室」

・経営企画課（市立総合病院）：「市民健康セミナー」高たんぱくレシピ作り など

6 元気ふじえだ健やかプラン策定事業

3,498,000円

一般財源 3,498,000円

現計画の期間終了を受け、ライフコースアプローチを踏まえた健康支援等で、誰ひとり取り残さない健康づくりを目指す「第4期元気ふじえだ健やかプラン(計画期間:2026(令和8)年度～2036(令和18)年度)」を策定した。

7 健康づくり推進協議会

155,000円

一般財源 155,000円

1) 目的:

市民の健康づくり事業の円滑かつ効率的な推進を図るうえで、保健計画等の進行管理と保健施策全般に関する審議を目的として「藤枝市健康づくり推進協議会(会長:藤枝市長)」を設置している。この協議会は、委員12人(任期2年)により構成されている。

令和7年度は4回開催し、第3期元気ふじえだ健やかプランの進行状況と次期計画の策定に関する審議を行った。

2) 開催日:

開催回	開催日	主な協議事項
第1回	令和7年6月27日	・第3期元気ふじえだ健やかプランの進行管理について ・令和7年度健やか推進局の主要施策の取組について ・第4期元気ふじえだ健やかプランの策定について
第2回	令和7年8月18日	・第4期元気ふじえだ健やかプランの素案について
第3回	令和7年10月22日	
第4回	令和8年3月16日	・主要施策の令和7年度取組経過と令和8年度取組予定について ・第4期元気ふじえだ健やかプランパブリックコメント実施結果等について

3) 構成メンバー(令和7年度)

(令和8年3月末現在)

	所属団体等	氏 名
会 長	藤枝市	北村 正平
地域医療関係団体の代表	一般社団法人志太医師会	森 泰雄
	一般社団法人藤枝歯科医師会	竹中 寛
	一般社団法人藤枝薬剤師会	松永 敏広
自治会連合会の代表	藤枝市自治会連合会	大塚 克明
市民団体等の代表	藤枝市保健委員連絡協議会	大高 茂紀
	藤枝市健康づくり食生活推進協議会	青島 侑枝
	藤枝市民生委員・児童委員協議会	関口 やち代
	藤枝市社会教育委員会	大池 俊彦
	藤枝市スポーツ推進委員会	竹田 利恵子
学識経験者	静岡県中部保健所	永井 しづか
	志太地区栄養士研究会	青島 千恵

計12人 (男性 7人 女性 5人)

8 志太榛原地域救急医療センター運営事業

志太榛原地域の夜間救急患者へ医療サービスを提供するため、救急医療センターの運営を公益社団法人志太・榛原地域救急医療対策協会へ委託した。

平成18年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っている。

なお、週末の深夜帯（午後10時から翌朝7時まで）の診療については、これまで金～日（3日間）に実施してきたが、医療体制を確保することが困難となったため、令和2年度から土・日（2日間）の実施に変更し、浜松医科大学医学部附属病院、県立こども病院等の協力により深夜帯の診療を実施している。

1 所在地	藤枝市瀬戸新屋362-1
2 名称	志太・榛原地域救急医療センター
3 開設者	藤枝市長
4 指定管理者	公益社団法人 志太・榛原地域救急医療対策協会 (R6～R8)
5 診療科目	内科・小児科
6 診療時間	月～金 午後7時30分～午後10時 土・日 午後7時30分～翌朝7時
7 勤務体制	医師 1人 看護師 2～3人 事務員 1～2人

○令和7年度運営費 78,268,394円

運営市町負担金等 23,275,500円

一般財源 54,992,894円

(1) 科目別患者数

単位：人

科目 \ 年度	3	4	5	6	7
内 科	484	514	1,729	1,698	1,361
小 児 科	756	1,088	1,910	1,553	1,526
外 科	9	5	10	8	17
耳 鼻 科	24	22	46	62	33
皮フ・泌尿器	121	121	123	123	108
そ の 他	3	6	11	13	14
計	1,397	1,756	3,829	3,457	3,059

(2) 時間帯別患者数

単位：人

時間帯 \ 年度	3	4	5	6	7
19:30 ～ 20:00	480	615	1,620	1,600	1,332
20:00 ～ 21:00	444	494	1,075	912	818
21:00 ～ 22:00	278	342	647	519	563
22:00 ～ 23:00	62	104	176	166	102
23:00 ～ 24:00	33	44	59	42	56
0:00 ～ 1:00	27	38	69	60	49
1:00 ～ 2:00	26	31	43	33	22
2:00 ～ 3:00	9	17	28	35	22
3:00 ～ 4:00	12	21	26	30	24
4:00 ～ 5:00	9	18	23	15	20
5:00 ～ 6:00	11	8	27	19	19
6:00 ～ 7:00	6	24	36	26	32
計	1,397	1,756	3,829	3,457	3,059

(3) 年齢別患者数

単位：人

年齢 \ 年度	3	4	5	6	7
2歳未満	221	308	371	349	248
2歳以上 ～ 6歳未満	357	464	619	525	527
6歳以上 ～ 15歳未満	246	380	1,006	786	822
15歳以上 ～ 30歳未満	194	180	727	608	602
30歳以上 ～ 45歳未満	131	158	445	401	320
45歳以上 ～ 60歳未満	105	119	362	390	278
60歳以上 ～ 75歳未満	83	74	185	237	163
75歳以上	60	73	114	161	99
計	1,397	1,756	3,829	3,457	3,059

9 救急医療協力促進事業

15,100,800円

諸収入 1,947,000円

一般財源 13,153,800円

休日における初期救急体制の確保のため、藤枝市ならびに焼津市の一部（旧大井川町）の休日当番医制度を志太医師会に委託して実施している。

（１） 実施日数・医療機関数

項目 \ 年度	3	4	5	6	7
実施日数	71	71	72	72	72
延べ医療機関数	345	348	329	332	335

（２） 科目別患者数

単位：人

科目 \ 年度	3	4	5	6	7
内 科（含む小児科）	4,356	5,896	9,524	8,988	8,120
外 科	1,658	1,730	1,816	1,774	1,752
眼 科	217	214	225	279	315
耳 鼻 科	1,476	1,921	2,859	2,703	2,488
そ の 他	230	234	267	380	242
計	7,937	9,995	14,691	14,124	12,917

10 休日歯科診療運営委託事業

2,711,280円

一般財源 2,711,280円

歯科の休日当番医を一般社団法人藤枝歯科医師会に委託して実施した。

(1) 実施日数・医療機関数・患者数

項目	種別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施日数	年末年始	6	6	6	6	6
	休日	66	66	67	66	67
	計	72	72	73	72	73
延べ医療機関数	年末年始	12	12	12	12	12
	休日	66	66	67	66	67
	計	78	78	79	78	79
患者数	年末年始	127	136	129	134	140
	休日	360	298	383	359	366
	計	487	434	512	493	506

11 休日薬局開設事業

2,016,000円

一般財源 2,016,000円

薬局の休日開設や市民の健康増進のための普及啓発等に関する経費の一部を、藤枝薬剤師会に交付した。

12 地域自殺対策推進事業

	266,220円
国交付金	132,000円
一般財源	134,220円

本市における自殺対策として、保健、医療、福祉だけでなく、関連するその他の施策と連携し「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指し、生きることの包括的支援を推進する「藤枝市自殺対策計画」の進捗状況等について審議する「藤枝市自殺対策推進協議会」を開催した。また、自殺対策を広く周知するため、市民を対象に「こころの健幸講演会」を開催した。

(1) 藤枝市自殺対策推進協議会

- ①目的： 自殺対策基本法（平成18年法律第85号）の基本理念に則り、生きることの包括的な支援を推進するため設置された自殺対策計画の進行管理と自殺対策の推進に関する協議を行うとともに、関係機関の連携強化及び情報交換を行う。

②開催日： 令和7年10月15日

③構成メンバー

医療・保健機関	静岡県中部健康福祉センター	教育機関	藤枝市校長会
	一般社団法人志太医師会	商工労働機関	藤枝商工会議所
	一般社団法人藤枝薬剤師会	警察・消防	藤枝警察署
福祉機関	藤枝市社会福祉協議会		志太消防本部
	藤枝市地域包括支援センター		
	藤枝市民生委員・児童委員協議会		

(2) こころの健幸講演会

開催日	受講者	内容
令和8年2月22日	60人	あなたのメンタルヘルスケア ～話すことは、身体から離すこと～ 講師：和賀 未青氏

13 安心な初期医療を守る事業

	144,045円
一般財源	144,045円

市民が安心して医療を受けられる環境を維持するために、9月9日「救急の日」に合わせて、志太消防本部、藤枝市立総合病院、志太・榛原地域救急医療対策協会と協働し街頭啓発を行った。

14 病院支援事業

	202,400円
一般財源	202,400円

市立総合病院が市内の医療や介護の関係機関と連携して推進しているポリファーマシー（多くの薬を服用することに伴う問題）対策等の普及啓発を行った。

VIII 感染症対策担当

1 感 染 症 予 防 事 業

2 予 防 接 種 事 業

＜参考＞ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業
(令和3～5年度実施 特例臨時接種)

1 感染症予防事業（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）

危機管理対策事業

1,992,650円

平成21年のH1N1新型インフルエンザの発生及びパンデミックを契機に、強毒型のH5N1新型の発生に備え策定した「藤枝市新型インフルエンザ対策行動計画H5N1医療対策編」に基づき、医療従事者及び担当職員等が使用する防疫装備品等を備蓄するため分割購入し、平成23年度で必要数が配備された。

平成26年度に「新型インフルエンザ等対策行動計画」を改訂したが備蓄必要数に変更はない。

また、同年より耐用年数が経過した防疫装備品を1/5ずつ、消毒用エタノールにあっては1/3ずつ更新を行っている。

○令和7年度取得額（通常分）	1,765,500円	〔防疫装備品 消毒用エタノール〕	1,738,000円
うち県補助金	589,000円		27,500円
一般財源	1,176,500円		
○廃棄手数料	227,150円		

2 予防接種事業

☆令和7年度 定期予防接種基準（指定医療機関にて個別接種）

予防接種名	対象者	接種方法	自己負担金
B型肝炎	1歳に至るまで	初回：27日以上の間隔において2回 追加：第1回目の注射から139日以上の間隔において1回接種	無料
ロタ	1価（ロタリックス）：出生6週0日後から24週0日後まで 5価（ロタテック）：出生6週0日後から32週0日後まで	1価（ロタリックス）：27日以上の間隔において2回接種 5価（ロタテック）：27日以上の間隔において3回接種	無料
ヒブ	生後2か月から5歳に至るまで	初回：27日～56日までの間隔において3回接種 追加：初回終了後、7か月～13か月の間に1回接種	無料
小児肺炎球菌	生後2か月から5歳に至るまで	初回：27日以上の間隔において3回接種 追加：生後12月以上で、初回終了後、60日以上の間隔において1回接種	無料
五種混合・四種混合 三種混合・二種混合 不活化ポリオ	1期：生後2か月から7歳6か月に至るまで （※二種混合を第1期に接種する場合は、生後3月から） 2期：11歳以上13歳未満（二種混合）	1期初回：20日～56日の間隔で3回接種 1期追加：1期初回接種終了後1年～1年半の間に1回接種 2期：1回接種	無料
B C G	1歳に至るまで	1回接種	無料
麻しん風しん混合 麻しん・風しん	1期：1歳から2歳に至るまで 2期：年長児	1期：1回接種 2期：1回接種	無料
水痘	1歳から3歳に至るまで	初回接種終了後6か月～1年の間に2回目を接種	無料
日本脳炎	1期：生後6か月から7歳6か月に至るまで 2期：9歳以上13歳未満 経過措置：平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの20歳未満	1期初回：6日～28日までの間隔で2回接種 1期追加：1期初回接種終了後概ね1年後に1回接種 2期：1回接種 経過措置：不足回数を接種	無料
HPVワクチン （子宮頸がん予防）	・小学校6年生から高校1年生相当の女子 ※平成25年6月14日から積極的勧奨の差し控え ・キャッチアップ接種対象者 （平成9年4月2日～平成21年4月1日生まれ）の女子	（サーバリックス）3回接種：1回目の接種から1月の間隔において2回目を接種 1回目の接種から6月の間隔において3回目を接種 （ガーダシル）3回接種：1回目の接種から2月の間隔において2回目を接種 1回目の接種から6月の間隔において3回目を接種 （シルガード） ●2回接種（1回目を15歳未満で接種した場合）：1回目の接種から6月の間隔において2回目を接種 ●3回接種（1回目を15歳以上で接種した場合）：1回目の接種から6月の間隔において3回目を接種	無料
高齢者の インフルエンザ	・65歳以上 ・60～65歳未満の者で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人	1回／年（10月～2月の5か月間）	1,600円
高齢者の 肺炎球菌	・65歳 ・60～65歳未満の者で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人	1回接種	4,200円
高齢者の 新型コロナウイルス	・65歳以上 ・60～65歳未満の者で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人	1回／年（10月～2月の5か月間）	12,100円
带状疱疹	・65歳 ・60～65歳未満の者でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する人	（生ワクチン）：1回接種 （生ワクチン）：2か月以上の間隔において2回接種 （生ワクチン） 4,750円 （組換えワクチン） 17,950円/回	（生ワクチン） 4,750円 （組換えワクチン） 17,950円/回

(1) 定期予防接種

381,508,826円

国負担金	268,780円
国補助金	389,000円
県補助金	22,500円
一般財源	380,828,546円

※①～⑧対象者数：（令和2～3年度）該当年度の10月1日現在の0歳児、1歳児の数。

（令和4年度～）0歳児は標準接種月齢における月別出生数（母子保健係調べ）、1歳児は前年度3月31日の0歳児の数

① B型肝炎

（単位：人、％）

内訳	年度	令和3			4			5			6			7		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1期	1回目	854	853	99.9	734	714	97.3	715	708	99.0	707	681	96.3	631	630	99.8
	2回目	854	865	101.3	741	727	98.1	731	723	98.9	697	675	96.8	641	631	98.4
	3回目	854	812	95.1	794	756	95.2	740	699	94.5	674	675	100.1	667	662	99.3
計		2,562	2,530	98.8	2,269	2,197	96.8	2,186	2,130	97.4	2,078	2,031	97.7	1,939	1,923	99.2

② ロタ ※令和2年10月1日より開始

内訳	年度	令和3			4			5			6			7		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1回目	1価	854	567	98.9	734	505	96.5	715	511	97.5	707	518	95.8	631	480	98.6
	5価		278			203			186			159			142	
2回目	1価	854	582	99.8	741	507	97.0	731	521	96.6	697	507	95.4	641	480	97.0
	5価		270			212			185			158			142	
3回目	5価		284			219			182			153			141	
計		1708	1697	99.4	1,475	1,427	96.7	1,446	1,403	97.0	1,404	1,495	106.5	1,272	1,385	97.8

③ ヒブ

内訳	年度	令和3			4			5			6			7		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1回目		854	857	100.4	734	716	97.5	715	706	98.7		5			0	
2回目		854	861	100.8	741	730	98.5	731	719	98.4		57			0	
3回目		854	884	103.5	754	750	99.5	731	712	97.4		121			0	
4回目		912	869	95.3	819	807	98.5	743	755	101.6		574			26	
計		3,474	3,471	99.9	3,048	3,003	98.5	2,920	2,892	99.0		757			26	

④ 小児肺炎球菌

（単位：人、％）

内訳	年度	令和3			4			5			6			7		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1回目		854	857	100.4	734	717	97.7	715	706	98.7	707	687	97.2	631	631	100.0
2回目		854	861	100.8	741	732	98.8	731	719	98.4	697	679	97.4	641	636	99.2
3回目		854	885	103.6	754	754	100.0	731	711	97.3	677	660	97.5	648	641	98.9
4回目		912	856	93.9	819	807	98.5	743	758	102.0	676	680	100.6	698	693	99.3
計		3,474	3,459	99.6	3,048	3,010	98.8	2,920	2,894	99.1	2,757	2,706	98.2	2,618	2,601	99.4

⑤ 四種混合

（単位：人、％）

内訳	年度	令和3			4			5			6			7		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1期	1回目	854	869	101.8	741	729	98.4	715	779	109.0		7			1	
	2回目	854	887	103.9	754	748	99.2	731	768	105.1		60			1	
	3回目	854	870	101.9	764	773	101.2	731	772	105.6		133			2	
	追加	912	862	94.5	819	816	99.6	743	744	100.1		777			231	
計		3,474	3,488	100.4	3,078	3,066	99.6	2,920	3,063	104.9		977			235	

※三種混合：令和6年度に1人接種（1期3回目） ※不活化ポリオワクチンの接種実績は次のとおり（令和2年度以降実績なし）

⑥ 五種混合（四種混合+ヒブ） ※令和6年4月1日より開始

（単位：人、％）

内訳	年度	令和3			4			5			6			7		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1期	1回目										707	681	96.3	631	630	99.8
	2回目										697	622	89.2	641	637	99.4
	3回目										677	540	79.8	648	646	99.7
	追加										676	120	17.8	698	727	104.2
計											2,757	1,963	71.2	2,618	2,640	100.8

※四種混合ワクチン、ヒブワクチンで接種を開始している場合は、原則として同一ワクチンで接種を完了する。

⑦ BCG

(単位：人、%)

年	令和3			4			5			6			7		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
接種者数	854	858	100.5	764	784	102.6	729	718	98.5	664	646	97.3	663	663	100.0

⑧ 麻しん風しん混合

(単位：人、%)

年度 内訳	令和3			4			5			6			7		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1期	912	837	91.8	819	811	99.0	743	735	98.9	676	697	103.1	698	683	97.9
2期	1,216	1,142	93.9	1,124	1,052	93.6	1,107	1,030	93.0	1,056	960	90.9	938	869	92.6
計	2,099	2,044	97.4	1,943	1,863	95.9	1,850	1,765	95.4	1,732	1,657	95.7	1,636	1,552	94.9
5期	260	254	97.7	97	84	86.6	211	207	98.1	142	167	117.6			

※5期は当初令和元年度から3年度までの時限措置であったが、6年度末まで延長となっている。

※対象者：（令和2～3年度）第1期は該当年度の10月1日現在の1歳児の数、第2期は該当年度中に6歳になった数。

（令和4年度～）前年度3月31日を基準日として、第1期は0歳児、第2期は5歳児の数。

※麻しんワクチン、風しんワクチンは平成30年度以降実績なし。

⑨ 水痘

(単位：人、%)

年度 内訳	令和3			4			5			6			7		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1回目	912	846	92.8	819	818	99.9	743	746	100.4	676	705	104.3	698	688	98.6
2回目	912	816	89.5	819	729	89.0	743	717	96.5	676	707	104.6	698	576	82.5
計	1,824	1,662	91.1	1,638	1,547	94.4	1,486	1,463	98.5	1,352	1,412	104.4	1,396	1,264	90.5

※対象者：（令和3年度まで）該当年度の10月1日現在の1歳児の数、（令和4年度～）前年度3月31日の0歳児の数

⑩ 日本脳炎

(単位：人、%)

年度 内訳		令和3			4			5			6			7		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1期	1回目	1,075	797	74.1	906	851	93.9	922	830	90.0	868	857	98.7	810	1,516	187.2
	2回目	1,075	819	76.2	906	817	90.2	922	783	84.9	868	850	97.9	810	1,480	182.7
	追加	1,086	307	28.3	1,053	1,499	142.4	921	855	92.8	922	796	86.3	872	790	90.6
2期		1,389	223	16.1	1,315	2,015	153.2	1,300	1,204	92.6	1,181	1,152	97.5	1,212	1,134	93.6
計		4,625	2,146	46.4	4,180	5,182	124.0	4,065	3,672	90.3	3,839	3,655	95.2	3,704	4,920	132.8
1期の特例措置			118			58			26			20			9	
2期の特例措置			183			150			66			45			20	

※特例措置：平成17年度～平成21年度にかけての接種の積極的勧奨の差し控えにより、接種を受ける機会を逸した平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれで20歳未満の者は、不足分を接種できる。同じく平成19年4月2日～平成21年10月1日に生まれた者は、9～13歳未満の間に第1期の不足分を接種できる。

※対象者：（令和3年度まで）1期は該当年度の10月1日現在の3歳児、4歳児の数。2期は該当年度に小学校4年生の数。

（令和4年度～）1期は前年度3月31日現在の2歳児、3歳児の数。2期は通知発送数。

※令和3年度はワクチンの供給不足のため、小学校4年生への2期接種勧奨は実施せず。令和4年度、小学校4～5年生へ勧奨。

⑪ 二種混合

(単位：人、%)

年度 内訳	令和3			4			5			6			7		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
2期	1,354	1,154	85.2	1,357	1,162	85.6	1,409	1,100	78.1	1,327	1,150	86.7	1,303	1,088	83.5

※対象者：（令和3年度まで）該当年度に小学校4年生の数、（令和4年度～）通知発送数。

※1期での接種は平成30年度以降実績なし。

⑫ HPVワクチン（子宮頸がん予防）（定期接種）※小学校6年生～高校1年生相当の女子（単位：人、％）

年度 内訳	令和3			4			5			6			7		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1回目	656	197	30.0	656	273	41.6	678	506	74.6	691	672	97.3	633	363	57.3
2回目	656	181	27.6	656	239	36.4	678	330	48.7	691	545	78.9	633	391	61.8
3回目	656	150	22.9	656	155	23.6		157			141			83	
計	1,968	528	26.8	1,968	667	33.9	1,356	993	73.2	1,382	1,358	98.3	1,266	837	66.1

※平成25年6月14日から積極的勧奨を差し控えていたが、令和4年度から再開となり、定期接種対象者へ個別通知を発送。

※令和5年度から9価HPVワクチンが定期接種となり、15歳未満で接種開始した場合、2回接種で完了となる。

⑬ HPVワクチン（子宮頸がん予防）（キャッチアップ接種）（単位：人、％）

年度 内訳	令和3			4			5			6			7		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1回目				4,206	221	5.3	4,720	321	6.8	4,447	1,472	33.1			
2回目				4,206	193	4.6	4,720	274	5.8	4,447	1,324	29.8		187	
3回目				4,206	128	3.0	4,720	292	6.2	4,447	1,151	25.9		439	
計				12,618	542	4.3	14,160	887	6.3	13,341	3,947	29.6		626	

※対象者：（令和4年度）平成9年度から平成17年度生まれの女子（令和5年度）平成9年度から平成18年度生まれの女子

※対象者：（令和6年度）平成9年度から平成19年度生まれの女子（※予診票発送：3回未接種者）

⑭ インフルエンザ（高齢者）（単位：人、％）

年度 内訳	令和3			4			5			6			7		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
65歳以上	43,658	23,738	54.4	43,847	24,505	55.9	44,070	23,278	52.8	44,247	21,554	48.7	44,294	22,009	49.7
手帳所持者	59	25	42.4	58	28	48.3	59	30	50.8	81	31	38.3	85	34	40.0
計	43,717	23,763	54.4	43,905	24,533	55.9	44,129	23,308	52.8	44,328	21,585	48.7	44,379	22,043	49.7

⑮ 高齢者用肺炎球菌（単位：人、％）

年度 内訳	令和3			4			5			6			7		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
65歳	1,770	1,068	60.3	1,814	920	50.7	1,832	894	48.8	1,709	364	21.3	1,698	664	39.1
経過措置(※)	3,769	771	20.5	3,725	937	25.2	4,114	869	21.1						
手帳所持者	59	0	0.0	59	0	0.0	59	0	0.0	81	1	1.2	85	0	0.0
計	5,598	1,839	32.9	5,598	1,857	33.2	6,005	1,763	29.4	1,790	365	20.4	1,783	664	37.2

※（令和5年度まで）定期接種の経過措置として70歳～100歳までの5歳刻み年齢の者も対象者となった。

⑯ 新型コロナワクチン（高齢者）（単位：人、％）

年度 内訳	令和3			4			5			6			7		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
65歳以上										44,247	5,816	13.1	44,294	1,836	4.1
手帳所持者										81	16	19.8	85	7	8.2
計										44,328	5,832	13.2	44,379	1,843	4.2

⑰ 带状疱疹（単位：人、％）

年度 内訳		令和3			4			5			6			7		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
生ワクチン														9,160	1,386	15.1
組換え	1回目														1,154	12.6
	2回目														1,088	
手帳所持者														1	0	0.0
計														9,161	3,628	27.7

※定期接種の経過措置として70歳から5歳刻み年齢の者へ個別通知を発送。

100歳以上が全員対象になるのは、令和7年度のみ。

(2) 任意予防接種

9,100,000円

① 成人の風しん

妊娠を希望する女性及びそのパートナー等で、風しんの抗体価が低い人に対し、風しんワクチン4,000円、麻しん風しんワクチン5,000円の一部助成を行う。

(単位：人)

年度 内訳	令和3			4			5			6			7		
	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計
風しん	76	7	83	64	7	71	54	6	60	75	2	77	64	2	66
麻しん風しん	60	13	73	49	22	71	53	9	62	81	4	85	119	3	122
合計	136	20	156	113	29	142	107	15	122	156	6	162	183	5	188

② 高齢者用肺炎球菌

定期予防接種の対象に該当しない人で、かつ過去に一度も市の助成制度を利用したことがない65歳以上の人に対し、3,000円の一部助成を行う。

(単位：人)

年度 内訳	令和3			4			5			6			7		
	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計
接種者数	72	4	76	112	3	115	111	8	119	50	1	51	65	0	65

③ 特別の理由による任意予防接種費

骨髄移植手術その他の理由により、接種した定期予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で再度の予防接種を受ける人に対し、費用の助成を行った。

(単位：人、回)

年度 内訳	令和3	4	5	6	7
償還払い人数	2	1	5	2	1
接種ワクチン数	4	4	28	16	2

④ 帯状疱疹（令和5年1月開始）

80歳までに3人に1人が発症し、そのうち2割の人が皮膚の症状が治った後も痛みが持続するといわれる帯状疱疹の予防のため、50歳以上の人に対し、3,000円の助成を行った。

年度 内訳	令和3			4			5			6			7		
	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計
生ワクチン				156	1	157	754	7	761	478	0	478	449	1	450
不活化ワクチン				130	7	137	1,080	33	1,113	908	24	932	1,102	10	1,112
合計				286	8	294	1,834	40	1,874	1,386	24	1,410	1,551	11	1,562

⑤ おたふくかぜワクチン（令和6年4月開始）

重い合併症（無菌性髄膜炎、重度の難聴、脳炎など）を引き起こすことも多いおたふくかぜの予防のため、1歳児と年長児に対し、3,000円の助成を行った。

年度 内訳	令和3			4			5			6			7		
	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計
1歳児										654	7	661	585	7	592
年長児										674	2	676	455	5	460
合計										1,328	9	1,337	1,040	12	1,052

⑥ HPVワクチン（男子）（令和6年4月開始）

中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどの原因と考えられているHPVへの感染予防や性交渉によるHPV感染から女性を守ること子宮頸がんの予防にもつながる可能性があることから、小学校6年生から高校1年生相当年齢の男子に対し、8,000円（1人3回まで）の助成を行った。

年度 内訳	令和3			4			5			6			7		
	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計
1回目										7	0	7	7	0	7
2回目										6	0	6	7	0	7
3回目										3	0	3	7	0	7
合計										16	0	16	21	0	21

(3) 予防接種健康被害調査委員会

予防接種法(昭和23年法律第68号)の規定に基づく予防接種並びに藤枝市長が行政上必要に応じて行う予防接種による健康被害発生に際し、医学的な専門見知からの資料収集及び調査を行った。(単位：人、回)

年度	回数	事例	予防接種名
令和6	1	2	新型コロナワクチン
7	2	4	新型コロナワクチン

(4) 予防接種健康被害救済給付事業

厚生労働大臣が認定した予防接種健康被害救済制度に関する疾病について給付を行った。

年度	予防接種の種類	医療費	医療手当	死亡一時金	葬祭料
令和6	高齢者用肺炎球菌	1	1	0	0
	新型コロナ	3	3	1	1
7	新型コロナ	1	1	0	0

(5) 風しん抗体検査等事業

国の風しん追加的対策に基づいて実施。令和元年～3年度までの時限措置であったが、6年度まで延長となった。対象者は、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性。抗体検査の結果、風しん抗体の低い人が定期予防接種風しん第5期の対象となる。

内訳	年度	令和2	3	4	5	6	(単位：人、%)
勸奨対象者数※		15,098	6,882		11,308	10,767	
抗体検査実施者数		2,799	730	329	654	411	
抗体検査実施率		18.5	10.6		5.8	3.8	
予防接種対象者数		1,003	260	97	211	142	
予防接種対象率		35.8	35.6	29.3	32.3	34.5	

※(令和元年度)昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの人

※(令和2年度)対象年齢で抗体検査を受けていない人

※(令和3年度)昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれで抗体検査を受けていない人

※(令和5～6年度)対象年齢で抗体検査を受けていない人

(6) 新型コロナウイルス感染症予防接種証明書(接種証明書)

令和3～5年度まで臨時接種として実施した「新型コロナワクチン」接種の事実を公的に証明するものとして、被接種者からの申請に基づき交付した。

	令和6	7
交付数(紙版)	16	7

<参考> 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

【令和5年度新型コロナウイルスワクチン接種について～国の方針～】

- 法的位置づけ 令和5年度の1年間は特例臨時接種を継続する
- 考え方 重症化予防が第一目的
短期的・集中的なワクチン接種の実施は見込まれない
- 努力義務の対象 重症化リスクの高い者（65歳以上の高齢者及び基礎疾患を有する者）
及び初回接種未接種者
- 接種体制 定期接種を見据え、個別接種中心の体制へ移行、集団接種は縮小
- 対象者 追加接種：令和5年春開始接種（5月8日～9月19日）
①65歳以上
②基礎疾患を有する者（5～64歳）
③医療従事者・介護従事者等
令和5年秋開始接種（9月20日～3月31日）
生後6か月以上の全ての人
初回接種：令和5年度の1年間は、生後6か月以上の全ての未接種者
- ワクチン 春接種：オミクロン株対応2価ワクチン（追加接種）（ファイザー・モデルナ）
ノババックス12歳以上（アレルギーや強い副反応により2価ワクチンを受けられない人）
秋接種：オミクロン株対応1価ワクチン（初回接種・追加接種）（ファイザー・モデルナ）
ノババックス12歳以上（アレルギーや強い副反応により2価ワクチンを受けられない人）
第一三共社12歳以上用1価ワクチン（1月以降）
- 5歳以上11歳以下のオミクロン株対応2価ワクチンの接種について
3月8日から開始した小児用ワクチンの追加接種にオミクロン株
対応ワクチンの追加接種の機会を確保する
○基礎疾患を有する者：令和4年秋開始接種実施の有無を問わず
令和5年春開始接種として1回接種可能
○基礎疾患を有しない者：令和4年秋開始接種未実施である場合
に限り令和4年秋開始接種として1回接種可能
- 初回接種の実施について
8月7日からオミクロン株対応2価ワクチンを成人及び小児の
初回接種に用いる
ただし、令和5年秋開始接種開始までの間に従来株ワクチンを
接種しても間違い接種とはならない

- 4月18日 医師会説明会（令和5年春開始接種について）
- 4月末 令和5年春開始接種の接種券送付開始
（送付対象：努力義務対象者（高齢者、5～64歳の基礎疾患を有する者）、
医療従事者等）
- 5月20日～ 令和5年春開始接種 個別接種・集団接種で開始
- 8月24日 医師会説明会（令和5年秋開始接種について）
- 9月11日 令和5年秋開始接種の接種券送付開始
（送付対象：努力義務対象者（高齢者、5～64歳の基礎疾患を有する者）、
医療従事者等）、送付対象以外は申請により接種券を送付
- 9月20日～ 令和5年秋開始接種 個別接種で開始
- 3月29日 **予防接種法一部改正**
新型コロナウイルス感染症を予防接種法（昭和23年法律第68号。以下「法」
という。）第2条第3項第3号の政令で定める疾病に位置付けるとともに、
施行令第3条において対象者を次の（1）及び（2）と定める
（1）65歳以上の者
（2）60歳以上65歳未満の者であって、心臓、腎臓又は呼吸器の機能に
自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者
及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど
不可能な程度の障害を有する者

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費

(1) 接種会場

	令和4年度	令和5年度
個別接種 (市内医療機関)	56医療機関 (小児接種含む)	52医療機関 (小児接種含む)
集団接種	・藤枝市民体育館 ・藤枝市浄化センター ・藤枝市保健センター	藤枝市保健センター
その他 (市内職域接種会場)	・JA大井川農産物集出荷場 ・静岡県警察学校 ・村上開明堂築地工場	なし

(2) 接種人数及び接種率

高齢者(65歳以上)

43,897人中	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	
	接種人数	接種人数	接種人数	接種人数	接種率
1回目	41,031 人	273 人	16 人	41,320 人	94.13%
2回目	40,921 人	302 人	17 人	41,240 人	93.95%
3回目	35,662 人	4,925 人	86 人	40,673 人	92.66%
4回目		37,008 人	342 人	37,350 人	85.09%
5回目		29,601 人	3,004 人	32,605 人	74.28%
6回目			25,914 人	25,914 人	59.03%
7回目			18,754 人	18,754 人	42.72%
うち、オミクロンXBB.1.5株 対応ワクチン接種人数			23,795 人	23,795 人	54.21%

64歳以下(小児・乳幼児含む)

98,490人中	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	
	接種人数	接種人数	接種人数	接種人数	接種率
1回目	74,024 人	2,565 人	50 人	76,639 人	77.81%
2回目	72,617 人	3,450 人	64 人	76,131 人	77.30%
3回目	14,456 人	48,052 人	204 人	62,712 人	63.67%
4回目		35,358 人	647 人	36,005 人	36.56%
5回目		6,288 人	3,524 人	9,812 人	9.96%
6回目			4,133 人	4,133 人	4.20%
7回目			1,769 人	1,769 人	1.80%
うち、オミクロンXBB.1.5株 対応ワクチン接種人数			6,216 人	6,216 人	6.31%

小児接種

8,776人	～令和4年度	令和5年度	接種者合計	
	接種人数	接種人数	人数	接種率
1回目	2,316人	8人	2,324人	26.48%
2回目	2,246人	14人	2,260人	25.75%
3回目	1,047人	60人	1,107人	12.61%
4回目	6人	322人	328人	3.74%
5回目		30人	30人	0.34%
うち、オミクロン XBB.1.5株対応		66人	66人	0.75%

乳幼児接種

4,560人	令和4年度	令和5年度	接種者合計	
	接種人数	接種人数	人数	接種率
1回目	161人	26人	187人	4.10%
2回目	146人	26人	172人	3.77%
3回目	72人	41人	113人	2.48%
4回目		14人	14人	0.31%
うち、オミクロン XBB.1.5株対応		64人	64人	1.40%

※人口データは、総務省公表の令和5年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）を利用

※接種人数データは、令和3年度分は令和4年3月27日時点、令和4年度分は令和5年3月27日時点の県公表データ
令和5年度分は令和6年4月1日時点のVRS（ワクチン接種記録システム）登録データ

（3）個別接種

（3月末までに実施した4月請求分まで）

志太医師会所属の医療機関で実施。

① 市内個別接種会場

（単位：か所）

年齢	ワクチン	令和4年度	令和5年度	
			R5春	R5秋
12歳以上	ファイザー（従来株）	11	11	
	ファイザー	53	46	45
	モデルナ	2	2	2
	ノババックス	3	3	3
	第一三共			1
5歳～11歳	小児用ファイザー（従来株）	14	16	
	小児用ファイザー	3	16	14
6か月～4歳	乳幼児用ファイザー	8	9	9

※ 令和5年秋開始接種（令和5年9月20日）以降、すべての使用ワクチンについて
オミクロンXBB.1.5系統対応1価ワクチンへと順次変更された（ノババックスを除く）

※ ノババックスは令和5年12月で接種終了/第一三共は令和6年1月から接種を開始

② 市民実施者数

（単位：人）

		令和4年度	令和5年度
合計		115,968	50,578
券 種 別	接種	115,859	50,555
	予診のみ	109	23
接 種 時 間 別	通常	91,464	40,470
	時間外	19,386	8,447
	休日	5,118	1,661
	小児（再掲）	896	143

（4）集団接種

① 会場：藤枝市保健センター

② 期間：令和5年5月～7月

③ 対象：12歳以上

④ 使用ワクチン：ファイザー、ファイザーBA.1、ファイザーBA.4-5・モデルナBA.4-5、ノババックス

⑤ 来場者数

（単位：人）

	実施回数	来場者数	藤枝市民	市外
令和3年度	394	110,621	108,213	2,408
令和4年度	219	51,605	51,455	150
令和5年度	22	5,274	5,265	9
合計	635	214,289	164,933	2,567

⑥ 市民実施者数

（単位：人）

		令和4年度	令和5年度
合計		51,455	5,265
券 種 別	接種	51,402	5,261
	予診のみ	53	4
接 種 時 間 別	通常	12,723	1,516
	時間外	16,283	373
	休日	22,449	3,376

⑦ 接種後会場における副反応疑い対応数

（単位：人）

		令和4年度	令和5年度
合計		56	1
性 別	男性	15	0
	女性	41	1
対 応	帰宅	55	1
	救急搬送	1	0

(5) 市外での接種

(令和3年度：当該年1月末までに実施した2月請求分まで)

(令和4,5年度：当該年2月末までに実施した3月請求分まで)

ワクチン接種は、原則住民票所在地の市町村で接種を受けることとなっているが、実際に居住する市町村が異なり、実際に居住する市町村において接種を希望する場合には、住所地外接種届の手続きを行い接種を行った。
届出が不要な場合：入院・入所中の場合、基礎疾患を持つ人が主治医の下で接種する場合、医療従事者として受ける場合、国や都道府県の大規模接種会場で受ける場合、職域単位での接種を受ける場合等。

① 市民実施者数

(単位:件)

		令和3	4	5
合計		33,890	16,736	2,811
券種別	接種	33,871	16,722	2,811
	予診のみ	19	14	0
接種時間別	通常	33,463	12,715	2,293
	時間外	198	1,960	470
	休日	229	2,061	48
	小児(再掲)	0	8	0

(6) 新型コロナウイルスワクチン予防接種健康被害調査委員会

予防接種法(昭和23年法律第68号)の規定に基づき、新型コロナウイルスワクチン予防接種による健康被害発生に際し、医学的な専門見知からの資料収集及び調査を行った。

	回数	事例
令和3	1	1
4	0	0
5	2	3

※令和6年度以降は、「予防接種事業」の予防接種調査委員会へ移行する。

(7) 新型コロナウイルスワクチン予防接種健康被害救済給付事業

厚生労働大臣が認定した予防接種健康被害救済制度に関する疾病について給付を行った。

給付決定件数(件)	医療費	医療手当	障害児養育年金	障害年金	死亡一時金	葬祭料	介護加算額
令和5	1	1	0	0	0	0	0

※令和6年度以降は、「予防接種事業」の予防接種健康被害救済給付事業へ移行する。

(8) 新型コロナウイルス感染症予防接種証明書(接種証明書)

新型コロナウイルス感染症予防接種証明書(接種証明書)は、予防接種法に基づいて各市町村で実施された新型コロナウイルスワクチン接種の事実を公的に証明するものとして、被接種者からの申請に基づき交付した。

「パスポート情報等を記載した海外用及び日本国内用の接種証明書」と「パスポート情報等の記載の無い日本国内用の接種証明書」の2種類が、書面又は電子版で交付可能としていた。

(単位:件)

	令和3	4	5
紙版	538	1,312	239
電子版(アプリ)	5,269	15,976	3,516

※令和6年度以降は、「予防接種事業」の新型コロナウイルス感染症予防接種証明書(接種証明書)へ移行する。

(9) 新型コロナウイルスワクチン配送業務

地域の医療提供体制の維持を図るため、国から本市に供給された新型コロナウイルスワクチンや、針、シリンジ等の付属品一式を市内で個別接種を行う医療機関に配送する体制を構築した。

また、貴重なワクチンを無駄にしないため、各医療機関とワクチンの必要数の調整を十分に図ったうえで、計画的にワクチン配送を実施した。

① ワクチン配送数

主に業務委託により、配送を実施し、1日当たりの配送件数が少ない日には、市職員による配送を行った。

(単位：バイアル)

ワクチン種類		国からの供給			配送・使用数	市廃棄数
		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
ファイザー	従来株（12歳以上）	41,145	8,557	0	47,794	1,908
	オミクロン株対応B A.1（12歳以上）	-	8,628	0	8,628	0
	オミクロン株対応B A.4-5（12歳以上）	-	10,725	0	9,883	842
	オミクロン株対応X B B.1.5（12歳以上）	-	-	7,560	5,545	2,015
	従来株（5歳～11歳）	360	210	0	347	223
	オミクロン株対応B A.4-5（5歳～11歳）	-	60	170	126	104
	オミクロン株対応X B B.1.5（5歳～11歳）	-	-	100	21	79
	従来株（生後6か月～4歳）	-	350	0	161	189
	オミクロン株対応X B B.1.5（生後6か月～4歳）	-	-	40	25	15
モデルナ	従来株（12歳以上）	2,610	600	0	3,210	0
	オミクロン株対応B A.1（12歳以上）	-	660	0	601	59
	オミクロン株対応B A.4-5（12歳以上）	-	320	0	318	2
	オミクロン株対応X B B.1.5（生後6か月以上）	-	-	1,250	129	1,121
ノババックス	従来株（12歳以上）	-	158	19	168	9
第一三共	オミクロン株対応X B B.1.5（12歳以上）	-	-	20	0	20

② ワクチン配送日数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
配送日数	127	150	136

(10) 新型コロナウイルスワクチン保管用ディープフリーザー移管・譲渡

厚生労働省から市町へ無償譲渡された新型コロナウイルスワクチン保管用冷凍庫に関して、厚生労働省からの事務連絡で、新型コロナウイルスワクチン特例臨時接種終了に伴い可能な限り有効活用するよう指示があった。

庁内他部署・指定管理施設・病院・大学等へ情報提供し、下記のとおり物品移管・譲渡を行った。

対応ワクチン (温度設定)	移管・譲渡先	
ファイザー社 (-90℃～-60℃)	藤枝市立総合病院（経理課）	1台
	キッチンせとや（中山間地域活性化推進課）	1台
	藤枝総合運動公園（スポーツ振興課）	1台
	藤枝消防署（志太消防本部 消防総務課）	1台
	焼津消防署（志太消防本部 消防総務課）	1台
	藤枝平成記念病院	1台
	静岡大学 農学部	1台
モデルナ社 (-20℃±5)	中部給食センター（学校給食課）	1台
	あさひな保育園	1台
	前島保育園	1台

(11) 藤枝市新型コロナウイルスワクチンコールセンター運営業務

藤枝市が新型コロナウイルスワクチン予防接種を実施するにあたり、当該事業を迅速かつ適切に運営することを目的として、市民からの問い合わせや予約等に対するコールセンターを設置しワクチン接種予約等の受付業務を実施した。

●藤枝市新型コロナウイルスワクチンコールセンター実績

	稼働日 (単位：日)	応答数（単位：件）				
		予約関連	副反応	持病・アレルギー	その他	合計
令和3年度	309	46,289	76	73	7,658	54,096
令和4年度	293	34,100	18	16	3,187	37,321
令和5年度	293	16,190	47	32	2,086	18,355

(12) 新型コロナウイルスワクチン接種に係る被接種者移送事業

新型コロナウイルスワクチン予防接種を集団接種で実施することに伴い、高齢者、障害手帳所持者、要介護認定者及び妊婦等で、交通手段の確保が難しい者の集団接種会場への移動を支援することで、市民のワクチン接種率向上を図るため、タクシーによる移動支援事業を実施した。

利用者負担：1回（片道）200円/人

●新型コロナウイルスワクチン接種集団接種会場移送業務実績

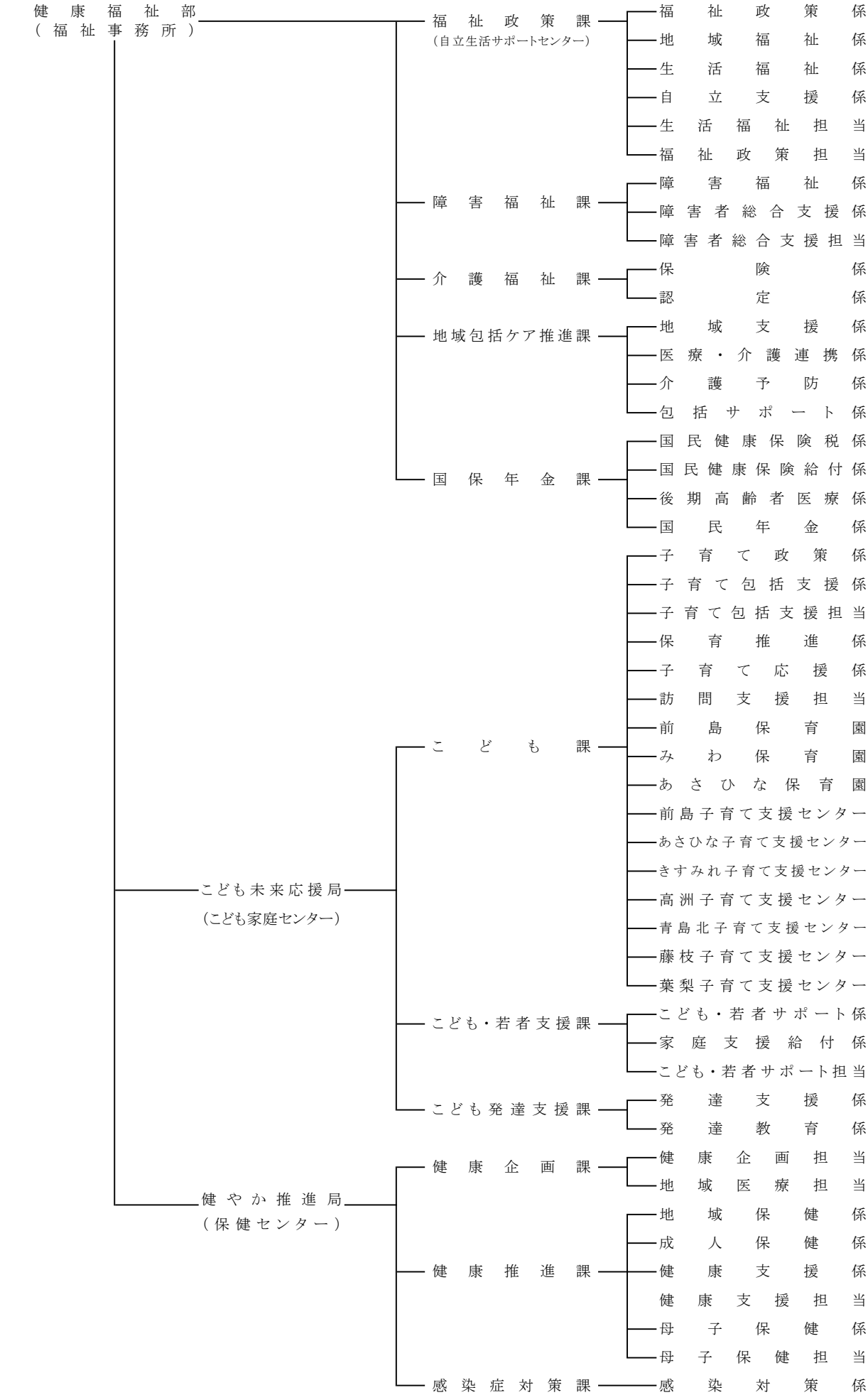
	稼働日 (単位：日)	利用回数（単位：回）			
		市民体育館	浄化センター	保健センター	合計
令和3年度	113	3,352	1,572	972	5,896
令和4年度	45	26	6	543	575
令和5年度	10	-	-	86	86

※ 利用回数については、往路・復路それぞれの利用につき1回ずつ加算する。
（接種者が往復で利用した場合、利用回数は2回としてカウント）

※ 令和4年7月以降は、保健センターでのみ集団接種を実施している。

IX 令和8年度 保健事業計画

令和8年度 健康福祉部組織図



令和8年度 保健事業計画

	6か月	1歳	2歳	3歳	6歳	12歳	20歳	30歳	35歳	40歳	50歳	60歳	65歳	70歳	75歳
健康診査等	1か月児健康診査 4か月児健康診査 (委託医療機関) 6か月児すこやか相談 新生児聴覚検査 10か月児健康診査 (委託医療機関) 1歳6か月児健康診査 3歳児健康診査 3歳児精密健康診査 健康手帳交付 妊婦健康診査(委託医療機関) 産婦健康診査(委託医療機関) 子宮がん検診 乳がん検診 ピロリ菌胃がんリスク判定(40歳以上) 胃がん検診 (リスク判定「A」者で5年経過した者・リスク判定問診除外者) 特定健康診査・大腸がん検診・肝炎ウイルス検診 妊婦歯科健診 成人歯科健診(20・30・40・45・50・55・60・65・70歳) 若者ヘルスアップ健診 乳児超音波検査 前立腺がん検診														
健康教育	もぐもぐごっこ赤ちゃん教室 フッ素塗布 ハバママ教室・プレママ栄養教室 健診結果説明会(若者ヘルスアップ健診受診者も含む) 出前講座(健康・食育) 禁煙支援事業 重症化予防教室 健康づくり食生活セミナーOB会 精神保健啓発事業 保健委員地区事業計画による保健講座(健康教育・栄養改善・体力増進等) 藤枝市健康づくり食生活推進協議会 (栄養教室) 出前講座における介護予防講座 (健康講座・低栄養・健口講座)														
健康相談等	妊娠・出産包括支援 母子健康手帳・別冊交付 妊婦面談保健指導 産後ケア事業 不育症治療費助成 妊婦のための支援給付 子育て支援教室(ひまわり) 特定健診結果相談(若者ヘルスアップ健診受診者も含む) 電話相談、常設健康相談、出張健康相談、定例食生活相談、歯科相談 妊娠・出産包括支援 母子健康手帳・別冊交付 妊婦面談保健指導 産後ケア事業 不育症治療費助成 妊婦のための支援給付 子育て支援教室(ひまわり) 特定健診結果相談(若者ヘルスアップ健診受診者も含む)														
訪問指導	生後4か月までの全乳児 健康未健児・問題を有する児 ハイリスク妊婦 ハイリスク産婦 健康診査ハイリスク者(若者ヘルスアップ健診受診者も含む) 特定健診結果相談(若者ヘルスアップ健診受診者も含む) 国保・後期高齢者被保険者で重複・多剤投薬者等														
予防接種	定期予防接種(ポリオ、BCG、麻しん、風しん、麻しん風しん混合、二・三・四・五種混合、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、HPV、水痘、B型肝炎、ロタ) 任意予防接種(特別の理由による予防接種、おたふくかぜ、HPV(男子)) 定期予防接種(母子免疫RS) 任意予防接種(成人の風しん) 定期予防接種(インフルエンザ、新型コロナウイルス、高齢者肺炎球菌、帯状疱疹) 任意予防接種(高齢者肺炎球菌) 任意予防接種(带状疱疹)														
産・業・ネットワーク	健康づくり推進協議会 支部保健委員会 保健委員連絡協議会 正副地区長会議 保健委員研修会 保健委員活動報告会 救急医療センター運営事業 藤枝市健康づくり食生活推進協議会 住民歯科会議 食育ネットワーク会議 健康経営プロジェクト支援事業 健康経営プロジェクト推進事業 歩いて健康づくり推進事業 食べて健康づくり推進事業 こころを澄ませで健康づくり推進事業 ふじえだ健康マイレージ HELPO														

地 域 保 健 係 担 当 事 業

事業名		内 容
保健センター管理運営事業		保健センター施設の維持管理、保守等業務委託、施設修繕
保健 委 員 活 動 性 化 事 業	保健委員研修会	保健委員を対象とした研修 委嘱状交付、感謝状贈呈、講演会の開催
	支部保健委員会	保健委員の役割と活動のあり方及び藤枝市の保健事業に関する研修、当年度の事業計画の立案
	保健委員連絡協議会役員会	12支部の役員36人(支部委員長・地区長・副地区長)による各支部との連絡調整、活動計画の検討等
	正副地区長会議	12支部の代表者24人(正副地区長)による支部活動の連絡調整及び意見交換
	保健委員地区活動	保健講座(健康体操等)を支部・自治会・町内会単位で実施
	保健委員活動報告会	1年間の保健委員活動を各支部発表、講演会の開催
医療救護計画事業		予想される南海トラフ巨大地震等から市民の生命と健康を守る体制の検討 計画策定、資機材等の整備、医療救護訓練の実施

母子保健係担当事業

事業名		内 容
妊 娠 出 産 包 括 支 援 事 業		全妊婦の状況を把握 妊産婦の個別支援計画の作成、継続支援
母 子 健 康 手 帳 交 付		妊産婦を対象に母子健康手帳を交付
妊 婦 健 康 診 査		個別健診(指定医療機関)、16回まで公費負担
産 婦 健 康 診 査		個別健診(指定医療機関)、2回公費負担
産 後 ケ ア 事 業		産後、支援を希望する母子に対し、心身のケアや育児のサポート等を実施 (宿泊型、日帰り型、相談型、訪問型)
乳 幼 児 健 診	新 生 児 聴 覚 検 査	個別健診(指定医療機関)
	1 か 月 児 健 診	
	4 か 月 児 健 診	
	1 0 か 月 児 健 診	
	1 歳 6 か 月 児 健 診	身体計測、内科診察、歯科健診、ブラッシング指導、栄養指導、生活指導、精神発達チェックと保健指導・相談、母親のメンタルヘルスチェック
	3 歳 児 健 診	身体計測、内科診察、尿検査、歯科健診、視覚検査、ブラッシング指導、栄養指導、生活指導、精神発達チェックと保健指導・相談 母親のメンタルヘルスチェック
	3 歳 児 精 密 健 康 診 査	3歳児健診結果により精密な健康診査の必要が認められた場合に医療機関が実施(委託医療機関)
	常 設 ・ 出 張 健 康 相 談	一般市民を対象 (出張健康相談は、地域子育て相談機関7か所にて1回/月実施)
	電 話 相 談	電話による相談
	定 例 食 生 活 相 談	一般市民を対象
健 康 相 談	定 例 歯 科 相 談	一般市民を対象
	運 動 発 達 相 談	運動発達面に遅れが疑われる児とその保護者への、理学療法士による指導と相談
	6 か 月 児 す こ や か 相 談	身体計測、赤ちゃん体操、運動発達指導、生活指導、栄養指導、保健指導・相談、母親のメンタルヘルスチェック
	ス テ ッ プ 相 談	1歳6か月児健診の要観察児と教室参加児を対象に個別相談
	わ ん ぱ く 相 談	3歳児健診の要観察児を対象に個別相談、就園先への訪問
	幼 児 個 別 相 談	精神発達面に問題を有する児とその保護者への、心理判定員による個別相談
	す く す く 運 動 教 室	運動発達面に遅れを有する児とその保護者への指導と相談
	親 子 遊 び の 教 室 (ピノキオ・ドナルド)	健診の事後フォローとして、遊びを通しての児と保護者への指導と相談
	つ ば め っ こ 教 室	健診・相談の事後フォローとして、遊びを通しての児と保護者への指導と相談及び早期療育の提供

事業名		内容
健康教育	パパママ教室	初産婦の夫婦を対象に助産師、管理栄養士、保健師等による講話と実技指導
	もぐもぐごっくん赤ちゃん教室	栄養士による離乳食の講話、実技(前編・後編)
訪問指導		支援の必要な妊婦・産婦・乳幼児、生後4か月までの乳児、健診未受診児等に対し訪問にて指導
子育て支援事業	産後うつ病スクリーニング検査	産後うつ病(含疑い)や、育児不安の強い親など、継続的支援を必要とする母親を早期にスクリーニングし介入するために、赤ちゃん訪問時に実施
	母親のメンタルヘルスチェック	「母子健康手帳」交付時、「6か月児すこやか相談」「1歳6か月児健診」「3歳児健診」に来所された母親を対象に「お母さんの健康について(アンケート)」を実施
	子育て支援教室(ひまわり)	精神的負担が大きい母親と子どもの個別支援を実施 月1回年間12回
不育症治療費助成事業		不育症治療を受けている夫婦に対して、経済的負担を軽減するために費用の一部を助成
フッ素塗布		1歳6か月児～3歳児を対象に実施 6か月間隔で4回塗布
思春期教育事業		健康教育、エイズ予防講演会、教材の貸し出し
妊娠・出産・子育て応援事業		妊娠時から出産・子育てまでの伴走型相談支援充実(妊娠8か月アンケート)と経済的支援を一体として実施
低所得妊婦受診支援事業		低所得妊婦の初回産科受診料の費用の助成
妊婦のための支援給付事業		妊娠時から伴走型相談支援と組み合わせ経済的支援を実施。経済的支援は妊婦であることの認定後に5万円を支給。その後、妊娠していることものの人数の届出後に妊娠していることものの人数×5万円を支給
妊婦等包括相談支援事業		妊婦・そのパートナー等に対して面談等により情報提供や相談等妊娠期から一貫とした伴走型相談支援を行う。

成人保健係担当事業

事業名		内 容
成人保健事業	健康のしおりの交付	希望者に健康のしおりを交付
	特定健康診査	40歳以上の藤枝市国民健康保険加入者及び後期高齢者医療保険加入者を対象に問診、血圧測定、医師の診察、身体測定（腹囲）、尿検査、血液検査（脂質検査・肝機能検査・糖尿病検査等）を実施
	若者ヘルスアップ健診	39歳以下の市民を対象に問診、血圧測定、医師の診察、身体測定（腹囲）、尿検査、血液検査（脂質検査・肝機能検査・糖尿病検査等）を実施
	肝炎ウイルス検診	以前に市の肝炎ウイルス検査を受けたことのない40歳以上を対象にB型・C型肝炎ウイルス検査を実施 特定の年齢に達した者を対象に無料実施
	成人歯科健診	20歳・30歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳を対象に口腔内検査を実施
	妊婦歯科健診	妊婦を対象に口腔内検査を実施
がん検診事業	胃がん検診	過去ピロリ菌胃がんリスク判定「A」「A?」の者（医療機関フォロー者除く）で5年経過した者およびピロリ菌胃がんリスク判定問診除外者を対象に問診・胃内視鏡検査または胃部エックス線検査を実施
	ピロリ菌胃がんリスク判定	40歳以上を対象に 問診・血液検査（ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査、ペプシノゲン検査）を実施 【胃内視鏡検査または胃部エックス線検査】ピロリ菌胃がんリスク判定「A」判定者に実施
	子宮がん検診	20歳以上の女性を対象に2年に1回実施 子宮頸部の細胞診検査又は医師が必要と認めた場合は、子宮頸・体部の細胞診検査を実施
	乳がん検診	40歳以上の女性を対象に2年に1回マンモグラフィ（禁忌者はエコー）を実施
	大腸がん検診	40歳以上を対象に便潜血検査（2日間採取法）を実施
	新たなステージに入ったがん検診	子宮がん・乳がん検診において、対象年齢の初年度の者にクーポン券を配布し、無料で実施 子宮がん・乳がん検診の再通知および肺がん・大腸がん検診の精検未受診者に受診再勧奨実施
	肺がん検診	40歳以上を対象に胸部エックス線撮影を実施。
	前立腺がん検診	50歳以上の男性を対象に血液（PSA）検査を実施
予結核	結核健康診断	40歳以上を対象に胸部エックス線撮影を実施
等小が児・対若策者	がん患者共生支援	補整具等購入費用、妊孕性温存治療費用、在宅療養生活支援費用を一部助成
	女性の健康支援対策	30歳の女性を対象にブレストセルフチェック啓発と30歳代の女性を対象に乳房超音波検査を実施
対移骨策植髄	骨髄ドナー支援事業	「骨髄ドナー」と「ドナーが就業する事業所」に、通院・入院費用を一部助成

健康支援係担当事業

事業名		内 容
特 定 保 健 指 導		特定健診の結果において動機付け支援、積極的支援と判定された者に対し、対象者自身が生活習慣を改善できるような支援をする
健康 教育	健康診査 果 説 明	特定健康診査、後期高齢者健診、ヘルスアップ健診受診者に対して生活・栄養・結果の見方について指導
	そ の 他 の 健 康 教 育	職域・出前講座等での健康教育
健康 相談	成 人 健 康 相 談	一般市民を対象
	電 話 相 談	電話による相談
	定 例 食 生 活 相 談	一般市民を対象（木：午後 金：午前）
	歯 科 相 談	一般市民を対象にした歯科衛生士による相談（2～3回/月）
	そ の 他 の 健 康 相 談	禁煙相談、精神相談等
訪問 指導	生活習慣病の予防等に関する指導	
	介護を要する状態の予防に関する指導	
	国保被保険者で重複・多剤投薬者に対する指導	
	その他健康管理上必要と認められる指導	
食育 事業	藤枝市健康づくり食生活推進協議会	総会、定例会、各種食育関連イベントへの参加・協力
	支 部 活 動	栄養教室（生活習慣病予防、減塩等）男性料理教室、放課後児童クラブ、各種団体との交流 等
	健康づくり食生活セミナー・OB会	食を通して、必要な食生活改善や健康づくり、生活習慣病予防等のための知識、技術等の習得を目指す講座
	食 育 ネ ッ ト ワ ー ク 会 議	地域で食に関わる活動をしている各種団体及び行政間の相互の交流による情報の共有化、連携により、食育事業を効果的に推進するための会議
歯科 保健	歯の健康まつり	噛むカムケア8020コンクール・図画ポスター展示表彰等
	歯科出前講座	幼稚園・保育園、認定こども園、小学生、中学生、障害者施設を対象にした歯科保健出前講座
	こども健康チャレンジ事業	小学3、4年生を対象に、歯科保健出前講座と同時実施し、生活習慣及び健診受診に関する「こども健康チャレンジシート」を配布。
	住民歯科会議	「藤枝市民の歯や口の健康づくり条例」第9条の規定にも続き組織され、歯科保健計画の推進に必要な事項を協議する会議
精 神 保 健 啓 発 事 業		市民への精神保健関連の啓発事業、自殺予防教育、ゲートキーパー研修
高齢者保健事業・介護予防一体的事業		健康課題の分析、対象者の把握、事業の企画・調整の実施。重症化予防の訪問指導を75歳以上にまで拡大。フレイル予防のための「健康講座」、「低栄養予防」、「健口講座」の各テーマで出前講座と健康相談を実施。

健康企画課担当事業

事業名		内 容
健康 ト経営 推進 事業 プロ ジェ ク	健康・予防 日本一ふじえだ 発信事業	健康都市で構成する協議会等への参加や全国各地からの視察受け入れなどにより、市内外に本市の特色ある健康施策を発信。
	企業向け健康経営実践事業	健康無関心層といわれる働き盛り世代へのアプローチを進めるため、「健康経営」の実践を支援し、その取組事例や効果を健康経営セミナー等で広く発信することで、企業の健康経営の導入を促進。
	健康マイレージ事業	健康的な生活習慣の動機づけを促し、健康行動の定着や継続をするための啓発ツールの運用。Web版システムの運用。 市民・事業所・静岡県との協働事業として循環型システムの確立を図る。
歩いて健康づくり推進事業		歩くことで健康づくりを推進し、市民の日常の身体活動量の底上げ支援を実施。「楽しく歩いて元気に！健康ウォーキング教室」を開催。 また、日本全国の仮想の旅を楽しみながら歩く記録シートの作成・提供や“楽しく歩いて健康アプリ〜あるくら〜”の普及を促進。
食べて健康づくり推進事業		「野菜を食べて健康フェア」を開催し、ヘルシーメニューの普及や野菜摂取を促進することで、健康的な食生活を送る支援を行う。
こころを澄ませて健康づくり推進事業		自身の健康が疎かになりがちな働き盛り世代を対象に、心安らぐ時間の提供により、心身のリラックスや疲労回復の効果を向上させることを目的としたイベント、「元気ふじえだ 朝活×ゴルフ場リフレッシュヨガ」を開催する。
地域活性化起業人活動事業		総務省の「地域活性化起業人制度」を活用し、派遣される起業人とともに、「食」を通じた市民の健康づくりを推進する。
健康づくり推進協議会		健康づくり諸施策を審議する組織の事務局 推進協議会委員12人 会長：市長
救急医療協力促進事業		藤枝市と焼津市の一部(旧大井川町)の区域内における初期救急医療体制を補完するため、一般社団法人 志太医師会に委託し、会員開業医が在宅輪番制で休日の診療を実施。
休日 歯科診療運営委託事業		休日の歯科救急医療を確保するため、一般社団法人 藤枝歯科医師会へ委託し、会員歯科医が輪番制で診療を実施。
休日 薬局開設事業		初期救急医療体制を補完するため、志太医師会等に委託してる休日当番医に合わせ、一般社団法人藤枝薬剤師会へ委託し、休日当番薬局を開設。
地域自殺対策推進事業		「市民の誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指す「藤枝市自殺対策計画」の推進。 また、市民を対象とした「こころの健幸講演会」を実施。
安心な初期医療を守る事業		適正な受診の啓発を中心に、地域の初期医療体制の安定を支援する事業を実施。
志太榛原地域救急医療センター運営事業		夜間救急患者の診察と応急処置を行うため、運営を指定管理者として公益社団法人志太・榛原地域救急医療対策協会へ委託し実施。(4市2町事業事務局)

病院連携室担当事業

事業名	内 容
広報・広聴事業	藤枝市立総合病院に関する広報及び市への意見等の広聴を行う。
周知・啓発事業	藤枝市立総合病院と連携し、地域医療の現状や適正受診について市民の理解を深める。

感 染 症 対 策 課 担 当 事 業

事 業 名	内 容
感染症予防事業	感染症の予防啓発、新型インフルエンザ等対策行動計画の策定、防疫装備品等の取得・備蓄、関係団体等との連絡調整
予防接種事業	・予防接種法に基づく定期接種 ・予防接種健康被害の給付等 ・新型コロナワクチン接種証明書の発行(臨時接種分) ・法定外予防接種(任意接種)費用の一部助成 (市単独事業) 種類:おたふくかぜ HPV(男子) 特別の理由による任意予防接種 成人の風しん 帯状疱疹